

# ◆ 品川区 ◆

# 中小企業の景況

令和5年度第2・四半期

(令和5年7～9月)

## 目 次



DX 実践リーダー研修  
(令和5年7月4日～5日)

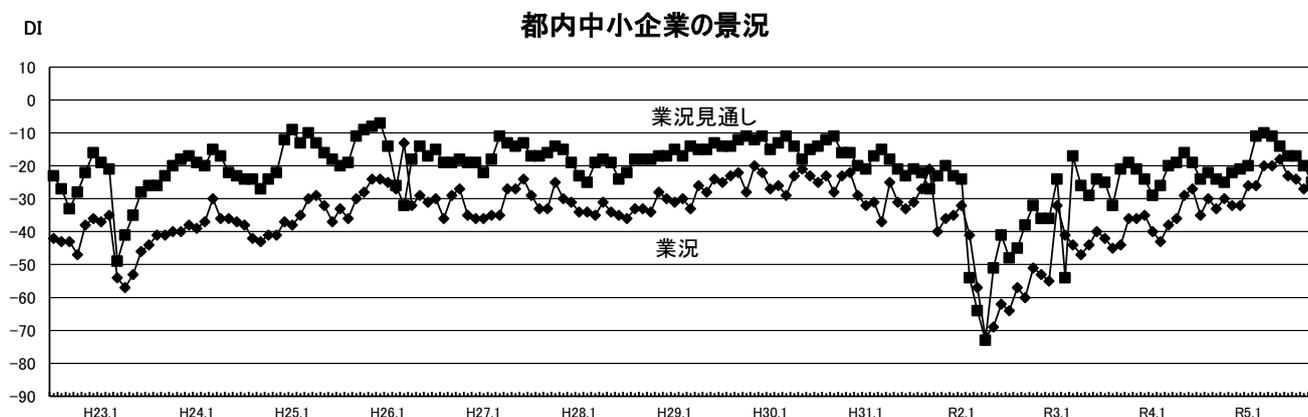
都内中小企業の景況（令和5年7～9月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和5年7～9月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製造業	4
卸売業	9
小売業	13
サービス業	18
建設業	22
情報通信業	26
日銀短観	30
東京都と品川区の企業倒産動向	30
特別調査「雇用確保・人材不足・定着に伴う現況調査について」	31
中小企業景況調査 比較表・転記表	36

品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

# 都内中小企業の景況（令和5年7～9月期）

**業況**：全体はやや悪化。すべての業種でやや悪化となる。  
**見通し**：小売業で大幅に改善、卸売業、サービス業でやや好調感が強まる。



業況 DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲27（前期は▲23）と、やや悪化した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比2ポイント増の▲25と、やや改善する見通し。

	前期 (R5.6)	今期 (R5.9)	増減	今後3ヶ月間の 見通し
製造業	▲23	▲26	▲3	▲27
卸売業	▲20	▲25	▲5	▲23
小売業	▲36	▲39	▲3	▲31
サービス業	▲16	▲20	▲4	▲18
全体	▲23	▲27	▲4	▲25

令和5年9月の都内中小企業の業況 DI は、前期から4ポイント減の▲27と、やや悪化した。今後3ヶ月間の業況見通し DI では、今期比2ポイント増の▲25と、やや改善する見通し。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、製造業（▲26）は3ポイント減、小売業（▲39）は3ポイント減、サービス業（▲20）は4ポイント減、卸売業（▲25）は5ポイント減といずれもやや悪化した。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（32）は6ポイント増と大幅に上昇し、製造業（33）は3ポイント増とやや上昇した。卸売業（22）は5ポイント減とやや下降した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（16）は4ポイント増とやや上昇した。製造業（4）は1ポイント増、サービス業（1）は増減なく、卸売業（12）は1ポイント減といずれも前期並となった。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、小売業（▲31）は8ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。卸売業（▲23）は2ポイント増、サービス業（▲18）は2ポイント増とともにやや改善する見込み。製造業（▲27）は1ポイント減と今期並となる見込みとなっている。

## 【注】

○D. I <sup>ディフュージョン インデックス</sup> (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

# 品川区内中小企業の景況（令和5年7～9月期）

**業況：**全体の景況感はやや悪化。建設業は大幅に改善。  
**見通し：**建設業は大幅に悪化、小売業はやや好調感が強まる。

品川区内中小企業の景況



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和5年7～9月期）の業況DIは▲13とやや悪化し、今後3か月後の見通しもやや悪化する見込みとなっている。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R5.1～3)	前期 (R5.4～6)	今期 (R5.7～9)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲52	▲31	▲38	▲38
卸売業	▲19	▲23	▲28	▲26
小売業	▲10	9	7	9
サービス業	▲9	4	▲1	▲3
建設業	▲37	▲20	▲12	▲26
情報通信業	▲2	0	▲10	▲16
全体	▲24	▲10	▲13	▲15

※小数点第1位を四捨五入した数値

## 《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、やや悪化した。来期（今後3ヶ月間の見通し）においてもやや悪化する見通しとなっている。業種別にみると、今期は建設業で大幅に改善、小売業でやや後退、サービス業で悪化に転じ、情報通信業、製造業、卸売業では大幅に悪化した。来期は小売業で好調感がやや強まり、卸売業でやや改善、製造業は今期並となり、サービス業でやや悪化、建設業、情報通信業で大幅に悪化する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、9月は生産、出荷は上昇、在庫、在庫率は低下となった。製造工業生産予測調査では、10月は前月比3.9%の上昇、11月は同-2.8%の低下を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている9月の消費者物価指数（2020年=100）は106.2（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）で0.3%上昇した。



# 製造業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 31 \rightarrow \Delta 38$ ) は低調感がかなり強まった。売上額 ( $\Delta 22 \rightarrow \Delta 26$ ) は減少幅がやや拡大し、収益 ( $\Delta 20 \rightarrow \Delta 35$ ) は減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は 12 ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

販売価格 (20→6)、原材料価格 (66→59) はともに上昇傾向がかなり弱まり、在庫 (9→11) は過剰感がやや強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 18 \rightarrow \Delta 29$ ) は厳しさがかなり増し、借入難易度 ( $\Delta 4 \rightarrow \Delta 2$ ) はやや改善した。今期借入れをした企業は 19% で前期の 21% から 2 ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

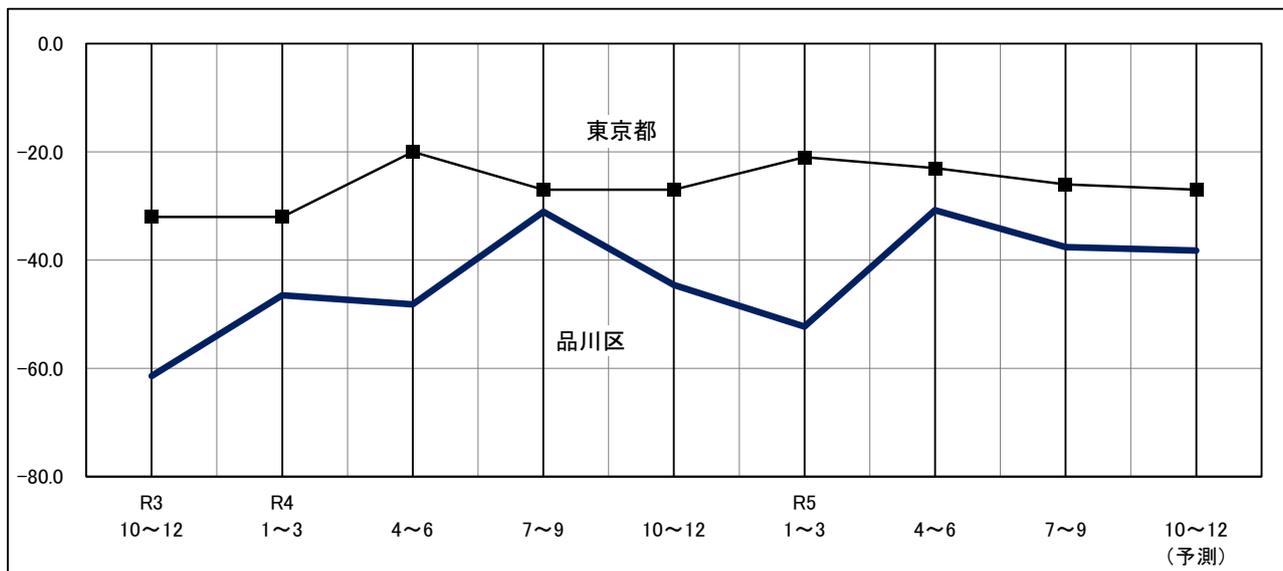
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 62%、2 位は「原材料高」が 44%、3 位は「仕入先からの値上げ要請」が 20% となった。4 位の「人件費の増加」は前期の 8% から 18% と 10 ポイント増加している。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 48%、2 位は「経費を節減する」が 38%、3 位は「人材を確保する」が 24% となった。前期から上位項目に変動はなかった。

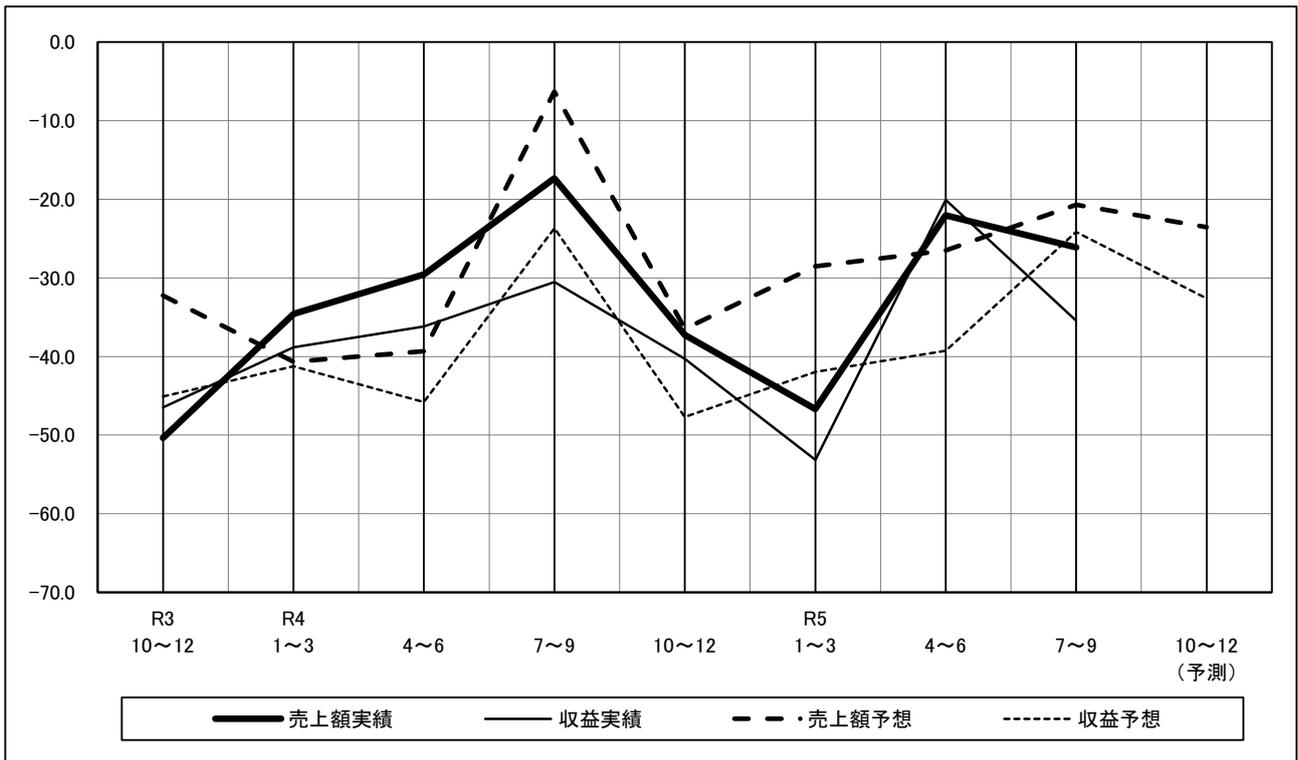
## 来期の見通し

業況 ( $\Delta 38 \rightarrow \Delta 38$ ) は今期並となる見込み。売上額、収益はともに減少幅がやや縮小すると予想されている。

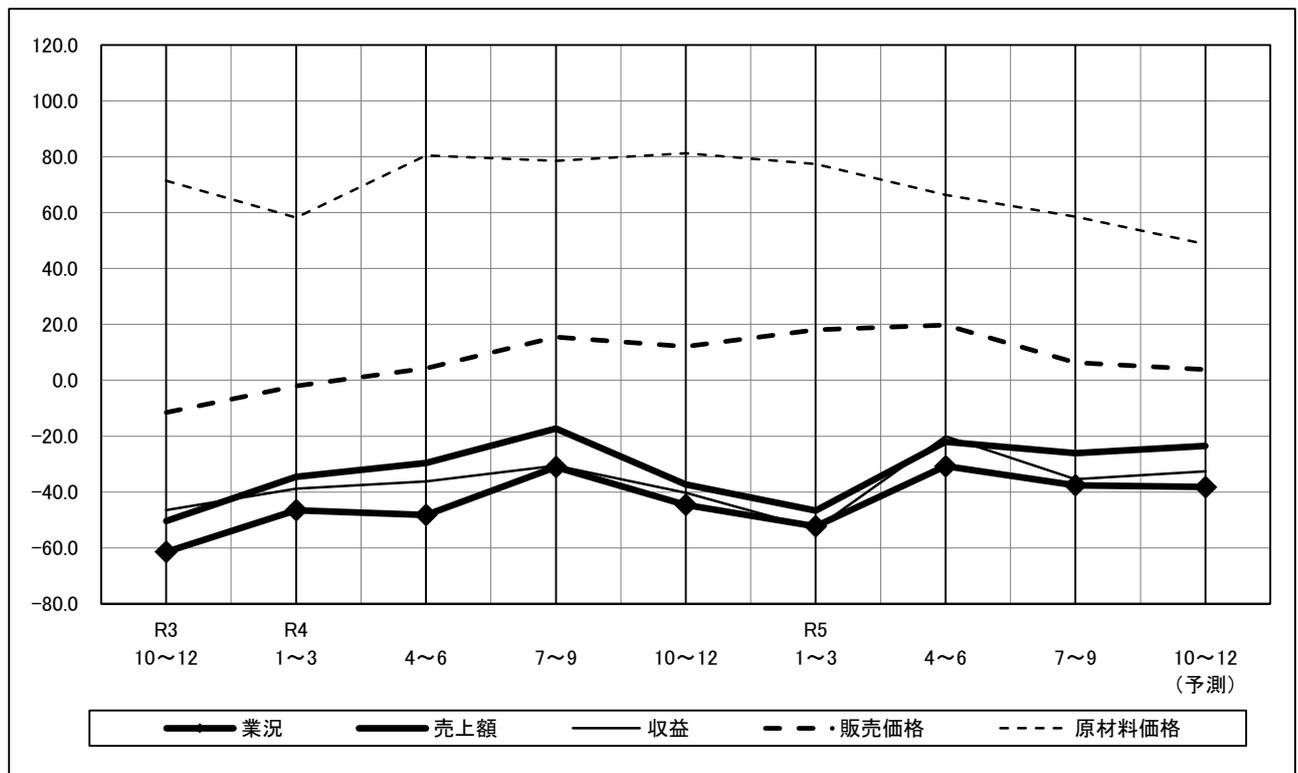
## 〈製造業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



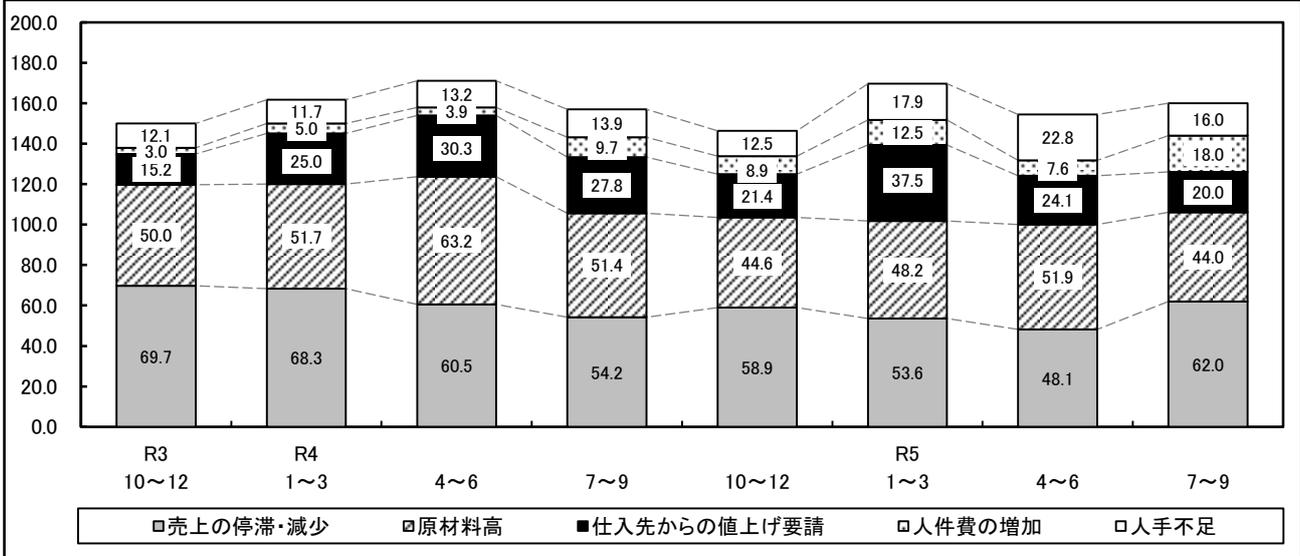
## 〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



## 〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

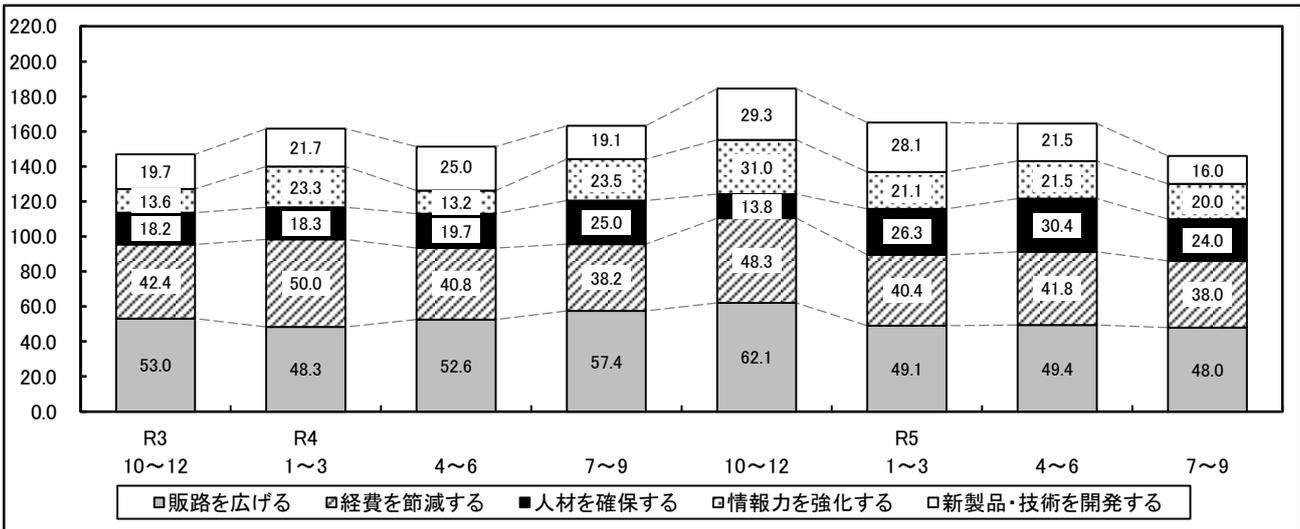


## 〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	売上停滞・減少	58.9 %	売上停滞・減少	53.6 %	原材料高	51.9 %	売上停滞・減少	62.0 %
第2位	原材料高	44.6 %	原材料高	48.2 %	売上停滞・減少	48.1 %	原材料高	44.0 %
第3位	工場・機械の狭小・老朽化	26.8 %	仕入先からの値上げ要請	37.5 %	仕入先からの値上げ要請	24.1 %	仕入先からの値上げ要請	20.0 %
第4位	仕入先からの値上げ要請	21.4 %	人手不足	17.9 %	人手不足	22.8 %	人件費の増加	18.0 %
第5位	利幅の縮小	14.3 %	利幅の縮小	14.3 %	工場・機械の狭小・老朽化	20.3 %	人手不足	16.0 %
	人件費以外の経費増加	14.3 %					工場・機械の狭小・老朽化	16.0 %

## 〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	販路を広げる	62.1 %	販路を広げる	49.1 %	販路を広げる	49.4 %	販路を広げる	48.0 %
第2位	経費を節減する	48.3 %	経費を節減する	40.4 %	経費を節減する	41.8 %	経費を節減する	38.0 %
第3位	情報力を強化する	31.0 %	新製品・技術を開発する	28.1 %	人材を確保する	30.4 %	人材を確保する	24.0 %
第4位	新製品・技術を開発する	29.3 %	人材を確保する	26.3 %	情報力を強化する	21.5 %	情報力を強化する	20.0 %
第5位	人材を確保する	13.8 %	情報力を強化する	21.1 %	教育訓練を強化する	12.7 %	新製品・技術を開発する	16.0 %

(1) 電気機械器具

業況(△5→△48)は低調感が極端に強まった。売上額(△18→△28)は減少幅がかなり拡大し、収益(△26→△7)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(31→33)は上昇傾向がやや強まり、原材料価格(67→39)は上昇傾向が極端に弱まった。資金繰り(△8→△23)は厳しさがかなり増した。来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△43→△20)は極端に改善した。売上額(△42→△8)は減少幅が極端に縮小し、収益(△34→△50)は減少幅がかなり拡大した。販売価格(18→△22)は上昇から下降に転じ、原材料価格(61→64)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△8→△11)は厳しさがやや増した。来期の業況は低調感がやや強まると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△19→△13)はかなり改善した。売上額(60→△20)、収益(54→△28)はともに増加から減少に転じた。販売価格(3→9)は上昇傾向がかなり強まり、原材料価格(66→56)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△12→△40)は厳しさが極端に増した。来期の業況はやや改善すると予想されている。

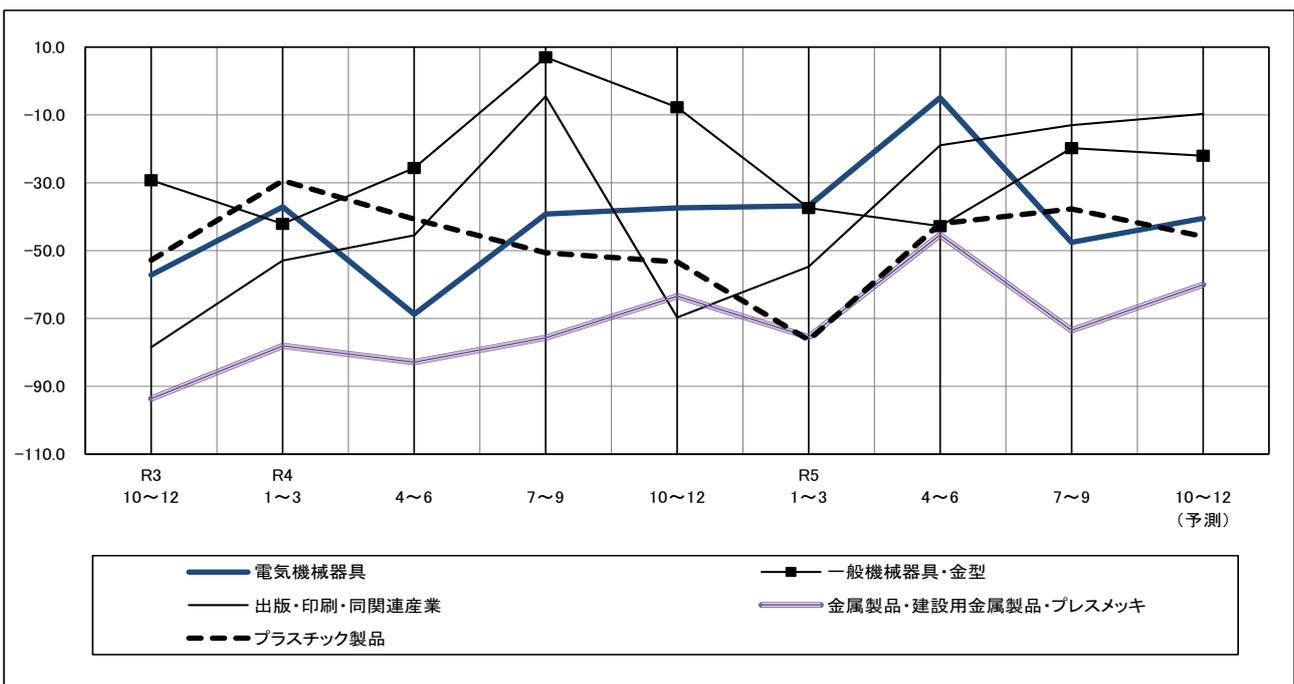
(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△45→△74)は低調感が極端に強まった。売上額(△35→△62)は減少幅が極端に拡大し、収益(△36→△53)は減少幅がかなり拡大した。販売価格(11→22)、原材料価格(62→79)はともに上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△37→△58)は厳しさが極端に増した。来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△42→△38)はやや改善した。売上額(△54→△23)は減少幅が極端に縮小し、収益(△38→△31)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(30→0)は上昇傾向が極端に弱まり、原材料価格(79→60)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△31→△17)は厳しさがかなり和らいだ。来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



# 製造業 業種別コメント

## ＜電気機械器具＞

1. 人手不足が一番の問題である。
2. 電気制御機器関連の在庫調整により売上が減少。
3. 例年年末にかけて季節商品があり、売上も上昇する時期に入る。
4. 一時的な受注減。

## ＜一般機械器具・金型＞

1. 家賃の上昇に困っている。
2. 10月までは順調に推移するものの、受注・引合は減少しており、11月以降は厳しい業況が見込まれる。
3. 安定した受注ではなく山・谷あり。売上伸び悩み。
4. 人材を採用したいが応募者が来ない。
5. 新規の採用については、ハローワーク求人媒体を利用して行っているが、応募者も少なく、退職者の補充ができない状況である。そのため人手不足となり受注する際の納期も長くなってしまい、失注につながることを懸念している。
6. 後継者問題。
7. 値上げ交渉が難航している。為替の関係で受注量減少。余裕のある今のうちに、生産性UPを推進したい。
8. 市場の設備投資の後送により製造予定がなくなった（半導体装置）。

## ＜出版・印刷・同関連産業＞

1. 5類に移行し、コロナも一段落したように見受けられるが、売上は相変わらず低迷したままである。先の見通しは暗い。
2. 光熱費など経費が高くなってきており、先に不安を感じる。

## ＜金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ＞

1. 現在、売上は増加しているが、コロナ禍からの回復によるインバウンド的な要素が強い。人材は世の中のブームもあってか、すぐに転職をする流れがある（採用も容易）。人材は回転するばかりで育たない。
2. 減収・減益続き。原材料高や光熱費の値上げでやりようがない。
3. 値上げはしてもらっているが、受注が減っている。
4. 受注先が出来ても相手先の単価が当社単価より半分以下なので、朝9時から夜9時まで仕事がある限り頑張っていますが、売上は約半分でなかなか元には戻らない。
5. 販路を広げ、経費を節減する。

## ＜プラスチック製品＞

1. 最重要顧客の生産数減少に伴う受注減。
2. 売上高停滞、利益伸び悩み、社員高齢化。

# 卸 売 業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況(△23→△28)は低調感がかなり強まった。売上額(△2→△11)は減少幅がかなり拡大し、収益(△26→△13)は減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は3ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

販売価格(33→17)、仕入価格(64→48)は上昇傾向がかなり弱まり、在庫(6→15)は過剰感がかなり強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△16→△19)は厳しさがやや増し、借入難易度(△9→△4)はやや改善した。今期借入れをした企業は22%で前期の32%から10ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

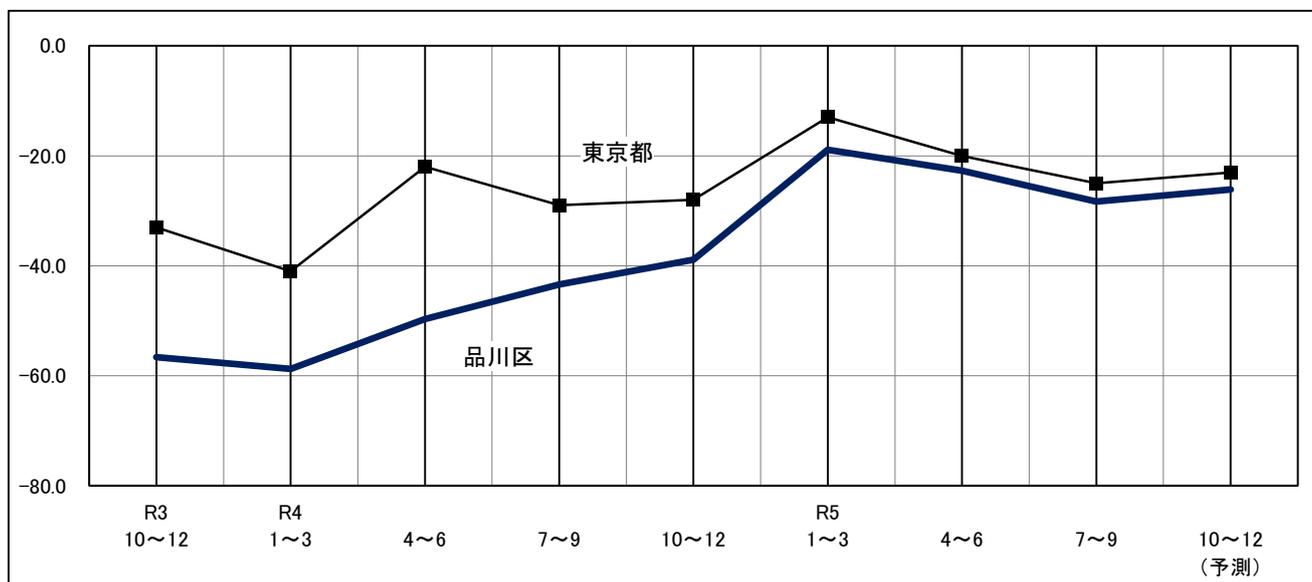
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が48%、2位は「為替レートの変動」が40%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が36%となった。前期3位だった「為替レートの変動」は、今期2位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が57%、2位は「経費を節減する」が43%、3位は「情報力を強化する」が36%となった。前期から上位項目に変動は見られなかった。

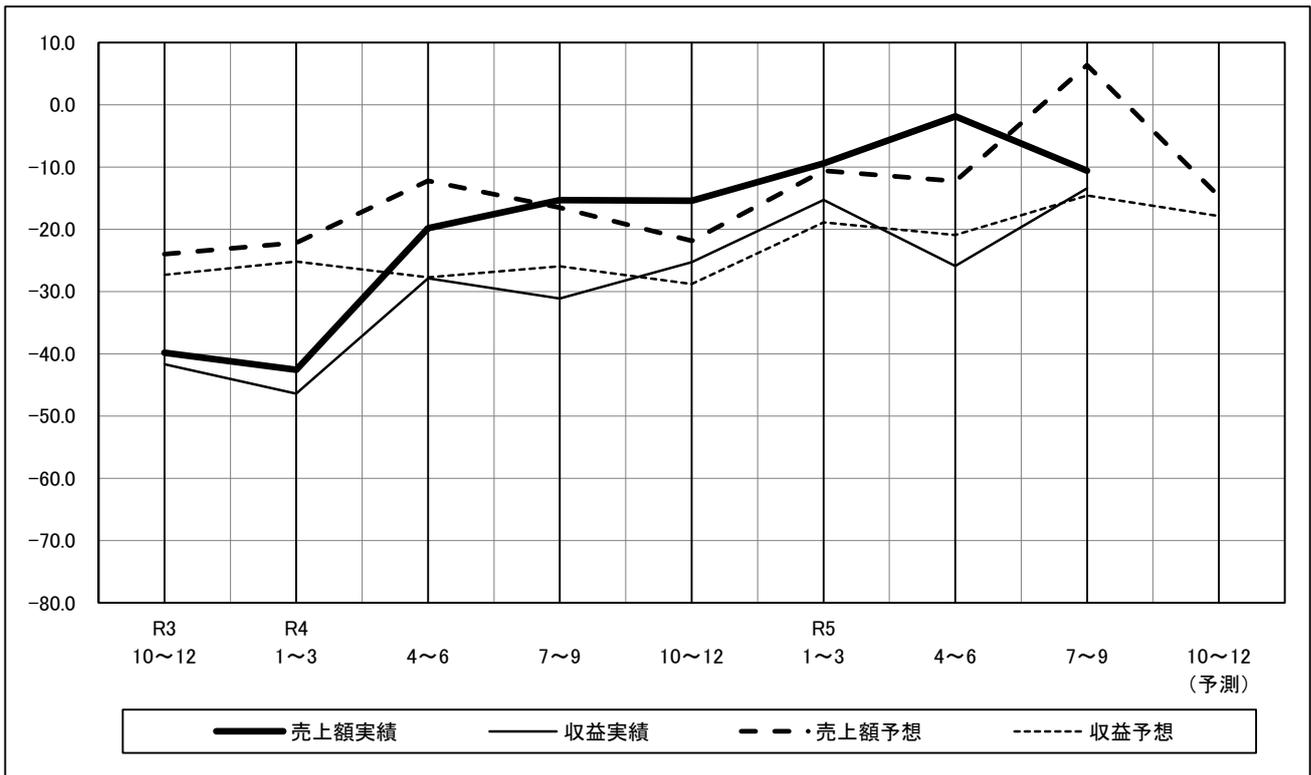
## 来期の見通し

業況(△28→△26)はやや改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がやや拡大すると予想されている。

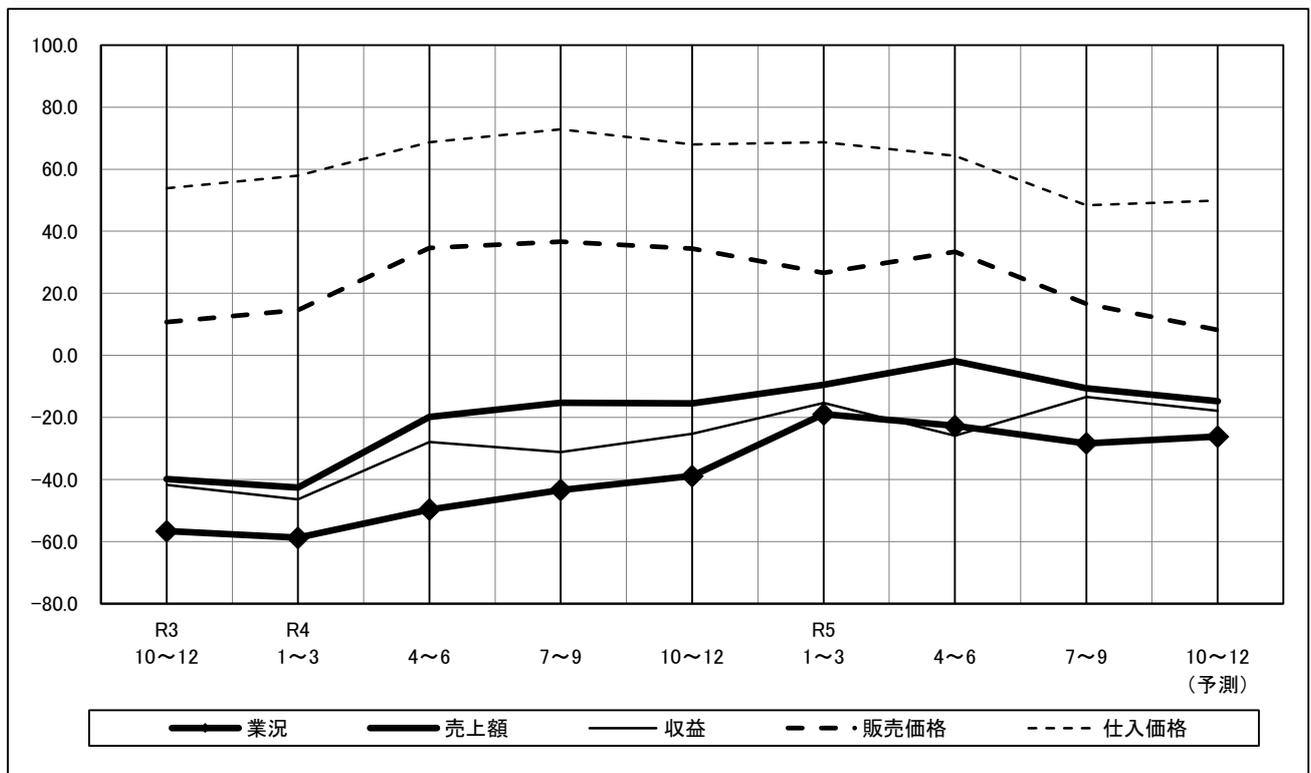
## 〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



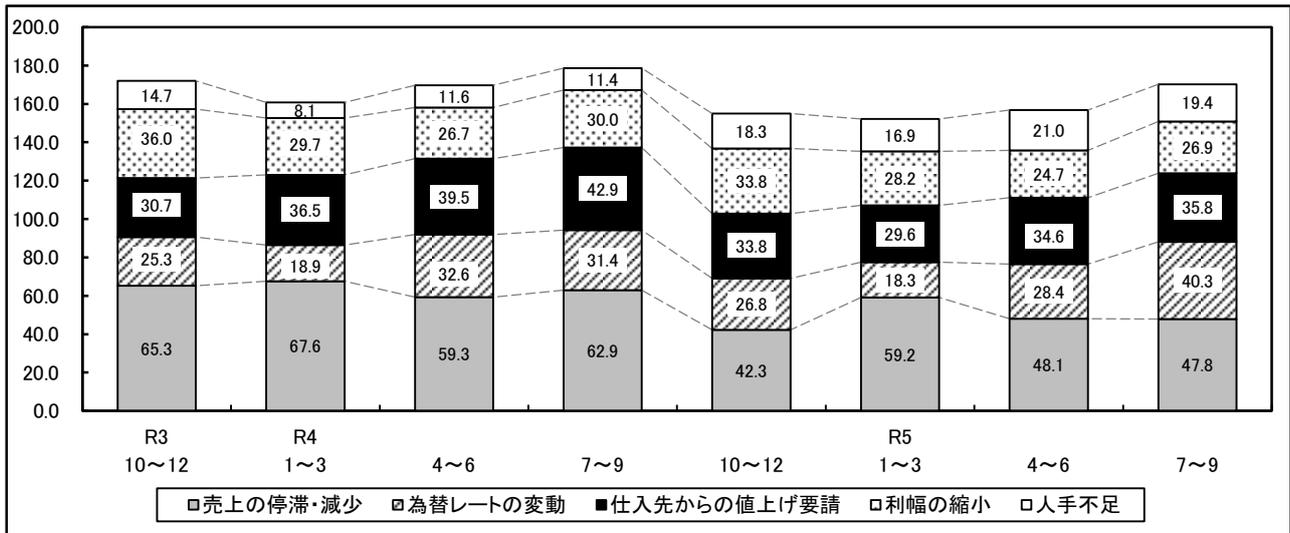
## 〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



## 〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

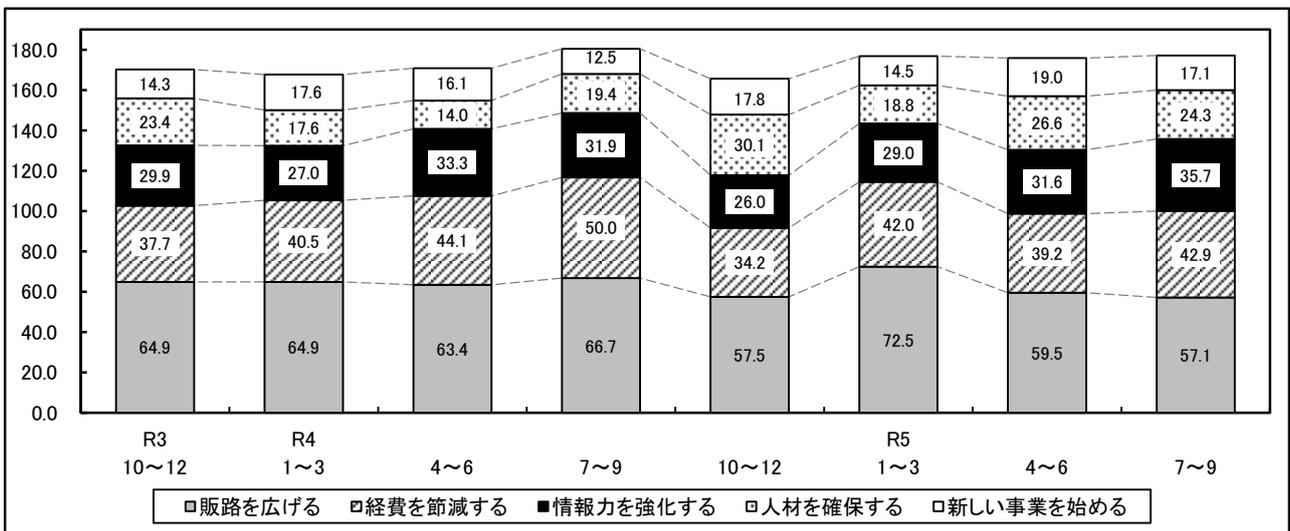


## 〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R4.10~12月期	R5.1~3月期	R5.4~6月期	R5.7~9月期
第1位	売上上の停滞・減少 42.3 %	売上上の停滞・減少 59.2 %	売上上の停滞・減少 48.1 %	売上上の停滞・減少 47.8 %
第2位	利幅の縮小 33.8 % 仕入先からの値上げ要請 33.8 %	仕入先からの値上げ要請 29.6 %	仕入先からの値上げ要請 34.6 %	為替レートの変動 40.3 %
第3位	為替レートの変動 26.8 %	利幅の縮小 28.2 %	為替レートの変動 28.4 %	仕入先からの値上げ要請 35.8 %
第4位	人手不足 18.3 %	取引先の減少 19.7 %	利幅の縮小 24.7 %	利幅の縮小 26.9 %
第5位	同業者間の競争の激化 15.5 %	為替レートの変動 18.3 %	人手不足 21.0 %	人手不足 19.4 %

## 〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



	R4.10~12月期	R5.1~3月期	R5.4~6月期	R5.7~9月期
第1位	販路を広げる 57.5 %	販路を広げる 72.5 %	販路を広げる 59.5 %	販路を広げる 57.1 %
第2位	経費を節減する 34.2 %	経費を節減する 42.0 %	経費を節減する 39.2 %	経費を節減する 42.9 %
第3位	人材を確保する 30.1 %	情報力を強化する 29.0 %	情報力を強化する 31.6 %	情報力を強化する 35.7 %
第4位	情報力を強化する 26.0 %	品揃えを充実する 20.3 %	人材を確保する 26.6 %	人材を確保する 24.3 %
第5位	新しい事業を始める 17.8 %	人材を確保する 18.8 %	新しい事業を始める 19.0 %	新しい事業を始める 17.1 %

## 卸売業 業種別コメント

1. コロナ禍で仕入が滞っていたが、一挙に商品が入荷して在庫処分をせざるを得ない。
2. 円安がひどい。
3. 円安によるコストアップが厳しい。
4. インターネットの普及が進み、大手の広告戦略により、弊社の様な零細企業は苦しい経営を強いられている状況だ。今後はIT戦略により販路を広げる予定である。
5. とりあえずコロナ禍が終わりへ近づき、業績上昇傾向。
6. 輸入品の卸売りのため、円安が続くと売上が下がる。
7. 取引先の関係先も含め大口取引先の不調が大きく、その他で売上を伸ばすもカバーできない。来期も同様になる見込み。
8. 需要は増えた。売価も上がったが収益が横ばい。コロナ融資の返済が始まり資金繰り悪化。
9. 売上が少しずつ上がっているのは、仕入値が上がってきたため。その分だけ価格を上げさせてもらっている。利幅が縮小しているのでこの先に不安がある。来年からコロナ融資の返済が始まるので、返していけるか不安でいっぱい。小規模・零細企業の融資返済への補助とか援助がないと、来年から倒産廃業が恐ろしく増えるのではないかと心配している。
10. 生活物価の上昇が目立ち嗜好品の買い控えを感じる。外国人の旅行者は都内でも目立つが、食にはお金をあまりかけていない。夕刻の気温の高さからか、外食が減少傾向。
11. 高価格の輸入ワインの販路を拡大し、1~3年のスパンで売上・利益の倍増を目指す。
12. 温暖化による水産物、原料の減産による品不足と価格高騰。
13. 円安による仕入原価の高騰。
14. 人手不足、人材不足が常態化している。売上は落ちるが得意先を減らすか悩んでいる。
15. 輸入商社のため、円安が大きく商品価格に影響している。
16. 景気が少し良くなってきている。
17. 海外業務に関しては為替の変化に出張など行きにくく、売上が減少している。インボイスの影響で追加業務が増えている。
18. 円安により収益が圧迫されている。
19. 上位主要取引先の好調に支えられ、受注が増え安定基調が続いています。21年度、22年度と過去最高業績を更新し、23年度もほぼ前年並で推移中。
20. ウクライナの戦争や、中国の景気の停滞からか、全体的に景気が減速している。
21. 今年年末から2年間位は増収・増益の見込みです。
22. 建設関連工事が概ね堅調に推移しており、弊社主業種である空調関連機器販売についても順調に売上が伸びている状況です。
23. メーカーの生産が間に合わず、受注残が多数発生している。
24. 一名退職につき人手不足ではあるが、取引先との結びつきについて今一度考えて多くの受注確保に努める。
25. 業績は好調で、5年先までは展望が見えているが、若手の採用、育成に苦労しており、中高年が会社の核のままである点が問題となっている。
26. マーケットの需要が落ち着いて、販売が減少している。
27. 需要が増え、増収・増益が続いている。
28. コロナ後の新規需要を受け業績は好調。今後この好調がどこまで継続するか見極めが必要。
29. 顧客在庫過多で新規受注の減少で売上が増加しない。
30. 人手不足により受注の減少、調整後拡大の方針。
31. 人手不足につきます。良い人は大手に行ってしまう。
32. 仕入先から値上げに対して、売上に転換できていない。
33. 取引先であるエステティックサロンの業況に悪化の傾向がみられる。しかし一部サロンでは動きがみられることもあり今後の回復を期待する。
34. 時代に合わせた商品の取り扱いを増やす。広告で商品を訴求する。B to BからB to Cを増やし利益を確保する。
35. 年内までは受注が増え、増収・増益を予定。
36. 貿易が増えているので円安で支払が大幅に増えている。
37. 為替の影響と市場環境の変化により、これまでのビジネスモデルを変えて、新しい分野への挑戦を進めながら事業転換を図っています。

# 小 売 業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 (9→7) は好調感がやや後退した。売上額 (27→6) は増加幅が極端に縮小し、収益 (12→△16) は増加から減少に転じた。

なお、全都と比較した当区の業況は 46 ポイント上回っている。

## 価格・在庫動向

販売価格 (40→43)、仕入価格 (79→82) はともに上昇傾向がやや強まった。在庫 (10→11) は前期並となった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り (△14→△18) は厳しさがやや増し、借入難易度 (△22→△18) はやや改善した。今期借入れをした企業は 18% で前期の 35% から 17 ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

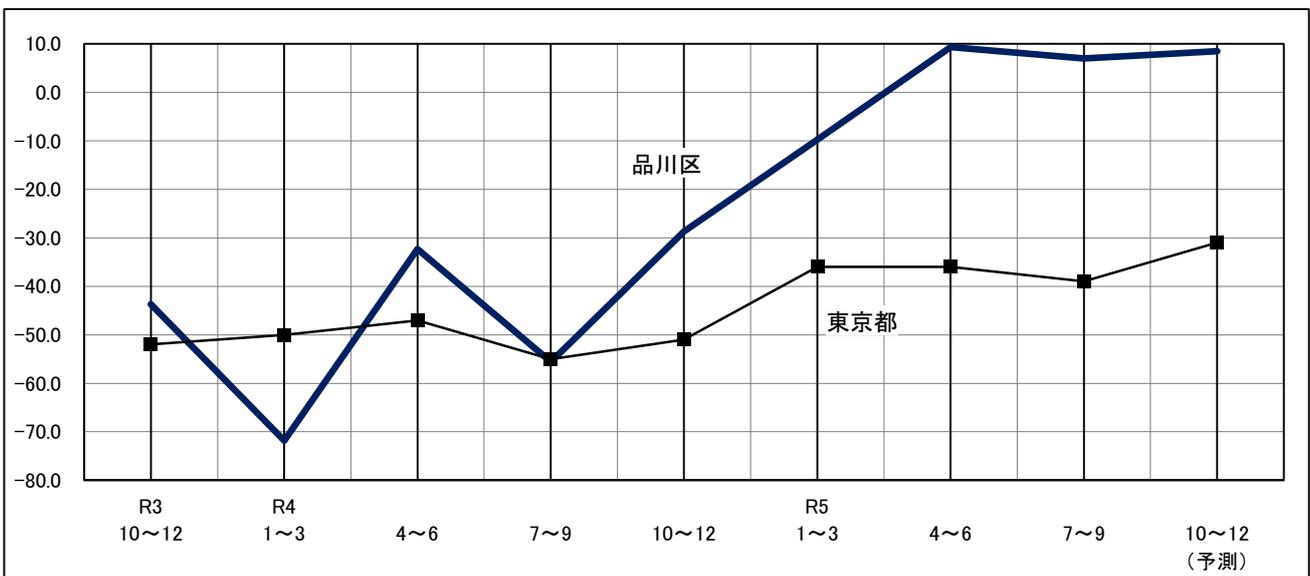
経営上の問題点は、1 位は「人手不足」「人件費の増加」がともに 47%、2 位は「売上の停滞・減少」「仕入先からの値上げ要請」がともに 37%、3 位は「天候の不順」が 28% となった。前期圏外だった「天候の不順」が今期 3 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 59%、2 位は「人材を確保する」が 50%、3 位は「宣伝・広報を強化する」が 21% となった。上位項目に変動は見られなかった。

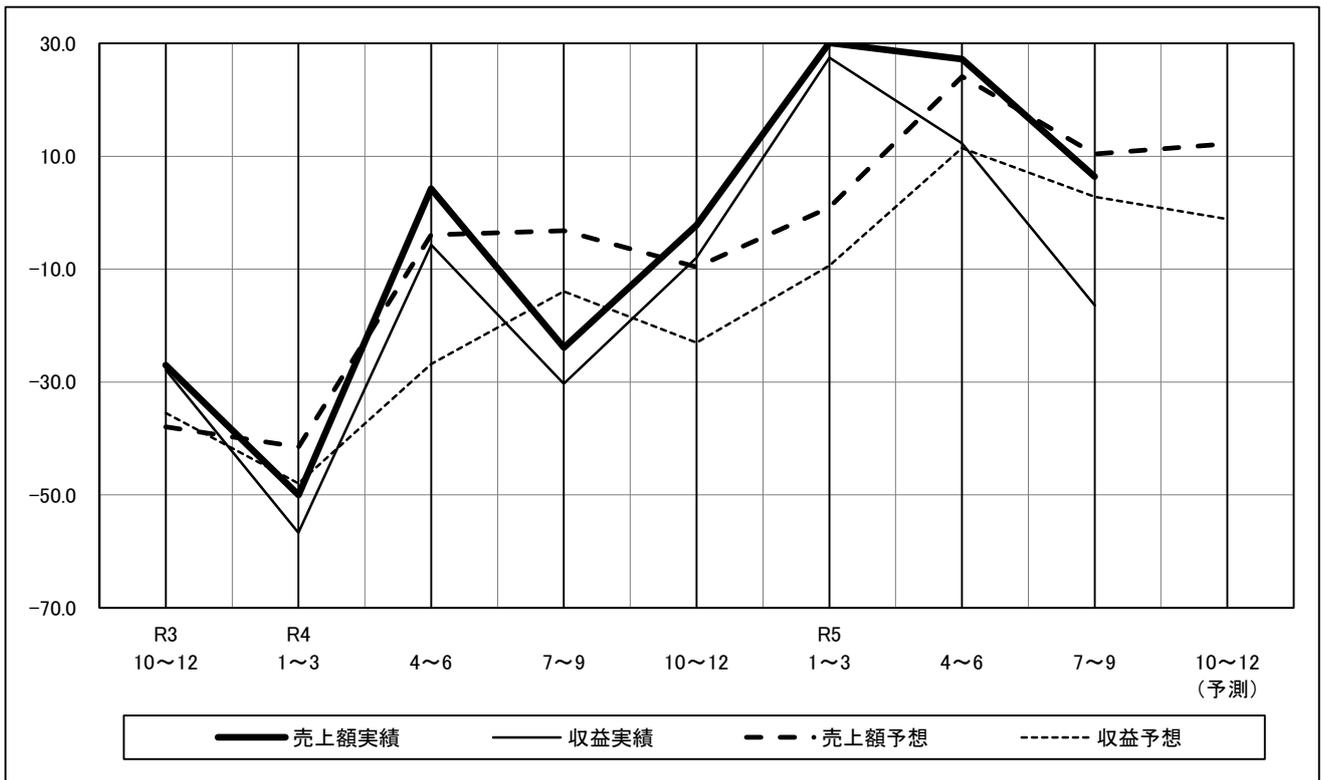
## 来期の見通し

業況 (7→9) は好調感がやや強まる見込み。売上額は増加幅がかなり拡大し、収益は減少幅がかなり縮小すると予想されている。

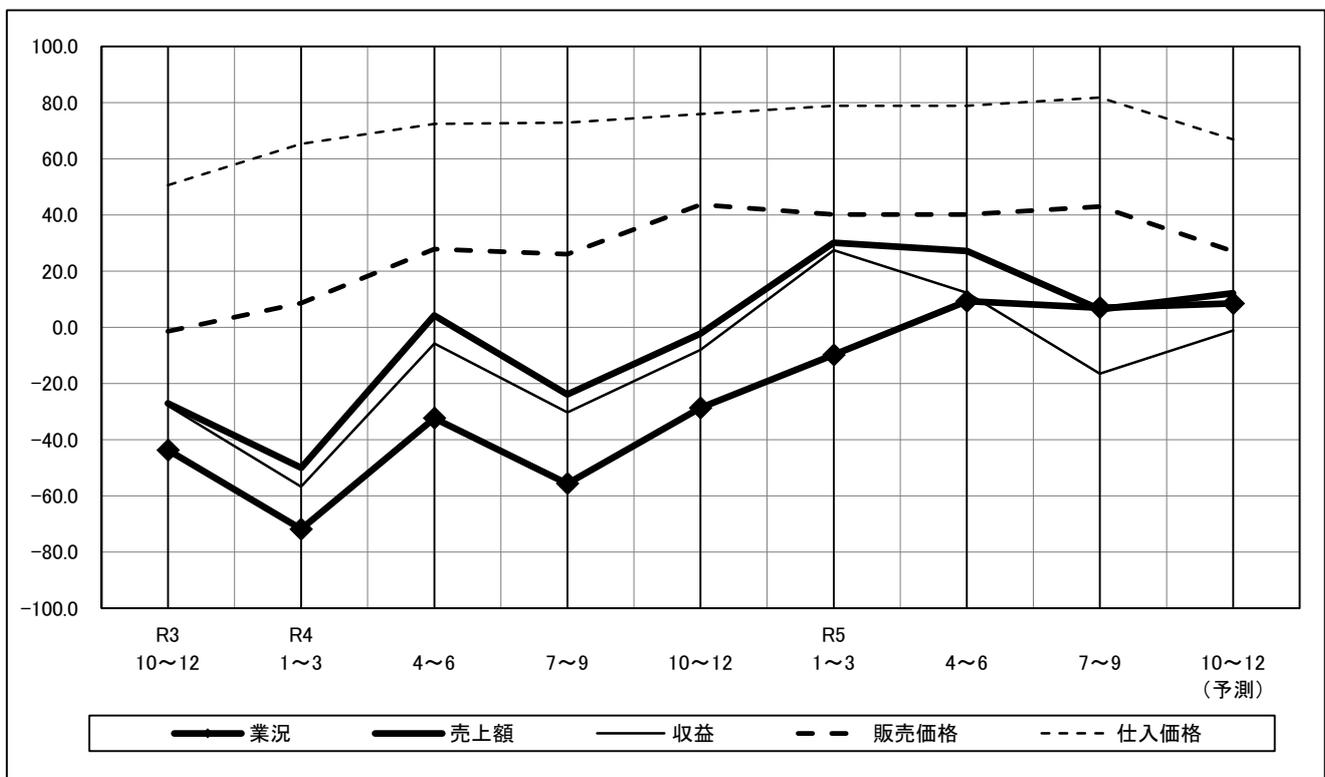
## 〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き (実績) と来期の予測



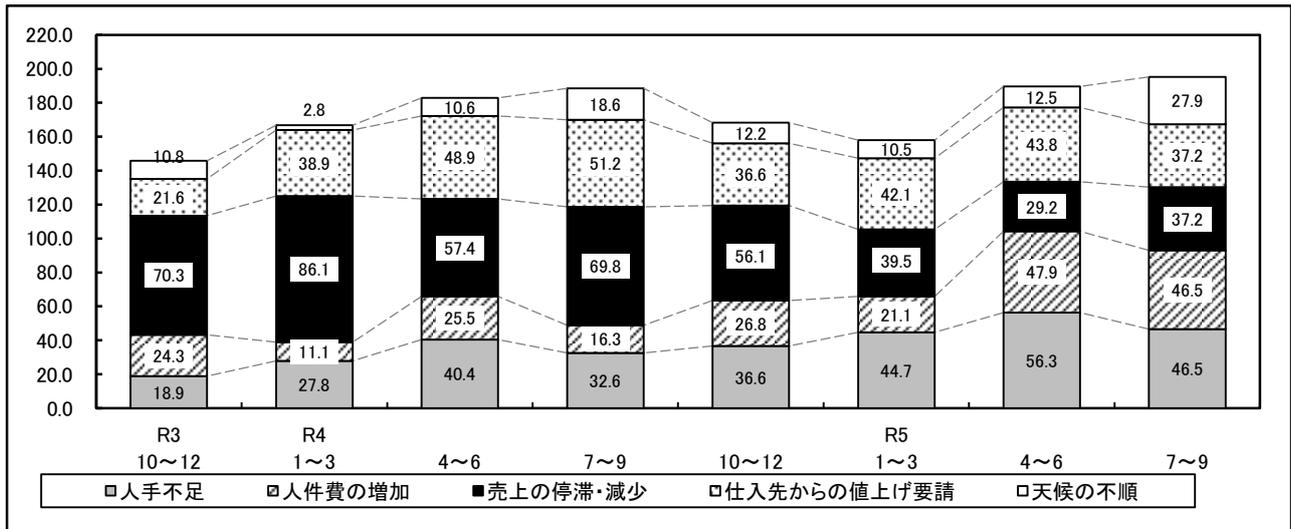
## 〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



## 〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

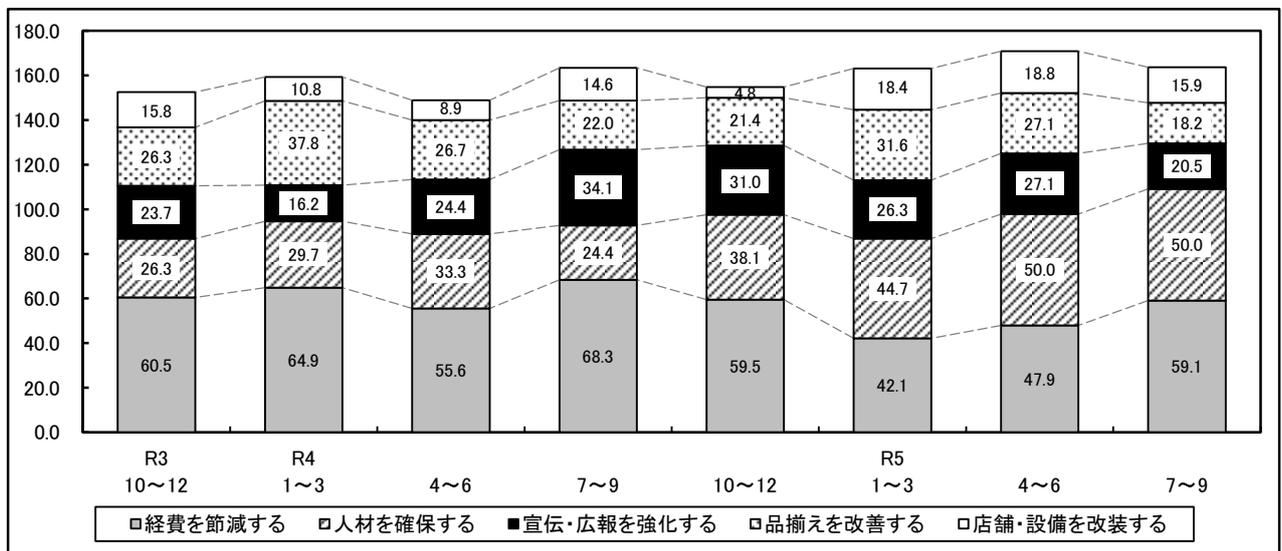


## 〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	56.1 %	人手不足	44.7 %	人手不足	56.3 %	人手不足	46.5 %
							人件費の増加	46.5 %
第2位	人手不足	36.6 %	仕入先からの値上げ要請	42.1 %	人件費の増加	47.9 %	売上の停滞・減少	37.2 %
	仕入先からの値上げ要請	36.6 %					仕入先からの値上げ要請	37.2 %
第3位	人件費の増加	26.8 %	売上の停滞・減少	39.5 %	仕入先からの値上げ要請	43.8 %	天候の不順	27.9 %
第4位	利幅の縮小	17.1 %	利幅の縮小	28.9 %	売上の停滞・減少	29.2 %	利幅の縮小	20.9 %
第5位	人件費以外の経費の増加	14.6 %	人件費以外の経費の増加	23.7 %	人件費以外の経費の増加	27.1 %	人件費以外の経費の増加	11.6 %
							取引先の減少	11.6 %

## 〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	経費を節減する	59.5 %	人材を確保する	44.7 %	人材を確保する	50.0 %	経費を節減する	59.1 %
第2位	人材を確保する	38.1 %	経費を節減する	42.1 %	経費を節減する	47.9 %	人材を確保する	50.0 %
第3位	宣伝・広報を強化する	31.0 %	品揃えを改善する	31.6 %	品揃えを改善する	27.1 %	宣伝・広報を強化する	20.5 %
第4位	品揃えを改善する	21.4 %	宣伝・広報を強化する	26.3 %	新しい事業を始める	20.8 %	品揃えを改善する	18.2 %
第5位	仕入先を開拓・選別する	16.7 %	仕入先を開拓・選別する	21.1 %	店舗・設備を改装する	18.8 %	店舗・設備を改装する	15.9 %
							仕入先を開拓・選別する	15.9 %
							売れ筋商品を取扱う	15.9 %
							機械化を推進する	15.9 %

(1) 飲食料品

業況(1→△28)は悪化に転じた。売上額(△3→△39)、収益(△6→△51)はともに減少幅が極端に拡大し、販売価格(24→39)、仕入価格(72→84)はともに上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△34→△19)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

(2) 飲食店

業況(1→47)は好調感が極端に強まった。売上額(31→29)、収益(12→8)はともに増加幅がやや縮小した。販売価格(44→56)は上昇傾向がかなり強まり、仕入価格(90→93)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△6→△18)は厳しさがかなり増した。

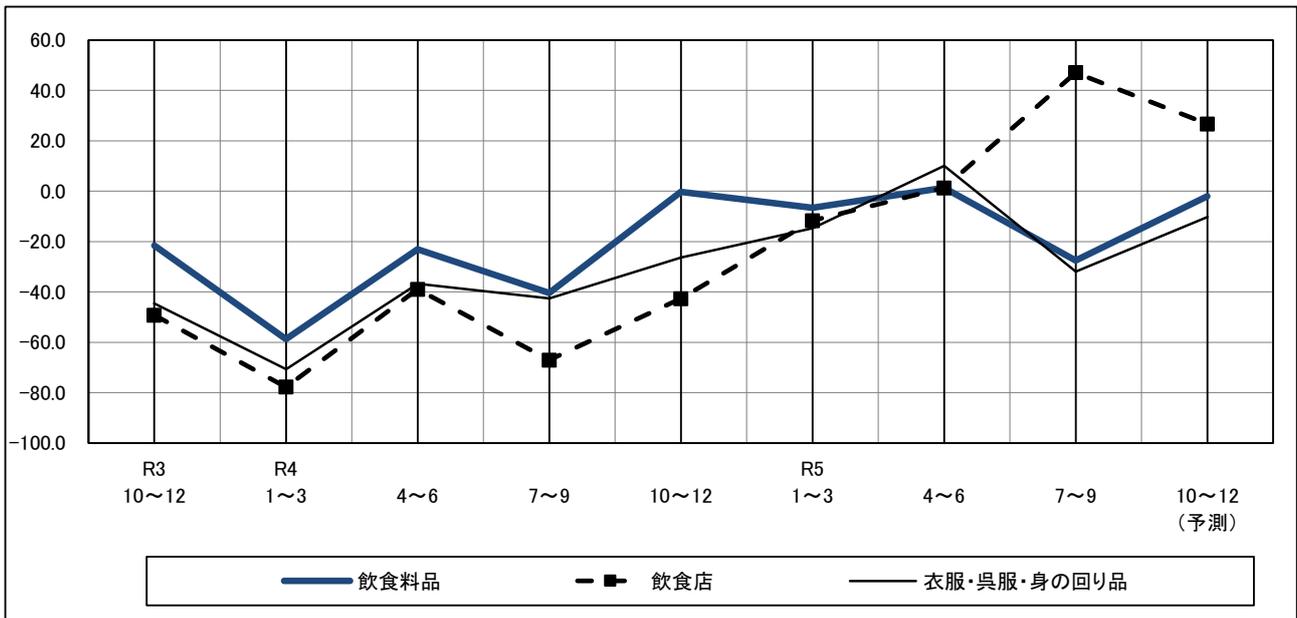
来期の業況は好調感が極端に後退すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(10→△32)は悪化に転じた。売上額(33→△6)、収益(20→△45)はともに増加から減少に転じた。販売価格(44→0)は上昇傾向が極端に弱まり、仕入価格(60→45)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△22→△27)は厳しさがやや増した。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



## 小売業 業種別コメント

### <飲食料品>

1. コロナ禍、ロシア・ウクライナ情勢の変化、円安により弊社の仕入れに甚大な影響が出て赤字が続き、親会社に譲渡された。
2. スーパーの進出により売上が減少している。
3. 売価を上げて、資金繰りが少し落ち着いた。
4. コロナ以降情勢により売上比率の変化があるため、柔軟な対応が必要。
5. 売上が減少している。
6. メーカーの値上げと客との値上げの利益減少。
7. 経費削減に努めているが限界がある。材料費＝仕入費用が値上がりしている。売価を上げるのは難しい。人手不足による工場作業員の人件費が大幅に上がっている。
8. 原価高、人材不足、売上減。

### <飲食店>

1. テレワークの定着によって減少した売上分を値上げで対応した。
2. 新型コロナウイルスが落ち着いてきて少しずつ客足は戻ってきているが、台風等安定しない天候のためのキャンセルが続いたりとなかなか売上が上がってこない現状です。
3. 人材確保に努める。
4. セカンドブランドの店舗を新設し売上は増加している。
5. 販売価格以上の仕入費用の高騰と人手確保のための広告費、人件費の増加。並びにパート社員の収入の壁に伴う勤務時間の短縮。
6. 人件費、物価上昇により厳しい状況が続いています。

8. 物価高により買い控えがあるように思える。
9. 食材の値上がりと最低賃金のアップが止まらなくて、苦しい。

### <衣服・呉服・身の回り品>

1. 来客数は増えているが、成約までいたらない。
2. 出店増によるコストアップを見直す。
3. コロナによる行動制限が明けてもコロナ前の売上に戻らず3割減のまま。
4. ・ファッションに関係なく革靴よりスニーカーに需要が変わってしまった。  
・客の購買単価が下がった。  
・今年は特に季節変動が激しく商店街への来街者が減ってしまった。今回対象の7月～9月期は売上減少になった。
5. 2018～2019年の売上に戻らないのが問題である。長期にわたって営業料（家賃）が圧迫。

# サービス業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 (4→△1) は悪化に転じた。売上額 (1→13) は増加幅がかなり拡大し、収益 (△3→1) は増加に転じた。

なお、全都と比較した当区の業況は 19 ポイント上回っている。

## 価格・在庫動向

料金価格 (11→16) は上昇傾向がやや強まり、材料価格 (46→56) は上昇傾向がかなり強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り (1→△2) は厳しい状況に転じ、借入難易度 (3→12) は容易さがかなり増した。今期借入れをした企業は 20%で前期の 19%から 1 ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

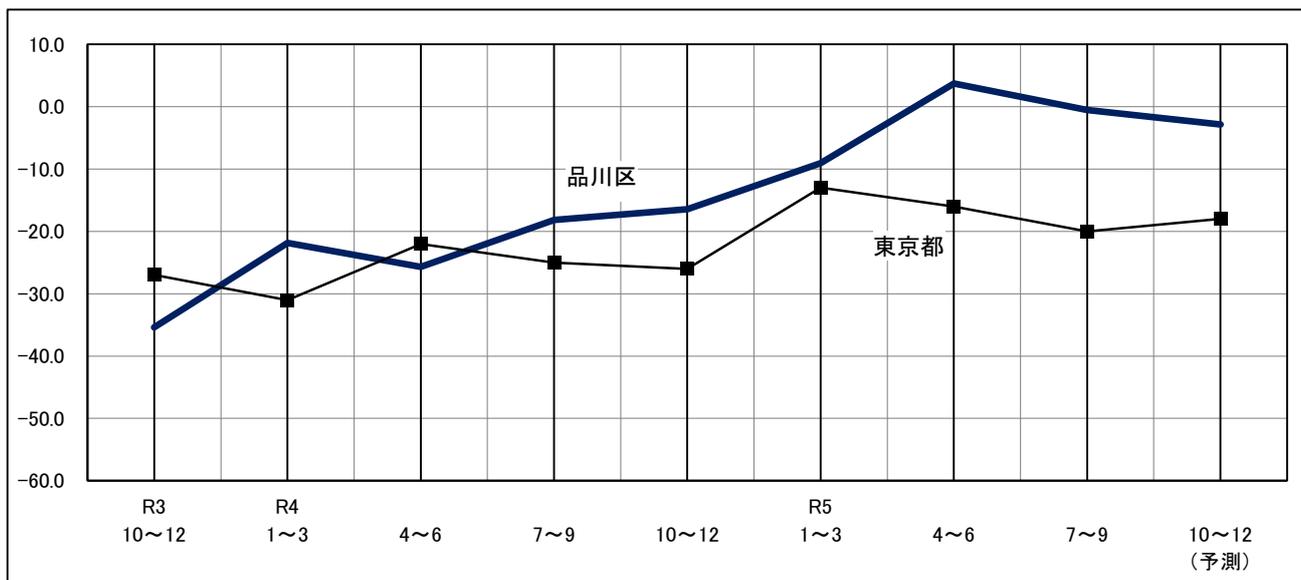
経営上の問題点は、1 位は「人手不足」が 55%、2 位は「材料価格の上昇」が 36%、3 位は「人件費の増加」が 33%となった。前期 3 位だった「材料価格の上昇」が今期 2 位と順位を上げ、令和 3 年 10~12 月期以降で最も高い割合となっている。

重点経営施策は、1 位は「人材を確保する」が 56%、2 位は「販路を広げる」が 44%、3 位は「経費を節減する」が 34%となった。前期に続き「人材を確保する」が 1 位となっている。

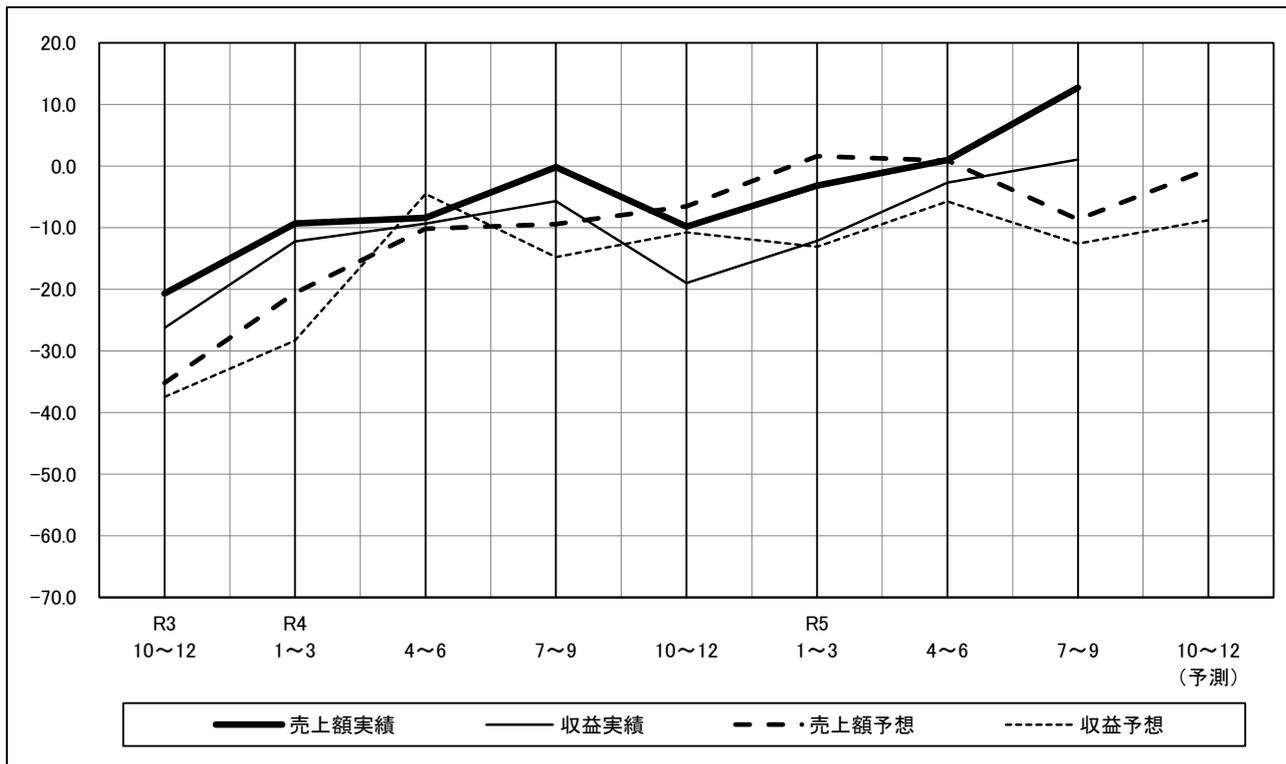
## 来期の見通し

業況 (△1→△3) は低調感がやや強まる見込み。売上額、収益はともに増加から減少に転じると予想されている。

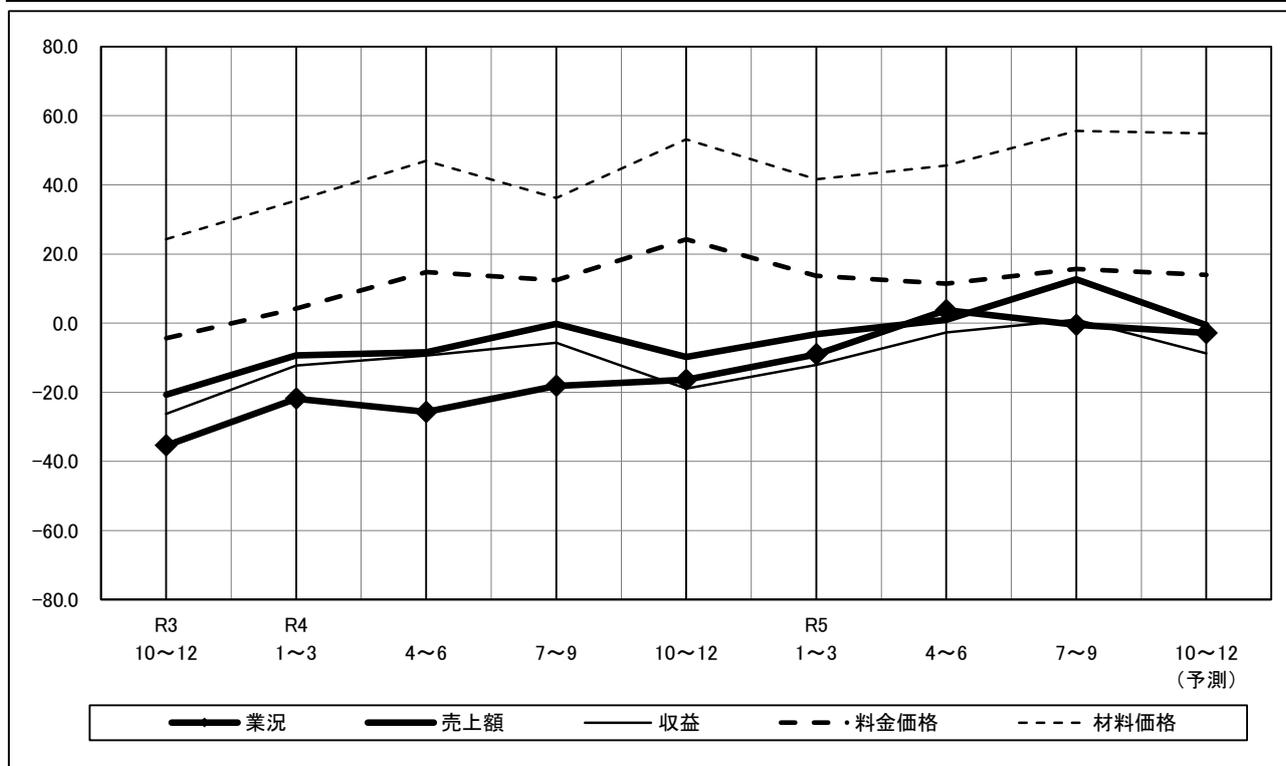
## <サービス業> 品川区と東京都の業況の動き (実績) と来期の予測



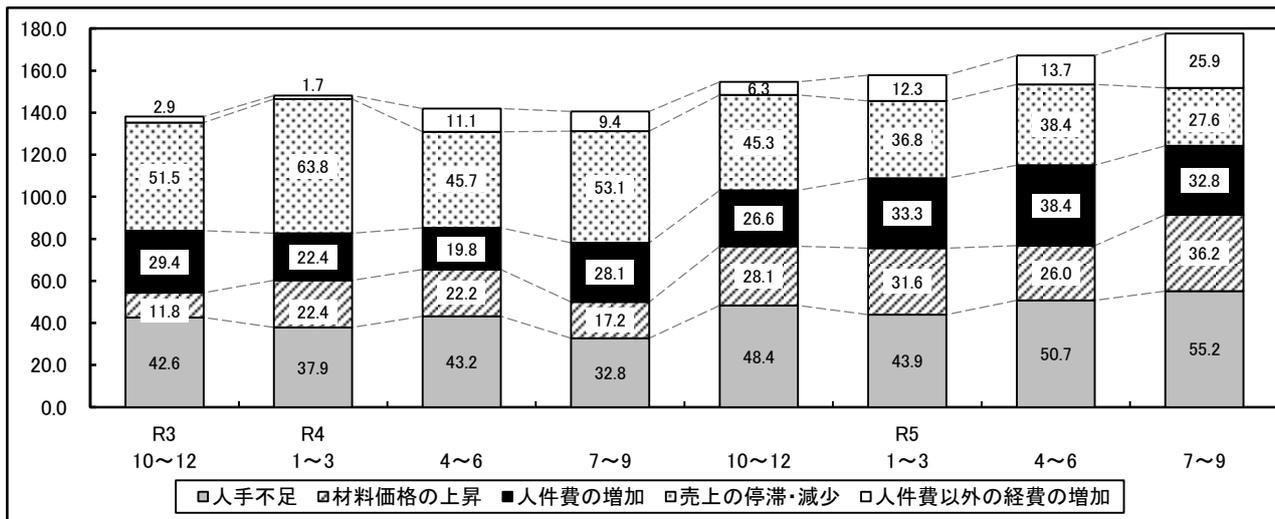
## 〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



## 〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

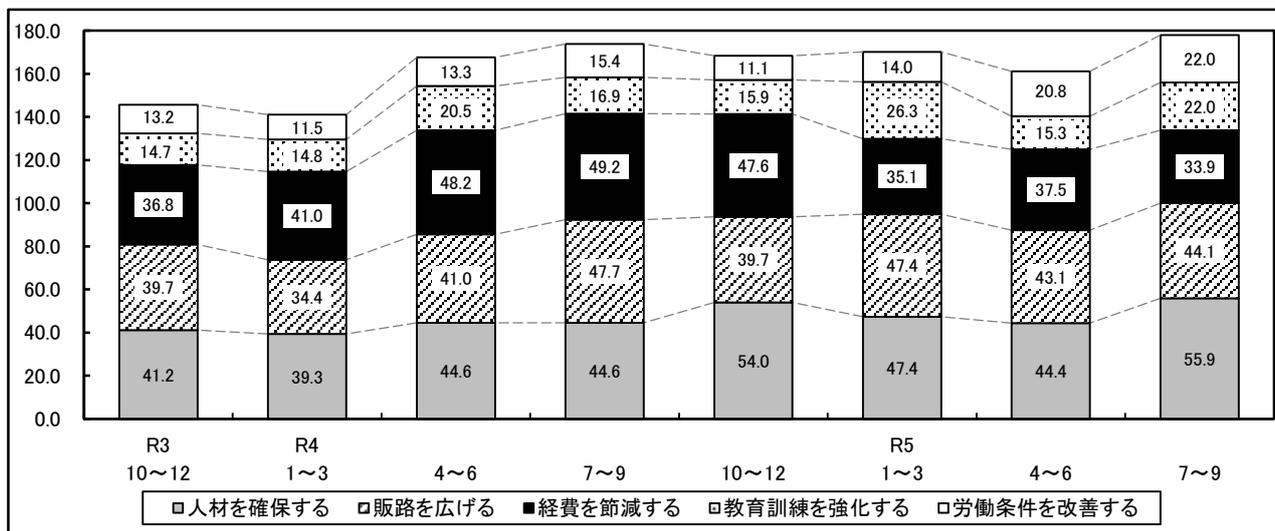


## 〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	人手不足	48.4 %	人手不足	43.9 %	人手不足	50.7 %	人手不足	55.2 %
第2位	売上の停滞・減少	45.3 %	売上の停滞・減少	36.8 %	売上の停滞・減少 人件費の増加	38.4 % 38.4 %	材料価格の上昇	36.2 %
第3位	材料価格の上昇	28.1 %	人件費の増加	33.3 %	材料価格の上昇	26.0 %	人件費の増加	32.8 %
第4位	人件費の増加	26.6 %	材料価格の上昇	31.6 %	同業者間の競争の激化	19.2 %	売上の停滞・減少	27.6 %
第5位	同業者間の競争の激化	17.2 %	利幅の縮小	22.8 %	利幅の縮小	17.8 %	人件費以外の経費の増加	25.9 %

## 〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	人材を確保する	54.0 %	販路を広げる 人材を確保する	47.4 % 47.4 %	人材を確保する	44.4 %	人材を確保する	55.9 %
第2位	経費を節減する	47.6 %	経費を節減する	35.1 %	販路を広げる	43.1 %	販路を広げる	44.1 %
第3位	販路を広げる	39.7 %	教育訓練を強化する	26.3 %	経費を節減する	37.5 %	経費を節減する	33.9 %
第4位	技術力を強化する	22.2 %	提携先を見つける	15.8 %	提携先を見つける 労働条件を改善する	20.8 % 20.8 %	教育訓練を強化する 労働条件を改善する	22.0 % 22.0 %
第5位	宣伝・広告を強化する	17.5 %	宣伝・広告を強化する	14.0 %	新しい事業を始める	16.7 %	技術力を強化する	18.6 %

## サービス業 業種別コメント

1. 徐々に需要が戻っているのですが、少しずつ良くなると思います。
2. 委託先からの価格改定要請が強まり離脱リスクが増加している。
3. ドライバー不足。新規雇用が困難。
4. 事業は安定しているが成長は停滞、新規事業等、新たな成長戦略が必要。
5. 働き方改革の導入により、仕事の受注減が心配。
6. 追加の融資が受けられず、資金繰りが苦しい。
7. 賃上げにより人件費が高騰しているが売上の値上げ交渉が進んでいない。地方拠点の人材不足により、地方への派遣費用と外部業者への業務委託が増加しており収益を圧迫している。
8. テナントビル管理業を生業としている弊社において、コロナ禍によるテナントビルのあり方が激変し、本年10月には9割のテナントが退去、新規入居社が未決定であり、年末、来年の営業見込みが立てられない。
9. 発注会社の売上減のため、売上の減少。
10. 設備投資における工事価格の上昇。
11. 経費削減に努めているが、昨今の最低賃金の値上げによりアルバイト人件費が高騰している。
12. 全ての物価が上昇しており、従業員の給与を上げなくてはならなくなっている。しかし、当社のサービスへの価格転嫁は難しいので効率化をより進める必要がある。
13. 人材不足で募集しても応募がない。
14. コロナ禍からの脱却により売上増になり収益も増収となった。食材費の値上げや最低賃金の値上げなどで収益を圧迫してきたが、クライアントの売価見直しなどの動きがあり、業績上昇の期待あり。
15. 教育システムを幼年～中学生のものをミドル・シニアにも拡大するための販路拡大を金融機関さんからの話で相談中。同業が多いので新たな提携先を確保したい。
16. 昨年と比較して増収・増益基調だが、採用が困難になっており一番の課題である。半導体不足の影響がつづいており、部品の長納期化、価格の上昇も継続課題となっている。
17. 円安による原材料費の価格上昇で仕入製品価格が上がっている。
18. 来期より(2023.12~24.11)コロナ禍で得た経験を基に、大きく事業の転換を実施していく予定です。イベント・プロモーション代理店として培ったものを応用しながら「集客すること」の方法を進化させどんな状況下でも安定した経営ができるようにしています。一時的に景況は落ちますが、長期的な結果を期待して運用していきたいです。
19. 店舗が見つかったため、事業が広がりました。

# 建設業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 20 \rightarrow \Delta 12$ ) はかなり改善した。売上額 ( $\Delta 24 \rightarrow \Delta 12$ )、施工高 ( $\Delta 18 \rightarrow \Delta 4$ ) はともに減少幅がかなり縮小した。収益 ( $\Delta 28 \rightarrow \Delta 25$ ) は減少幅がやや縮小した。

## 価格・在庫動向

請負価格 ( $\Delta 14 \rightarrow \Delta 11$ ) は下降傾向がやや弱まり、材料価格 (60→67) は上昇傾向がかなり強まった。在庫 (2→ $\Delta 5$ ) は過剰から品薄に転じた。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 16 \rightarrow \Delta 16$ ) は前期並となり、借入難易度 ( $\Delta 1 \rightarrow 5$ ) は好転した。今期借入れをした企業は31%で前期の29%から2ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

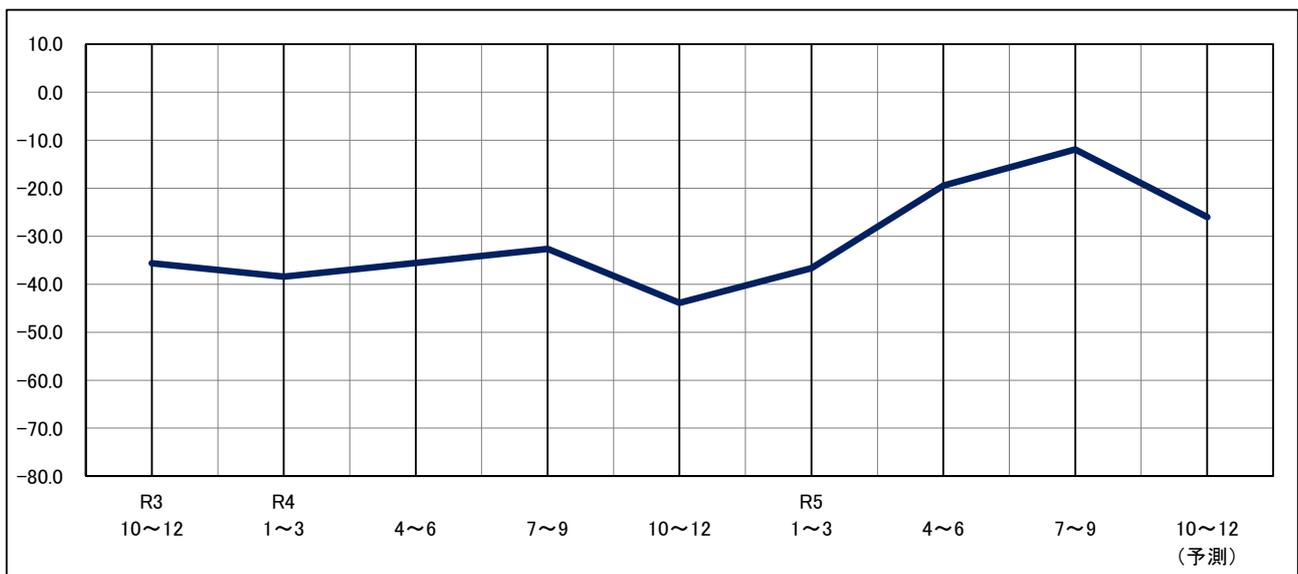
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が63%、2位は「売上の停滞・減少」「材料価格の上昇」がともに42%、3位は「利幅の縮小」が29%となった。今期1位の「人手不足」は令和3年10～12月期以降で最も高い割合となっている。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が54%、2位は「技術力を高める」が35%、3位は「販路を広げる」が32%となった。前期4位の「技術力を高める」が今期は2位と順位を上げた。

## 来期の見通し

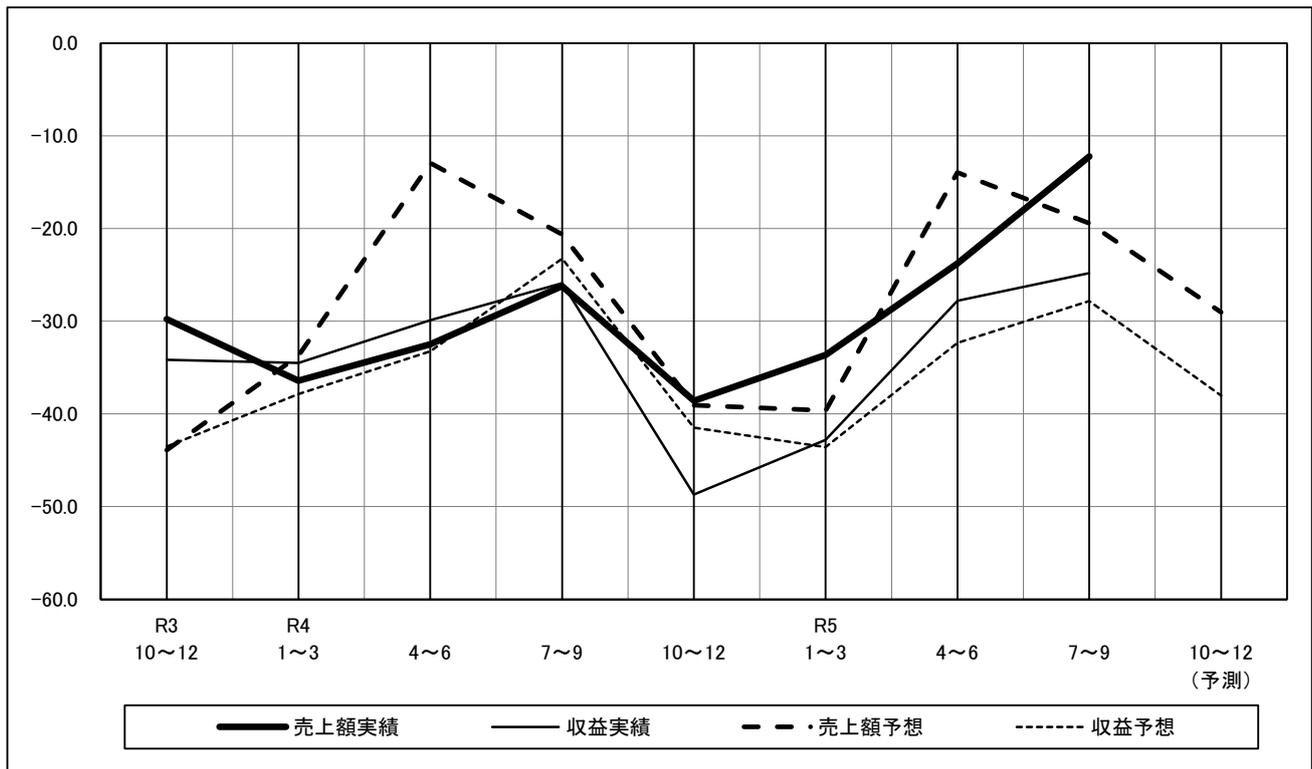
業況 ( $\Delta 12 \rightarrow \Delta 26$ ) は低調感がかなり強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大すると予想されている。

## 〈建設業〉 品川区の業況の動き（実績）と来期の予測

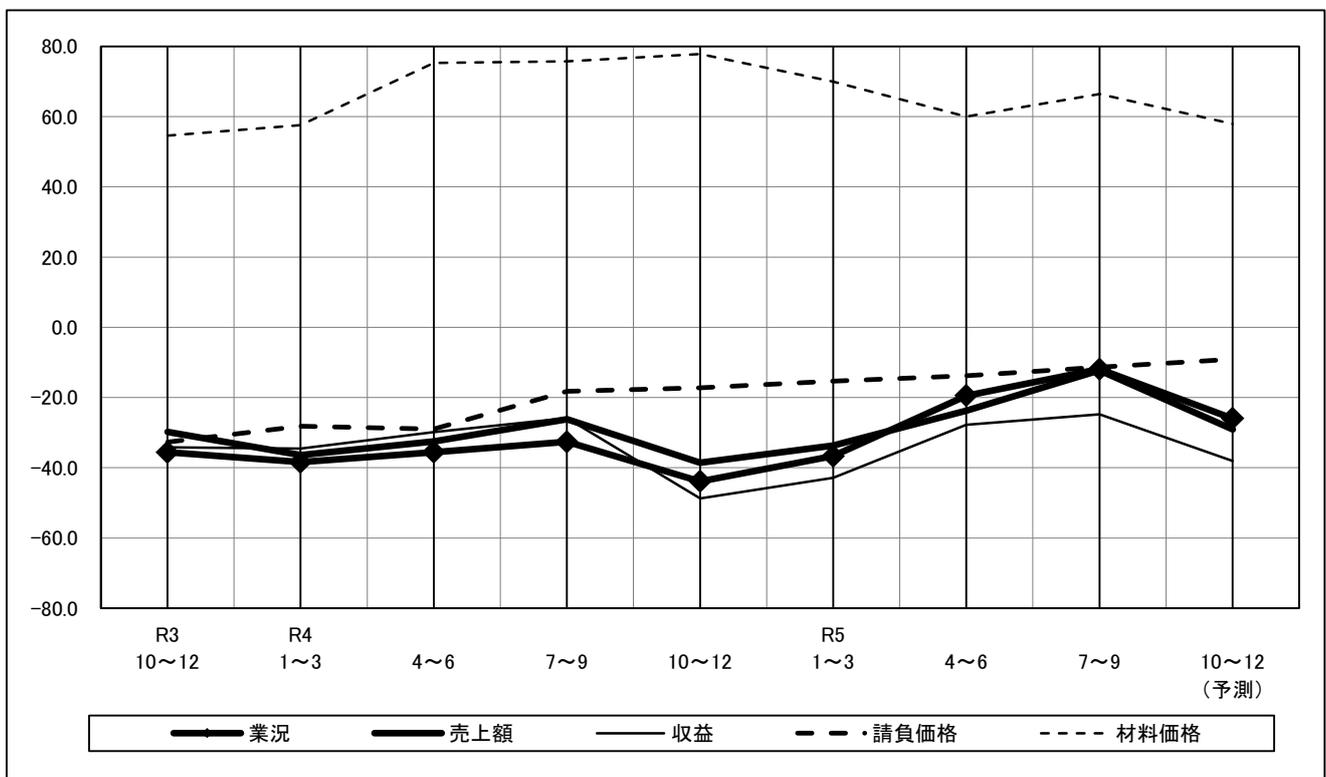


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

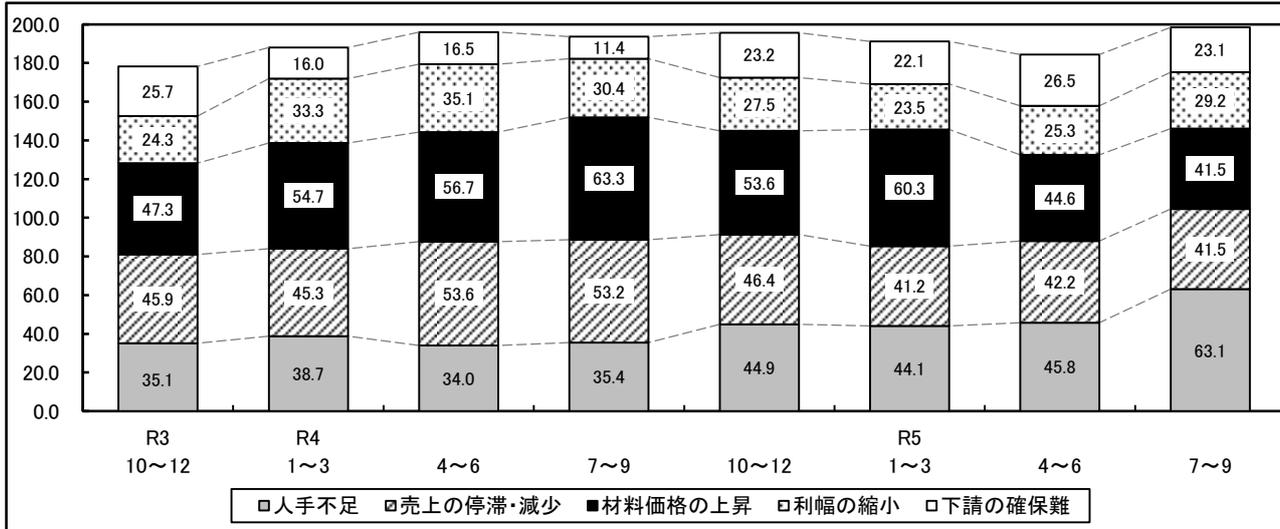
## 〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



## 〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

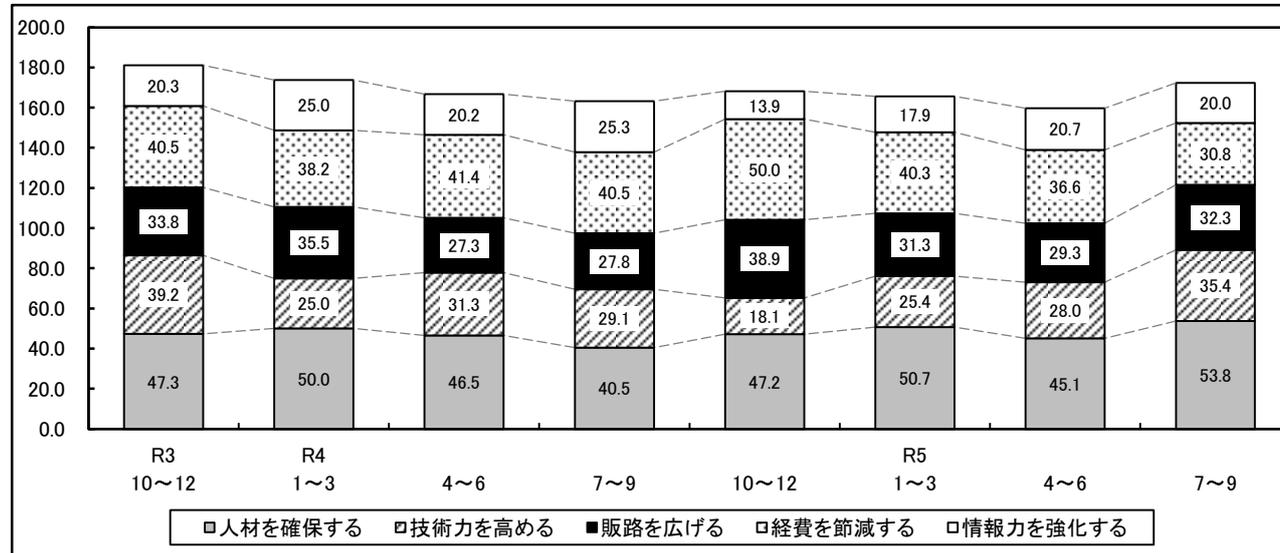


## 〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	材料価格の上昇	53.6 %	材料価格の上昇	60.3 %	人手不足	45.8 %	人手不足	63.1 %
第2位	売上の停滞・減少	46.4 %	人手不足	44.1 %	材料価格の上昇	44.6 %	売上の停滞・減少	41.5 %
							材料価格の上昇	41.5 %
第3位	人手不足	44.9 %	売上の停滞・減少	41.2 %	売上の停滞・減少	42.2 %	利幅の縮小	29.2 %
第4位	利幅の縮小	27.5 %	利幅の縮小	23.5 %	下請の確保難	26.5 %	下請の確保難	23.1 %
第5位	下請の確保難	23.2 %	下請の確保難	22.1 %	利幅の縮小	25.3 %	人件費の増加	16.9 %

## 〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	経費を節減する	50.0 %	人材を確保する	50.7 %	人材を確保する	45.1 %	人材を確保する	53.8 %
第2位	人材を確保する	47.2 %	経費を節減する	40.3 %	経費を節減する	36.6 %	技術力を高める	35.4 %
第3位	販路を広げる	38.9 %	販路を広げる	31.3 %	販路を広げる	29.3 %	販路を広げる	32.3 %
第4位	技術力を高める	18.1 %	技術力を高める	25.4 %	技術力を高める	28.0 %	経費を節減する	30.8 %
第5位	情報力を強化する	13.9 %	情報力を強化する	17.9 %	情報力を強化する	20.7 %	情報力を強化する	20.0 %
	教育訓練を強化する	13.9 %			労働条件を改善する	20.7 %	労働条件を改善する	20.0 %

## 建設業 業種別コメント

1. 受注価格の大幅上昇が見込めない中、下請人件費他、資材含め高騰しており、過当な競争が減らない限りは、大手等と相見積りの際、苦しい状況が続く。
2. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている。
3. 工事依頼は増えているが人手不足により断らざるを得ない状況になっている。
4. 相変わらず、特に技術系人材が圧倒的に不足している。加えて残業時間短縮、資材高騰に対して工事価格および工期日数は相変わらず改善は少ない。
5. 人手不足及び材料価格の上昇により、利益率がひっ迫している。
6. 仕事がない。あっても決まらない。
7. 今年になって受注が減った。大きい仕事があったが人材不足で断った。
8. 受注増の中採用できずに人材不足になっている。
9. 売上が減少傾向である。
10. 受注増のためには人手を確保していないと難しいが、人手を抱えていたら人数に見合う仕事がなければすぐにつぶれてしまう可能性がある。資金に余裕がないので、間をぬって徐々に回復するしかない。新しい分野・技術も今は役に立っていない。
11. 従業員の高齢化。受注減が続いている。
12. 単価上昇（材料費上昇による）の交渉中で、同業者間の競争があり、受注が減少している。
13. 人手不足に悩んでいる。技術力のUP。
14. 昨年提出した見積書の材料単価が2割くらい上昇しているが、転嫁できない。インボイスも始まるので先行き不透明な面があります。
15. 大企業の進出により売上は減少している。
16. 建設業全体の労働者不足、技術力の低下が目立ちます。無理な受注を控え安定した仕事量を確実に対応する方針です。4月より労働法改正に向けてどの様な動きとなるか不明確です。
17. 時期的（一時）なことだと思うが、人手不足な状況。
18. 仕事の減少および高齢化に向かっている。後継ぎもいないので現状でいい。
19. 年齢とともに営業活動が鈍り、売上減少がある。
20. 受注は増えるが人材の確保が問題。
21. 受注増の中、応募者がなく人手不足が続いている。
22. 売上の停滞、減少。
23. 働き方改革によって建設業現場に週休2日や作業時間に制限が付き、細かく作業を区切って施工のため倍以上の時間がかかり人件費もかかり利益がまったく出ない。
24. 親会社の方針変更により、受注できる仕事内容が減少しており、売上等が落ちています。対策が必要です。
25. 採用について新卒、中途ともうまくいかない。
26. 売上は減少傾向にある。材料価格の上昇。
27. 需要が増え、増収・増益が見込める。
28. 需要減少傾向にある。取引先での受注減が影響している。
29. 現場の始まりがなかなか予定通りにいかず、大変な時がある。
30. 仕事はあるが、長期出張NGが多く受注できない。
31. 材料価格の上昇。
32. 資材の高騰のため再見積りをせざるを得ない。
33. 大手ハウスメーカーからの受注が多く、見積りを断ることがある。一方おつきあいの長い小さな工務店は仕事が無いようだ。万が一、大手メーカーに嫌われた時に、一気に仕事がなくなるのではと不安。
34. とにかく人材確保に苦労しています。
35. 売上高がかなり減少している。人手不足のため販路拡大も難しいかもしれない。
36. 人手不足により仕事があっても断っている。
37. 受注量は増加傾向も受注額は据え置き状態（アップなし）である。コスト上昇で収益は厳しい。先行の景況の見直しは判断不能。
38. 下請の確保、材料価格上昇への対策を講じる。

# 情報通信業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 (0→△10) は低調感がかなり強まった。売上額 (△8→0) は減少幅がかなり縮小し、収益 (△20→0) は減少幅が極端に縮小した。

## 価格動向

システム提供価格 (10→7)、人件費 (36→33) はともに上昇傾向がやや弱まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り (△6→△14) は厳しさがかなり増し、借入難易度 (3→△5) は厳しい状況に転じた。今期借入れをした企業は28%で前期の33%から5ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

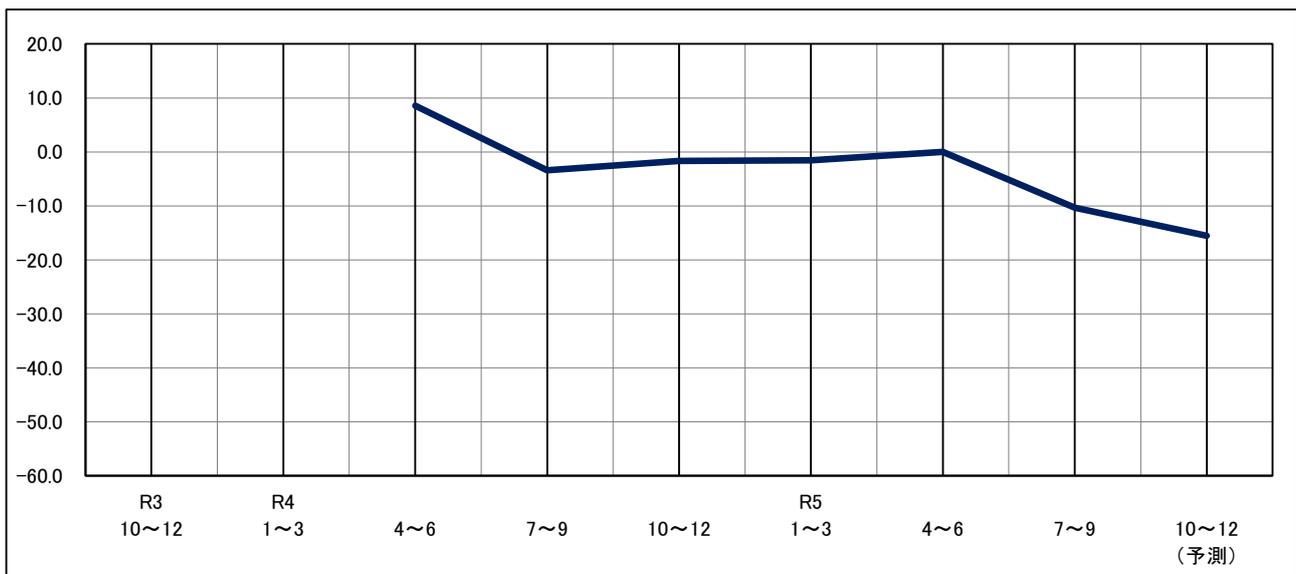
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が57%、2位は「売上の停滞・減少」が43%、3位は「人件費の増加」が29%となった。前期から上位項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が56%、2位は「技術力を強化する」が46%、3位は「販路を広げる」が42%となった。前期圏外の「経費を節減する」が今期は5位となった。

## 来期の見通し

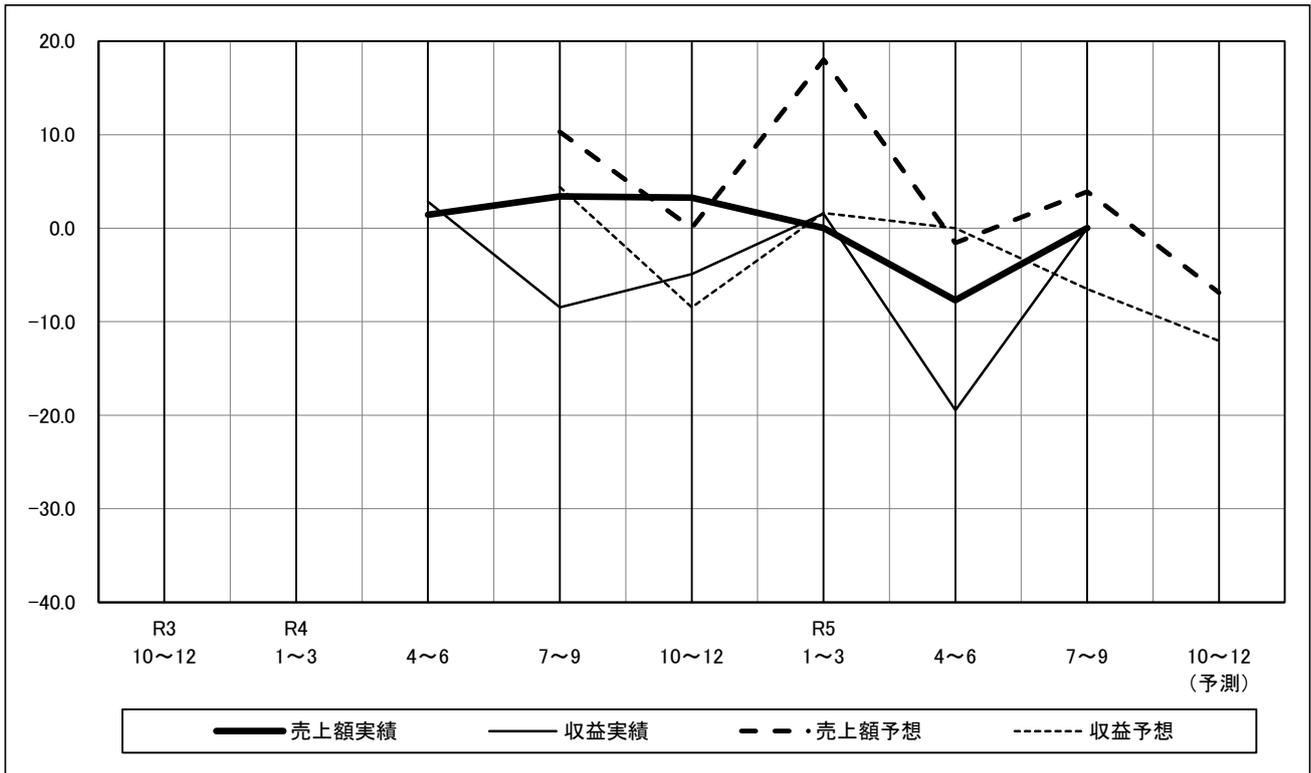
業況 (△10→△16) は低調感がかなり強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大すると予想されている。

## <情報通信業> 品川区の業況の動き (実績) と来期の予測

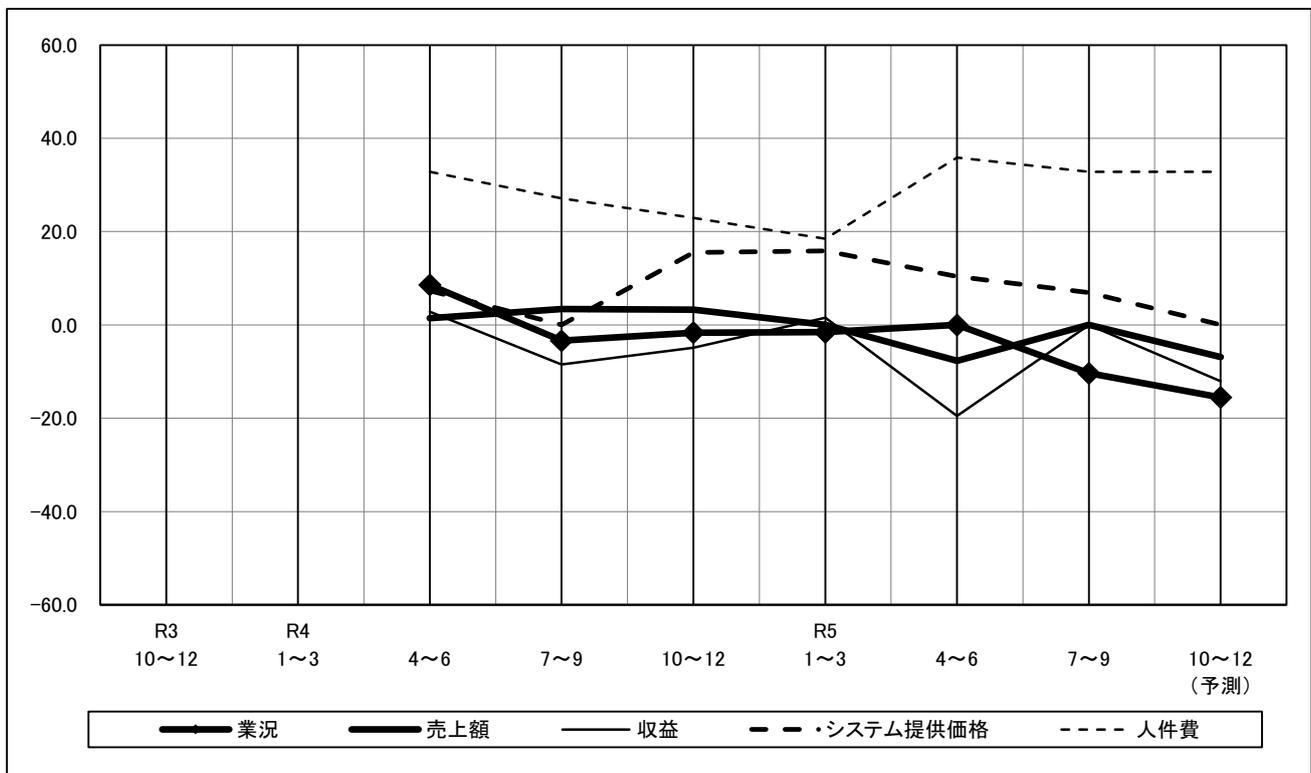


※ 東京都の景況調査では情報通信業の調査は実施されていないため、全都の情報通信業の業況は表示していない。

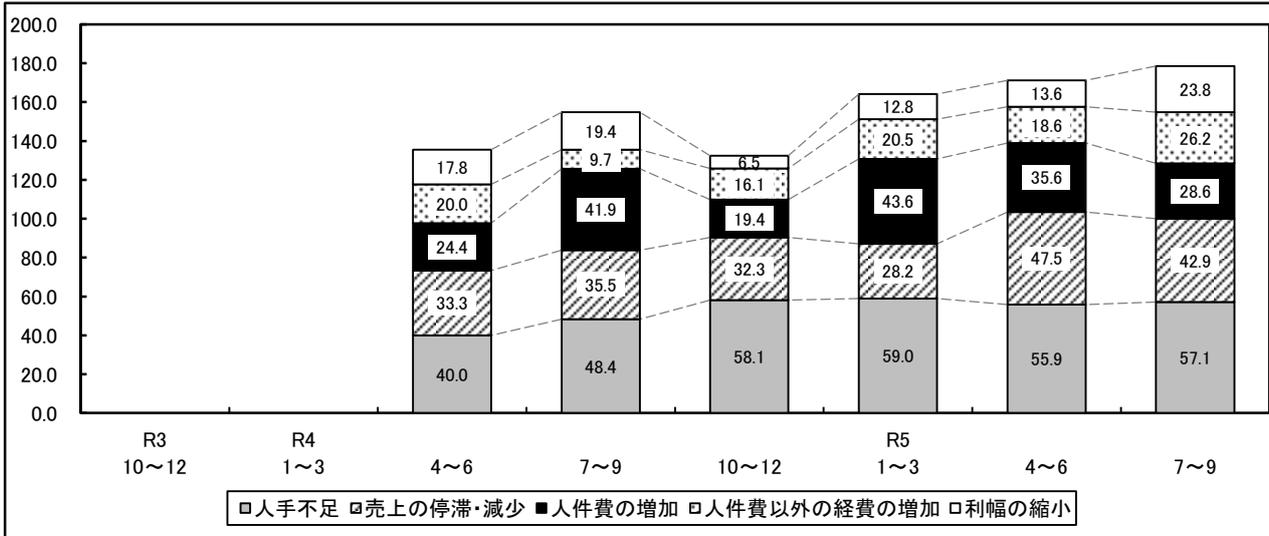
## 〈情報通信業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



## 〈情報通信業〉 業況と売上額、収益、システム提供価格、人件費の動き（実績）と来期の予測

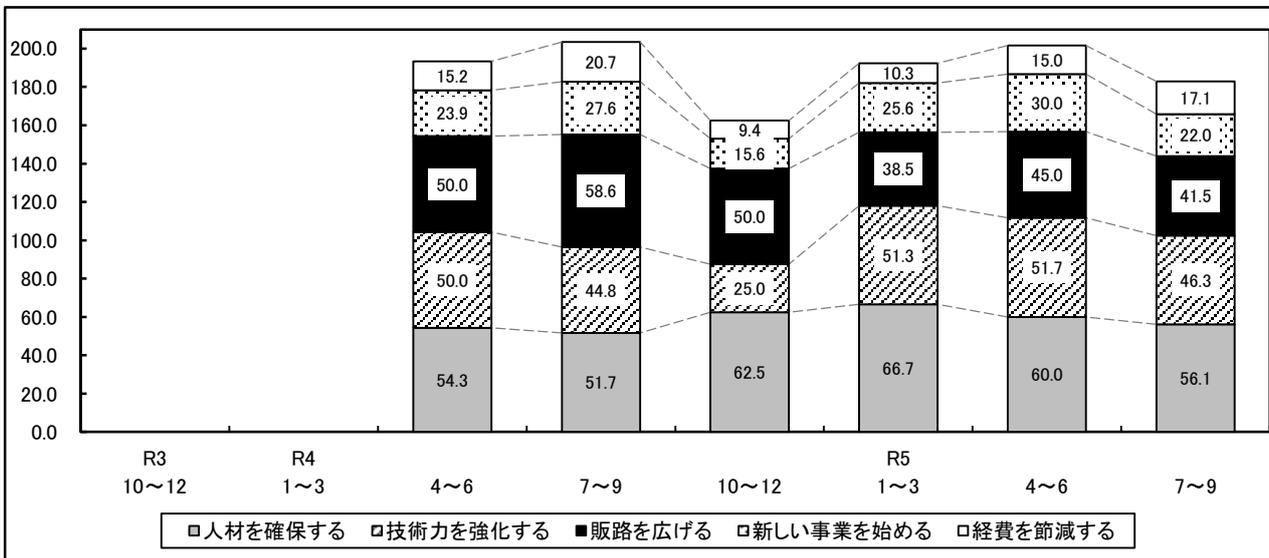


## 〈情報通信業〉 経営上の問題点 (%)



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	人手不足	58.1 %	人手不足	59.0 %	人手不足	55.9 %	人手不足	57.1 %
第2位	売上の停滞・減少	32.3 %	人件費の増加	43.6 %	売上の停滞・減少	47.5 %	売上の停滞・減少	42.9 %
第3位	人件費の増加	19.4 %	売上の停滞・減少	28.2 %	人件費の増加	35.6 %	人件費の増加	28.6 %
第4位	同業者間の競争の激化 人件費以外の経費の増加	16.1 % 16.1 %	人件費以外の経費の増加	20.5 %	人件費以外の経費の増加	18.6 %	人件費以外の経費の増加	26.2 %
第5位	技術力の不足	12.9 %	技術力の不足	15.4 %	利幅の縮小 技術力の不足	13.6 % 13.6 %	利幅の縮小	23.8 %

## 〈情報通信業〉 重点経営施策 (%)



	R4.10~12月期		R5.1~3月期		R5.4~6月期		R5.7~9月期	
第1位	人材を確保する	62.5 %	人材を確保する	66.7 %	人材を確保する	60.0 %	人材を確保する	56.1 %
第2位	販路を広げる	50.0 %	技術力を強化する	51.3 %	技術力を強化する	51.7 %	技術力を強化する	46.3 %
第3位	教育訓練を強化する	28.1 %	販路を広げる	38.5 %	販路を広げる	45.0 %	販路を広げる	41.5 %
第4位	技術力を強化する	25.0 %	新しい事業を始める	25.6 %	新しい事業を始める	30.0 %	新しい事業を始める	22.0 %
第5位	新しい事業を始める	15.6 %	提携先を見つける	17.9 %	教育訓練を強化する	20.0 %	経費を節減する	17.1 %

## 情報通信業 業種別コメント

1. 人手不足になっている。新しい事業への取組が明確化されていない。
2. 技術力が不足し現状維持の経営が続いている。
3. コストが増加（人件費、通信費等）。価格に転嫁できず。
4. 資金繰りで限界が来ている。
5. 事業継承未策定。
6. 協力会社からの要員アサインを含めて、人手不足に至っている。
7. 営業職人材の採用がうまく進まず、増収への道筋が描きづらい状況となっている。
8. 100年に1度の変化に備え会社及び個人価値を高める。強き企業・日本は勤勉と勤労であることを忘れずに取り組む。
9. スポンサー企業担当者の高齢化。
10. 需要が増えているが、慢性的な人手不足になっている。
11. 増収ではあるが、やや減益になっている。人手不足は続いている。
12. まず増益より増収が大事。日米中関係によりビジネスの拡大が困難。円の大幅安で増益が困難。
13. 人手不足に対応するため、自社ソリューションの計画をしているが、社内で開発が出来ず外注する必要があり、リスクとなっており投資の判断が難しい。
14. IT技術者人材不足のため、要員確保が難しい。
15. 売上はほぼ横ばいだが、人件費、経費の高騰により収益が圧迫されている。世の中が賃上げ傾向であるが、中小企業ではすぐに賃上げが難しい（一人当たりの単金が上がらない）。
16. 政府からの給与UPの要請で大企業はUPしているが、そのため下請の単金はそのままになっている。ですが、我々も給与を上げないと社員が辞めてしまうので、仕方なく給与を上げて苦しい。また健康保険料がどんどん上げられていて会社負担金が首をしめている。
17. 採用ができず人手不足になっている。
18. テレワークの浸透により若手（特に新人）の技術者の仕事の確保が困難になってきている。
19. 需要はやや増加しているが、人手不足のため成長は鈍化している。
20. 需要・売上・収益、すべてやや減少。これといった理由は見つからない。

# 日 金 矢 豆 雀 見

[調査対象企業数]

(2023年9月調査)

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,755社	5,356社	9,111社	99.4%
うち大企業	958社	852社	1,810社	99.2%
中堅企業	999社	1,542社	2,541社	99.4%
中小企業	1,798社	2,962社	4,760社	99.4%

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

円/ドル	2023年6月調査	2022年度		2023年度			
		上期	下期	上期	下期		
円/ドル	2023年6月調査	131.19	129.60	132.79	132.43	132.60	132.27
円/ドル	2023年9月調査	—	—	—	135.75	135.62	135.88
円/ユーロ	2023年6月調査	138.21	136.53	139.89	140.11	140.28	139.95
円/ユーロ	2023年9月調査	—	—	—	144.62	144.58	144.66

[業況判断]

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	2023年6月調査		2023年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>大企業</b>						
製造業	5	9	9	4	10	1
非製造業	23	20	27	4	21	-6
全産業	13	14	17	4	16	-1
<b>中堅企業</b>						
製造業	0	2	0	0	2	2
非製造業	17	12	19	2	14	-5
全産業	11	8	12	1	9	-3
<b>中小企業</b>						
製造業	-5	-1	-5	0	-2	3
非製造業	11	7	12	1	8	-4
全産業	5	4	5	0	4	-1
<b>全規模合計</b>						
製造業	-1	2	0	1	2	2
非製造業	14	10	16	2	11	-5
全産業	8	7	10	2	8	-2

		2022年度		2023年度	
		修正率	(計画)	修正率	
大企業	製造業	11.3	—	2.1	0.1
	国内	9.0	—	2.4	-0.5
	輸出	16.1	—	1.6	1.2
	非製造業	10.1	—	1.6	-0.5
	全産業	10.6	—	1.8	-0.2
中堅企業	製造業	8.0	—	2.2	-1.0
	非製造業	7.2	—	3.3	0.8
	全産業	7.4	—	3.0	0.3
中小企業	製造業	6.1	—	2.1	0.1
	非製造業	6.0	—	1.0	0.7
	全産業	6.0	—	1.3	0.5
全規模合計	製造業	9.8	—	2.1	-0.1
	非製造業	8.1	—	1.8	0.2
				1.9	0.1

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2023年6月調査		2023年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
中小企業	国内での製商品・サービス需給判断						
	「需要超過」-「供給超過」						
	うち素材業種	-18	-16	-21	-3	-20	1
	加工業種	-22	-22	-24	-2	-24	0
	非製造業	-14	-13	-18	-4	-17	1
海外での製商品需給判断	「需要超過」-「供給超過」						
	うち素材業種	-9	-10	-10	-1	-11	-1
	加工業種	-13	-11	-15	-2	-15	0
	うち素材業種	-23	-20	-23	0	-22	1
	加工業種	-6	-5	-11	-5	-10	1
製商品在庫水準判断	「過大」-「不足」						
	うち素材業種	18	19	19	1	19	0
	加工業種	20	20	20	0	20	0
製商品流通在庫水準判断	「過大」-「不足」						
	うち素材業種	17	19	17	2	17	3
	加工業種	14	17	14	3	14	5
販売価格判断	「上昇」-「下落」						
	うち素材業種	36	32	30	-6	30	0
	加工業種	36	29	28	-8	29	1
	非製造業	37	34	31	-6	30	-1
	製造業	27	30	27	0	29	2
仕入価格判断	「上昇」-「下落」						
	うち素材業種	66	58	61	-5	57	-4
	加工業種	57	49	54	-3	51	-3
非製造業	72	65	66	-6	61	-5	
製造業	57	57	58	1	56	-2	

## 東京都と品川区の企業倒産動向 (令和5年9月)

### 1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	令和4年9月	令和5年8月	令和5年9月	前月比	前年同月比
件数	118	154	122	▲32	4
金額	783	248	288	40	▲495

### 2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

	放漫経営	過小資本	他社倒産の余波	既往のしわ寄せ	販売不振				
12	37.6	1	1.0	3	1.3	15	112.9	85	67.0
1	8.9	1	20.0	0	0.0	1	37.3	3	2.5

### 3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	9	12	7	18	14	19
卸売業	22	18	15	280	58	25
小売業	13	11	14	26	13	9
サービス業	26	31	36	41	14	153
建設業	15	18	13	13	32	9
不動産業	5	11	5	12	57	2
情報通信業・運輸業	12	24	17	18	30	19
宿泊業・飲食サービス業	7	18	11	2	13	7
その他	9	11	4	373	17	45
合計	118	154	122	783	248	288

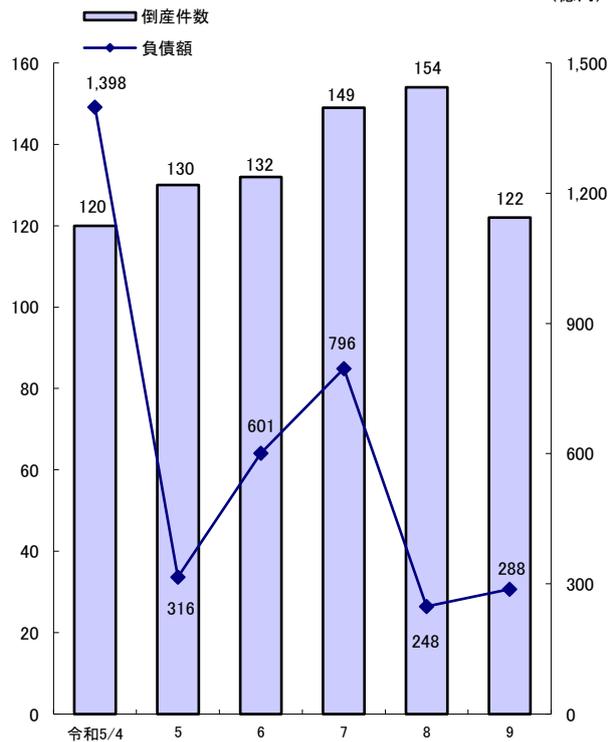
### 4. 品川区内の令和5年9月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	2件	71百万円
小売業	1件	662百万円
サービス業	0件	0百万円
建設業	1件	45百万円
不動産業	1件	80百万円
情報通信業・運輸業	1件	30百万円
宿泊業・飲食サービス業	1件	20百万円
その他	0件	0百万円
合計	7件	908百万円

(件数)

東京都の倒産概況

(億円)



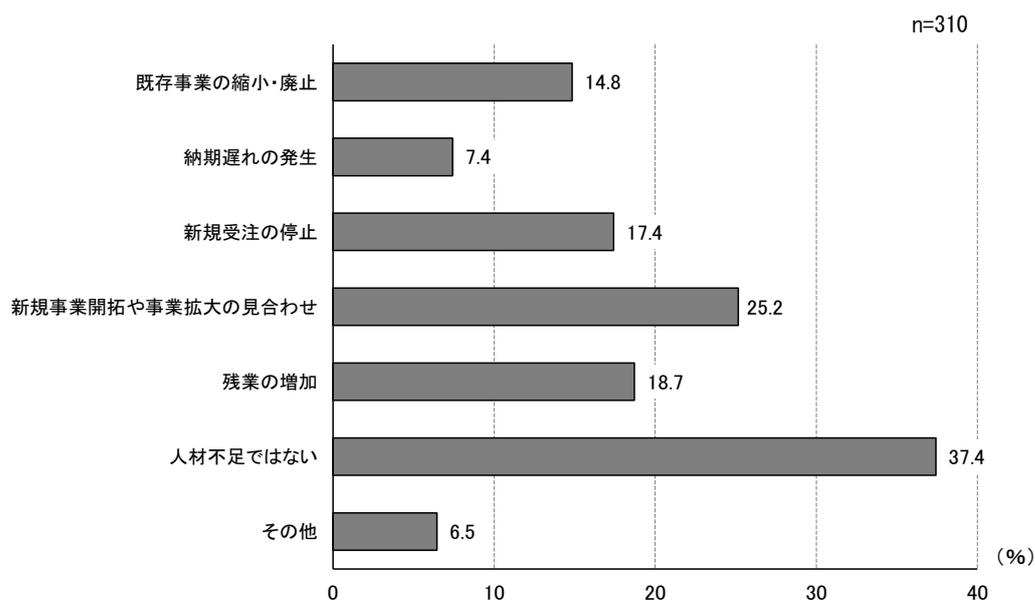
## 特別調査「雇用確保・人材不足・定着に伴う現況調査について」

- ① 人材不足の影響については、「人材不足ではない」が37.4%で最多
- ② 人材不足への対策については、「特に対策を行っていない」が33.4%で最多
- ③ 募集・採用手段については、「募集・採用はしていない」が38.8%で最多
- ④ 人材定着に向けた取り組み内容については、「特に取り組みを行っていない」は31.0%で最多
- ⑤ 行政に求める支援策については、「雇用確保・人材不足に関する助成金等の支援制度」「特になし」が45.1%と同率で最多

### 問1. 人材不足の影響

人材不足の影響については、「新規事業開拓や事業拡大の見合わせ」が25.2%、「残業の増加」が18.7%、「新規受注の停止」が17.4%となっている。一方で「人材不足ではない」が37.4%と最も高くなっている。

業種別にみると、建設業では「新規受注の停止」が、情報通信業では「新規事業開拓や事業拡大の見合わせ」が、製造業、卸売業、小売業、サービス業では「人材不足ではない」が最も高く、製造業では6割を超えている。



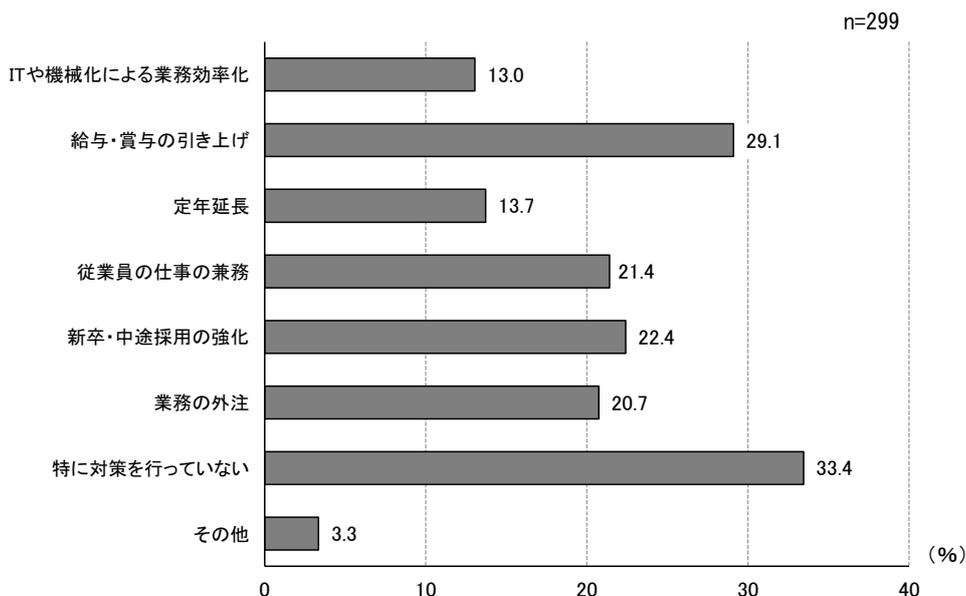
(単位：%)

	既存事業の縮小・廃止	納期遅れの発生	新規受注の停止	新規事業開拓や事業拡大の見合わせ	残業の増加	人材不足ではない	その他
全 体 (310) 件	14.8	7.4	17.4	25.2	18.7	<b>37.4</b>	6.5
製 造 業 (47) 件	6.4	17.0	14.9	6.4	12.8	<b>66.0</b>	6.4
卸 売 業 (68) 件	10.3	4.4	2.9	27.9	10.3	<b>48.5</b>	11.8
小 売 業 (37) 件	21.6	5.4	5.4	24.3	21.6	<b>40.5</b>	8.1
サービス業 (56) 件	12.5	1.8	21.4	17.9	28.6	<b>32.1</b>	7.1
建 設 業 (62) 件	19.4	11.3	<b>37.1</b>	29.0	27.4	17.7	1.6
情報通信業 (40) 件	22.5	5.0	20.0	<b>47.5</b>	10.0	20.0	2.5

## 問2. 人材不足への対策

人材不足への対策については、「給与・賞与の引き上げ」が29.1%、「新卒・中途採用の強化」が22.4%、「従業員の仕事の兼務」が21.4%となっている。また「特に対策を行っていない」は33.4%と最も高くなっている。

業種別にみると、小売業、サービス業、建設業、情報通信業では「給与・賞与の引き上げ」が、製造業、卸売業では「特に対策を行っていない」が最も高くなっている。



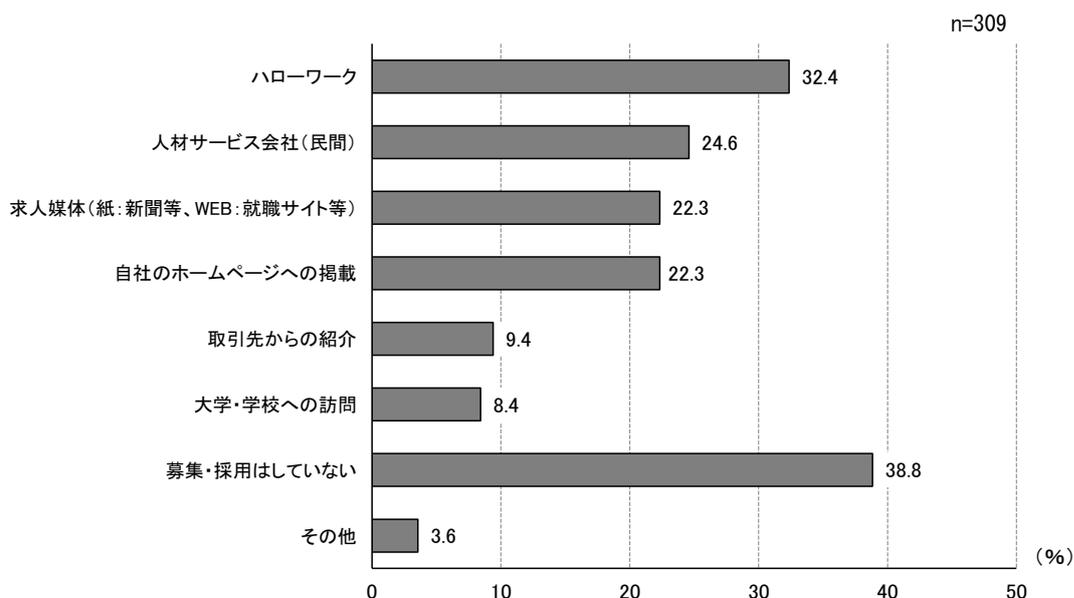
(単位: %)

	ITや機械化による業務効率化	給与・賞与の引き上げ	定年延長	従業員の仕事の兼務	新卒・中途採用の強化	業務の外注	特に対策を行っていない	その他
全体 (299 件)	13.0	29.1	13.7	21.4	22.4	20.7	<b>33.4</b>	3.3
製造業 (45 件)	11.1	11.1	17.8	28.9	15.6	22.2	<b>35.6</b>	4.4
卸売業 (64 件)	12.5	20.3	14.1	23.4	15.6	18.8	<b>42.2</b>	6.3
小売業 (34 件)	17.6	<b>38.2</b>	2.9	17.6	23.5	5.9	35.3	2.9
サービス業 (55 件)	12.7	<b>36.4</b>	9.1	18.2	30.9	25.5	30.9	1.8
建設業 (62 件)	12.9	<b>38.7</b>	21.0	17.7	24.2	25.8	27.4	3.2
情報通信業 (39 件)	12.8	<b>30.8</b>	12.8	23.1	25.6	20.5	28.2	0.0

### 問3. 募集・採用手段

募集・採用手段については、「ハローワーク」が32.4%、「人材サービス会社（民間）」が24.6%、「求人媒体（紙：新聞等、WEB：就職サイト等）」「自社のホームページへの掲載」がともに22.3%となった。一方で「募集・採用はしていない」が38.8%と最も高くなった。

業種別では、製造業、建設業では「ハローワーク」が、小売業では「求人媒体（紙：新聞等、WEB：就職サイト等）」が、情報通信業では「自社のホームページへの掲載」が、サービス業では「ハローワーク」「求人媒体（紙：新聞等、WEB：就職サイト等）」が同率で最も高くなっている。卸売業では「募集・採用はしていない」が5割を超えて最も高くなっている。



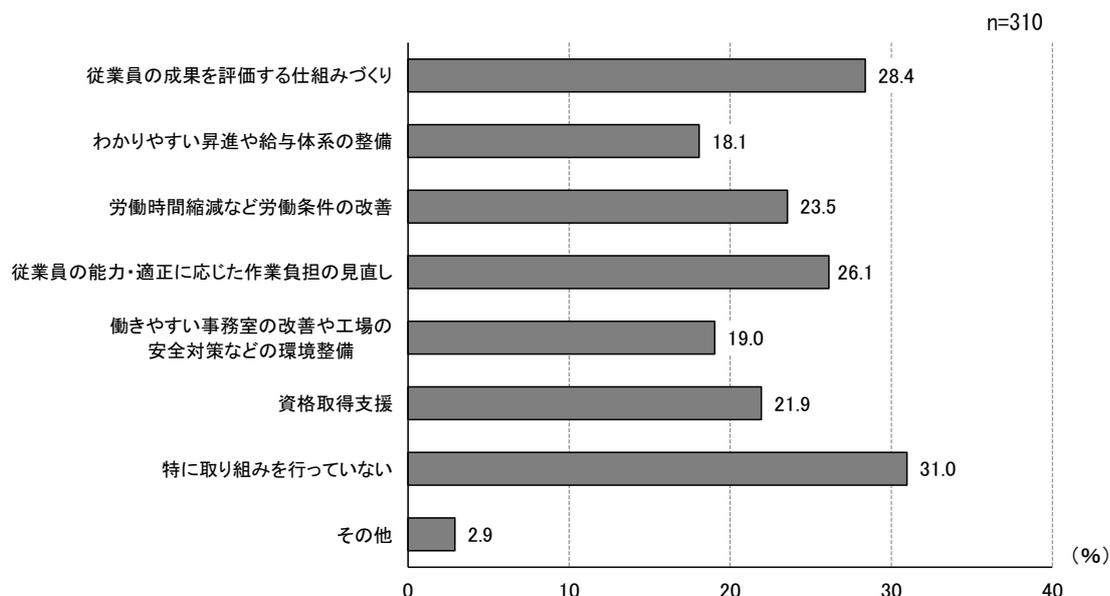
(単位：%)

	ハローワーク	人材サービス会社（民間）	求人媒体（紙：新聞等、WEB：就職サイト等）	自社のホームページへの掲載	取引先からの紹介	大学・学校への訪問	募集・採用はしていない	その他
全体 (309) 件	32.4	24.6	22.3	22.3	9.4	8.4	<b>38.8</b>	3.6
製造業 (47) 件	<b>44.7</b>	19.1	10.6	23.4	0.0	12.8	42.6	2.1
卸売業 (69) 件	27.5	23.2	10.1	5.8	13.0	1.4	<b>55.1</b>	1.4
小売業 (35) 件	28.6	28.6	<b>48.6</b>	28.6	8.6	2.9	25.7	2.9
サービス業 (56) 件	<b>37.5</b>	25.0	<b>37.5</b>	23.2	0.0	8.9	32.1	1.8
建設業 (61) 件	<b>37.7</b>	23.0	14.8	26.2	24.6	9.8	36.1	8.2
情報通信業 (41) 件	14.6	31.7	24.4	<b>36.6</b>	4.9	17.1	31.7	4.9

#### 問4. 人材定着に向けた取り組み内容

人材定着に向けた取り組み内容については、「従業員の成果を評価する仕組みづくり」が 28.4%、「従業員の能力・適正に応じた作業負担の見直し」が 26.1%、「労働時間縮減など労働条件の改善」が 23.5%となっている。一方で「特に取り組みを行っていない」は 31.0%と最も高くなっている。

業種別にみると、小売業では「従業員の能力・適正に応じた作業負担の見直し」が最も高くなっている。情報通信業では「従業員の成果を評価する仕組みづくり」が、建設業では「資格取得支援」がそれぞれ4割を超えて他の業種よりも高くなっている。製造業、卸売業、サービス業では「特に取り組みを行っていない」がそれぞれ最も高くなっている。



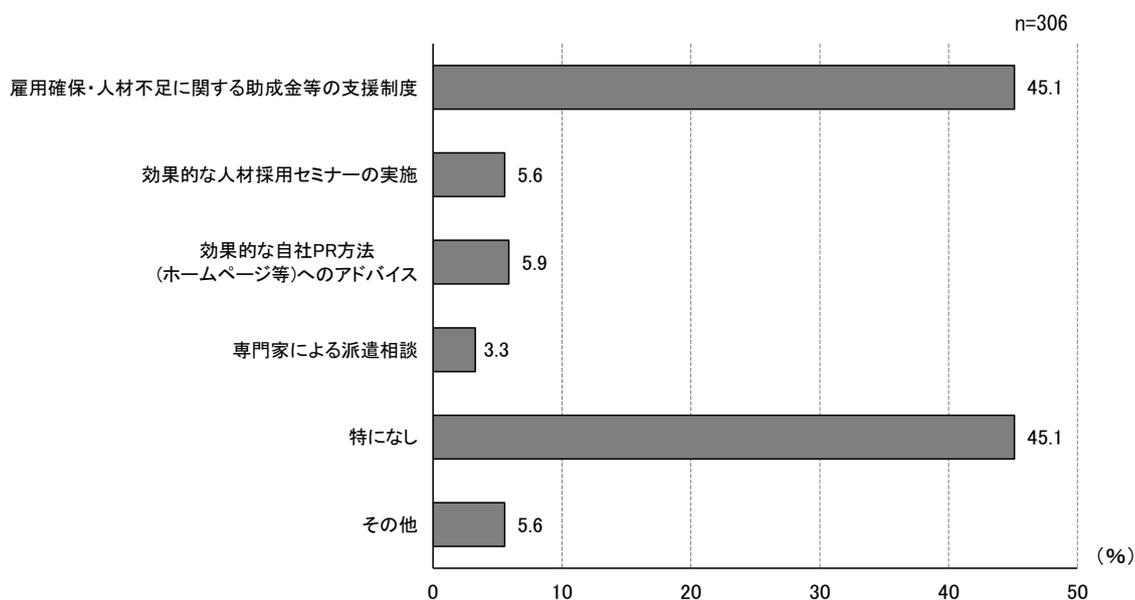
(単位：%)

	従業員の成果を評価する仕組みづくり	わかりやすい昇進や給与体系の整備	労働時間縮減など労働条件の改善	従業員の能力・適正に応じた作業負担の見直し	働きやすい事務室の改善や工場の安全対策などの環境整備	資格取得支援	特に取り組みを行っていない	その他
全体 (310) 件	28.4	18.1	23.5	26.1	19.0	21.9	31.0	2.9
製造業 (48) 件	18.8	14.6	27.1	27.1	16.7	8.3	35.4	4.2
卸売業 (69) 件	33.3	11.6	17.4	21.7	18.8	5.8	39.1	5.8
小売業 (34) 件	26.5	23.5	23.5	29.4	11.8	8.8	26.5	2.9
サービス業 (56) 件	28.6	21.4	23.2	28.6	26.8	26.8	32.1	0.0
建設業 (62) 件	21.0	19.4	32.3	29.0	21.0	43.5	25.8	3.2
情報通信業 (41) 件	43.9	22.0	17.1	22.0	14.6	36.6	22.0	0.0

## 問5. 行政に求める支援策

行政に求める支援策については、「雇用確保・人材不足に関する助成金等の支援制度」が45.1%と最も高くなったが、「特になし」も同率となっている。

業種別にみると、小売業、サービス業、建設業、情報通信業では「雇用確保・人材不足に関する助成金等の支援制度」が最も高く、小売業では6割を超えている。製造業、卸売業では「特になし」が最も高く、5割を超えている。



(単位：%)

	雇用確保・人材不足に関する助成金等の支援制度	効果的な人材採用セミナーの実施	効果的な自社PR方法(ホームページ等)へのアドバイス	専門家による派遣相談	特になし	その他
全 体 (306) 件	45.1	5.6	5.9	3.3	45.1	5.6
製 造 業 (48) 件	20.8	10.4	8.3	6.3	62.5	4.2
卸 売 業 (70) 件	37.1	2.9	8.6	4.3	52.9	4.3
小 売 業 (36) 件	63.9	8.3	5.6	0.0	27.8	11.1
サービ業 (56) 件	57.1	8.9	3.6	3.6	33.9	1.8
建 設 業 (58) 件	50.0	1.7	5.2	3.4	43.1	5.2
情報通信業 (38) 件	47.4	2.6	2.6	0.0	44.7	10.5

# 中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和5年7月～9月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-38	-48	-20	-13	-74	-38
売上額		-26	-28	-8	-20	-62	-23
受注残		-22	-35	-23	-12	-20	-18
収益		-35	-7	-50	-28	-53	-31
販売価格		6	33	-22	9	22	0
原材料価格		59	39	64	56	79	60
原材料在庫		11	30	23	5	1	0
資金繰り		-29	-23	-11	-40	-58	-17
雇用	残業時間	-18	-18	-7	-57	-11	-10
	人手	-10	9	-47	14	0	0
同期比	売上額	-36	0	-40	-29	-38	-60
	収益	-39	0	-53	-29	-44	-60
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	62	45	46	86	78	70
	②原材料高	44	45	38	57	56	30
	③仕入先からの値上げ要請	20	9	23	14	22	30
	④人件費の増加	18	45	8	0	0	30
	⑤人手不足	16	27	31	0	11	0
重点経営施策	①販路を広げる	48	46	36	67	33	70
	②経費を節減する	38	27	21	50	56	50
	③人材を確保する	24	27	43	0	22	10
	④情報力を強化する	20	9	29	50	11	10
	⑤新製品・技術を開発する	16	18	29	17	0	10
借入の難易度		-2	9	14	0	-44	0

[来期の景況見通し]

業況		-38	-41	-22	-10	-60	-46
売上額		-24	-16	-3	-22	-47	-33
受注残		-30	-9	-55	-16	-39	-33
収益		-33	-9	-27	-20	-60	-48
販売価格		4	25	-16	12	5	-3
原材料価格		49	33	54	30	56	67
原材料在庫		12	35	23	-1	0	4
資金繰り		-27	-21	-10	-16	-59	-24
雇用	残業時間	-2	18	0	-29	-22	10
	人手	-21	-18	-53	0	-11	0

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## [今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		7	-28	47	-32
売上額		6	-39	29	-6
収益		-16	-51	8	-45
販売価格		43	39	56	0
仕入価格		82	84	93	45
在庫		11	6	7	26
資金繰り		-18	-19	-18	-27
雇用	残業時間	-2	-40	22	-18
	人手	-55	-50	-74	-18
同期比	売上額	36	10	61	9
	収益	2	-30	26	-18
	販売価格	61	30	83	46
経営上の問題点	①人手不足	47	50	64	9
	②人件費の増加	47	20	73	18
	③売上の停滞・減少	37	30	27	64
	④仕入先からの値上げ要請	37	40	45	18
	⑤天候の不順	28	0	27	55
重点経営施策	①経費を節減する	59	60	61	55
	②人材を確保する	50	50	65	18
	③宣伝・広報を強化する	20	20	22	18
	④品揃えを改善する	18	20	4	45
	⑤店舗・設備を改装する	16	0	30	0
借入の難易度		-18	0	-24	-22

## [来期の景況見通し]

業況		9	-2	27	-10
売上額		12	-9	31	-9
収益		-1	-1	5	-23
販売価格		27	33	27	21
仕入価格		67	71	74	44
在庫		9	13	5	17
資金繰り		-15	-16	-11	-30
雇用	残業時間	2	-10	17	-18
	人手	-55	-60	-70	-18

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対前期比	R5	
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期			10～12月期
業況	良い	9.9	13.2	18.9	8.7	11.0	8.1	13.9	16.3	9.9	14.3	15.8	8.8	14.8	14.5	9.1	14.0		9.1
	普通	21.1	25.0	23.0	26.1	24.4	36.5	27.8	26.3	35.8	30.0	22.4	36.3	34.1	28.9	33.3	33.7		40.9
	悪い	69.0	61.8	58.1	65.2	64.6	55.4	58.3	57.5	54.3	55.7	61.8	55.0	51.1	56.6	57.6	52.3		50.0
	D・I	-59.2	-48.5	-39.2	-56.5	-53.7	-47.3	-44.4	-41.3	-44.4	-41.4	-46.1	-46.3	-36.4	-42.1	-48.5	-38.4		-40.9
	修正値	-61.4	-49.1	-46.5	-57.5	-48.2	-48.8	-31.0	-31.7	-44.6	-38.2	-52.3	-44.9	-30.8	-43.9	-37.6	-33.1	-7.0	-38.2
	傾向値	-55.0		-54.0		-52.4		-50.3		-47.3		-46.3		-45.0		-43.3			
売上額	増加	20.8	25.0	23.6	19.4	14.6	8.2	19.4	25.9	19.8	18.6	13.2	18.8	17.0	13.2	14.9	21.8		22.4
	変らず	18.1	26.5	22.2	22.2	28.0	39.7	31.9	34.6	33.3	30.0	28.9	32.5	31.8	42.1	34.3	34.5		37.3
	減少	61.1	48.5	54.2	58.3	57.3	52.1	48.6	39.5	46.9	51.4	57.9	48.8	51.1	44.7	50.7	43.7		40.3
	D・I	-40.3	-23.5	-30.6	-38.9	-42.7	-43.8	-29.2	-13.6	-27.2	-32.9	-44.7	-30.0	-34.1	-31.6	-35.8	-21.8		-17.9
	修正値	-50.4	-32.3	-34.6	-40.7	-29.6	-39.3	-17.3	-6.3	-37.3	-36.5	-46.7	-28.5	-22.0	-26.5	-26.1	-20.7	-4.0	-23.5
	傾向値	-39.8		-42.0		-40.7		-37.7		-34.0		-34.2		-34.9		-34.6			
受注残	増加	14.1	16.2	12.5	11.3	15.9	9.6	20.8	17.3	15.2	18.6	14.5	9.1	13.8	17.1	7.5	11.5		11.9
	変らず	39.4	36.8	38.9	43.7	36.6	43.8	38.9	38.3	46.8	35.7	40.8	42.9	39.1	42.1	56.7	42.5		49.3
	減少	46.5	47.1	48.6	45.1	47.6	46.6	40.3	44.4	38.0	45.7	44.7	48.1	47.1	40.8	35.8	46.0		38.8
	D・I	-32.4	-30.9	-36.1	-33.8	-31.7	-37.0	-19.4	-27.2	-22.8	-27.1	-30.3	-39.0	-33.3	-23.7	-28.4	-34.5		-26.9
	修正値	-38.4	-34.2	-40.1	-32.4	-27.1	-37.2	-10.5	-22.1	-27.0	-29.3	-32.2	-34.4	-28.4	-23.9	-21.8	-31.5	7.0	-30.0
	傾向値	-40.4		-40.6		-39.6		-34.2		-28.7		-26.8		-26.3		-27.6			
収益	増加	23.6	17.6	18.9	18.1	15.9	5.5	15.3	17.3	19.8	14.3	14.5	12.8	18.2	7.9	10.4	17.2		11.9
	変らず	16.7	25.0	29.7	25.0	19.5	39.7	26.4	32.1	29.6	25.7	21.1	34.6	34.1	40.8	32.8	37.9		46.3
	減少	59.7	57.4	51.4	56.9	64.6	54.8	58.3	50.6	50.6	60.0	64.5	52.6	47.7	51.3	56.7	44.8		41.8
	D・I	-36.1	-39.7	-32.4	-38.9	-48.8	-49.3	-43.1	-33.3	-30.9	-45.7	-50.0	-39.7	-29.5	-43.4	-46.3	-27.6		-29.9
	修正値	-46.4	-45.1	-38.8	-41.3	-36.2	-45.8	-30.5	-23.7	-40.3	-47.7	-53.2	-41.9	-20.1	-39.3	-35.4	-24.2	-15.0	-32.6
	傾向値	-44.2		-42.8		-41.5		-40.9		-39.4		-41.0		-40.8		-38.8			
価格動向	販売価格	-7.0	-14.7	0.0	-9.9	3.7	8.1	16.7	13.6	19.8	7.1	21.3	14.3	19.3	10.7	6.0	17.2		1.5
	修正値	-11.5	-15.4	-2.0	-10.3	4.3	3.3	15.5	12.9	12.0	6.4	18.1	11.7	19.7	6.0	6.4	15.2	-13.0	3.8
	傾向値	-18.7		-14.3		-7.8		-0.8		6.7		12.7		17.3		17.9			
	原材料価格	72.2	60.3	64.9	65.3	87.8	73.0	80.6	80.2	83.8	72.9	81.6	69.2	68.2	60.5	56.7	60.9		50.7
	修正値	71.4	53.2	58.2	69.8	80.4	67.6	78.5	73.7	81.2	65.7	77.4	73.1	66.3	59.1	58.6	58.8	-8.0	48.7
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	-5.6	-10.3	-2.7	-8.5	2.4	-9.6	2.8	-1.2	7.6	4.3	2.6	6.4	9.1	6.6	13.4	11.5		13.4
	修正値	-2.9	-8.2	-1.1	-6.7	1.9	-9.9	1.1	-1.1	8.6	4.2	3.9	6.3	8.5	6.1	11.2	11.6	3.0	11.6
	資金繰り	-38.9	-36.2	-27.4	-37.5	-28.0	-31.5	-36.1	-22.2	-34.6	-35.2	-40.8	-38.0	-20.5	-25.0	-31.3	-28.7		-28.4
修正値	-38.8	-34.4	-31.0	-39.7	-24.5	-34.1	-32.3	-17.7	-33.6	-31.3	-42.2	-38.8	-18.3	-27.9	-28.7	-25.1	-10.0	-26.7	
前年同期比	売上額	-37.3		-25.4		-34.1		-35.2		-36.7		-24.6		-4.9		-36.0			
	収益	-38.8		-31.7		-43.9		-45.1		-45.9		-45.9		-18.3		-39.2			
雇用	残業時間	-9.0	-10.9	-11.7	-10.6	-27.2	-33.3	-12.5	-18.8	-23.3	-8.5	-16.4	-6.9	-19.5	-23.0	-17.6	-12.3		-2.0
	人手	-1.5	6.3	1.7	-6.1	-7.4	15.0	-2.8	-10.0	5.1	-4.2	0.0	3.4	-23.2	3.3	-9.6	-23.5		-21.2
借入金	借入難易度	-3.0		1.6		1.2		-1.4		-11.7		-10.2		-3.7		-2.0			
	借入をした(%)	24.2	11.7	27.0	17.2	24.7	18.3	31.8	24.4	29.8	16.7	30.4	15.4	20.7	26.3	19.2	18.5		13.7
	借入をしない(%)	75.8	88.3	73.0	82.8	75.3	81.7	68.2	75.6	70.2	83.3	69.6	84.6	79.3	73.7	80.8	81.5		86.3
有効回答事業所数		73		74		83		72		81		76		88		67			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対前期比	R5 10～12月期		
	10～12月期		10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期						
設備投資動向（％）	現在の設備	-13.8	-8.1	-24.2	-14.1	-7.4	-21.0	-12.9	-8.8	-10.0	-14.9	5.1	-5.1	-13.6	5.2	-3.9	-11.3		-11.8	
	実施した	12.3	21.0	25.8	26.2	29.1	29.5	30.6	30.9	36.1	31.9	27.1	31.0	40.3	30.5	30.0	35.1		42.9	
	投資内容																			
	事業用地・建物	1.5	3.2	1.6	4.6	3.8	1.6	2.8	3.7	4.9	1.4	3.4	6.9	3.9	5.1	0.0	7.8		4.1	
	機械・設備の新・増設	4.6	6.5	12.9	9.2	15.2	13.1	12.5	12.3	13.1	8.7	10.2	6.9	11.7	16.9	10.0	10.4		12.2	
	機械・設備の更改	7.7	6.5	4.8	10.8	10.1	9.8	9.7	16.0	23.0	13.0	11.9	13.8	16.9	8.5	16.0	14.3		16.3	
	事務機器	7.7	8.1	11.3	9.2	11.4	9.8	12.5	8.6	11.5	14.5	11.9	10.3	19.5	8.5	12.0	7.8		12.2	
	車両	3.1	9.7	12.9	7.7	2.5	11.5	8.3	2.5	4.9	10.1	3.4	6.9	11.7	8.5	4.0	9.1		14.3	
	その他	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.7	3.4	0.0	1.7	2.0	0.0		0.0	
	実施しない	87.7	79.0	74.2	73.8	70.9	70.5	69.4	69.1	63.9	68.1	72.9	69.0	59.7	69.5	70.0	64.9		57.1	
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	69.7		68.3		60.5		54.2		58.9		53.6		48.1		62.0				
	人手不足	12.1		11.7		13.2		13.9		12.5		17.9		22.8		16.0				
	大手企業との競争の激化	1.5		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		1.3		0.0				
	同業者間の競争の激化	9.1		5.0		5.3		1.4		3.6		3.6		8.9		2.0				
	親企業による選別の強化	1.5		3.3		0.0		1.4		1.8		0.0		2.5		0.0				
	輸入製品との競争の激化	1.5		1.7		0.0		0.0		1.8		1.8		0.0		2.0				
	合理化の不足	6.1		5.0		7.9		4.2		1.8		0.0		6.3		6.0				
	利幅の縮小	16.7		13.3		10.5		15.3		14.3		14.3		16.5		14.0				
	原材料高	50.0		51.7		63.2		51.4		44.6		48.2		51.9		44.0				
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		1.7		2.6		1.4		1.8		0.0		5.1		2.0				
	仕入先からの値上げ要請	15.2		25.0		30.3		27.8		21.4		37.5		24.1		20.0				
	人件費の増加	3.0		5.0		3.9		9.7		8.9		12.5		7.6		18.0				
	人件費以外の経費増加	9.1		13.3		11.8		12.5		14.3		10.7		12.7		10.0				
	工場・機械の狭小・老朽化	28.8		13.3		13.2		18.1		26.8		12.5		20.3		16.0				
	生産能力の不足	6.1		5.0		7.9		6.9		12.5		8.9		8.9		6.0				
	下請の確保難	4.5		0.0		2.6		6.9		1.8		1.8		7.6		6.0				
	代金回収の悪化	0.0		0.0		1.3		0.0		1.8		1.8		1.3		0.0				
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		1.4		1.8		1.8		1.3		2.0				
	天候の不順	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
	地場産業の衰退	1.5		0.0		1.3		4.2		7.1		1.8		1.3		2.0				
大手企業・工場の縮小・撤退	1.5		1.7		2.6		4.2		3.6		1.8		2.5		8.0					
為替レートの変動	1.5		1.7		3.9		4.2		7.1		5.4		2.5		4.0					
その他	3.0		3.3		10.5		6.9		1.8		0.0		5.1		2.0					
問題なし	3.0		3.3		0.0		2.8		1.8		5.4		2.5		4.0					
重点経営施策（％）	販路を広げる	53.0		48.3		52.6		57.4		62.1		49.1		49.4		48.0				
	経費を節減する	42.4		50.0		40.8		38.2		48.3		40.4		41.8		38.0				
	情報力を強化する	13.6		23.3		13.2		23.5		31.0		21.1		21.5		20.0				
	新製品・技術を開発する	19.7		21.7		25.0		19.1		29.3		28.1		21.5		16.0				
	不採算部門を整理・縮小する	7.6		0.0		6.6		5.9		5.2		5.3		10.1		8.0				
	提携先を見つける	15.2		13.3		10.5		7.4		10.3		8.8		11.4		10.0				
	機械化を推進する	7.6		10.0		10.5		4.4		3.4		7.0		10.1		8.0				
	人材を確保する	18.2		18.3		19.7		25.0		13.8		26.3		30.4		24.0				
	パート化を図る	1.5		3.3		3.9		2.9		0.0		1.8		0.0		0.0				
	教育訓練を強化する	13.6		16.7		13.2		8.8		10.3		12.3		12.7		14.0				
	労働条件を改善する	1.5		8.3		3.9		5.9		3.4		3.5		5.1		10.0				
	工場・機械を増設・移転する	4.5		6.7		7.9		8.8		8.6		10.5		11.4		12.0				
	不動産の有効活用を図る	4.5		5.0		3.9		5.9		3.4		5.3		1.3		6.0				
	その他	1.5		1.7		1.3		1.5		3.4		1.8		1.3		2.0				
特になし	12.1		5.0		6.6		8.8		3.4		8.8		7.6		8.0					
有効回答事業所数		73		74		83		72		81		76		88		67				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対 前期比	R5 10～12月期	
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期			7～9月期
業況	良い	13.9	20.5	8.2	10.1	11.7	12.2	17.3	12.9	20.0	12.2	18.8	16.4	23.9	16.5	21.3	21.8		17.7
	普通	17.7	24.4	17.8	32.9	24.5	28.4	22.7	28.0	28.0	27.0	33.8	31.5	29.5	38.0	31.3	43.7		39.2
	悪い	68.4	55.1	74.0	57.0	63.8	59.5	60.0	59.1	52.0	60.8	47.5	52.1	46.6	45.6	47.5	34.5		43.0
	D-I	-54.4	-34.6	-65.8	-46.8	-52.1	-47.3	-42.7	-46.2	-32.0	-48.6	-28.8	-35.6	-22.7	-29.1	-26.3	-12.6		-25.3
	修正値	-56.6	-39.2	-58.7	-45.5	-49.7	-38.4	-43.4	-43.8	-38.9	-50.1	-18.9	-38.5	-22.7	-21.9	-28.3	-14.1	-6.0	-26.1
	傾向値	-52.0		-51.9		-53.8		-54.5		-50.9		-43.5		-35.2		-29.5			
売上額	増加	25.6	28.8	17.6	19.2	30.9	24.7	27.6	30.1	33.3	26.7	26.3	24.7	35.2	22.5	28.8	41.4		24.4
	変わらず	17.9	25.0	16.2	33.3	13.8	32.9	28.9	26.9	32.0	29.3	28.8	35.6	25.0	38.8	32.5	31.0		38.5
	減少	56.4	46.3	66.2	47.4	55.3	42.5	43.4	43.0	34.7	44.0	45.0	39.7	39.8	38.8	38.8	27.6		37.2
	D-I	-30.8	-17.5	-48.6	-28.2	-24.5	-17.8	-15.8	-12.9	-1.3	-17.3	-18.8	-15.1	-4.5	-16.3	-10.0	13.8		-12.8
	修正値	-39.8	-24.0	-42.6	-22.2	-19.8	-12.2	-15.3	-16.5	-15.4	-21.9	-9.4	-10.6	-1.8	-12.3	-10.6	6.4	-9.0	-14.7
	傾向値	-35.0		-34.4		-35.1		-33.0		-26.2		-18.8		-12.6		-9.4			
収益	増加	24.4	22.5	13.5	21.8	24.5	17.6	19.7	23.7	29.3	20.0	18.8	21.9	23.9	16.3	23.8	31.0		22.8
	変わらず	17.9	31.3	18.9	25.6	21.3	32.4	27.6	30.1	29.3	33.3	36.3	34.2	25.0	42.5	37.5	26.4		38.0
	減少	57.7	46.3	67.6	52.6	54.3	50.0	52.6	46.2	41.3	46.7	45.0	43.8	51.1	41.3	38.8	42.5		39.2
	D-I	-33.3	-23.8	-54.1	-30.8	-29.8	-32.4	-32.9	-22.6	-12.0	-26.7	-26.3	-21.9	-27.3	-25.0	-15.0	-11.5		-16.5
	修正値	-41.7	-27.3	-46.4	-25.2	-27.9	-27.7	-31.1	-26.0	-25.3	-28.8	-15.3	-18.9	-25.9	-20.9	-13.4	-14.6	12.0	-17.9
	傾向値	-38.8		-38.6		-40.2		-39.6		-34.9		-28.7		-24.9		-22.4			
価格動向	販売価格	12.7	13.8	18.7	6.3	38.3	33.8	43.4	40.4	36.0	45.3	27.8	15.1	38.6	13.9	20.0	31.0		11.4
	修正値	10.7	13.2	14.6	5.7	34.6	24.2	36.7	37.8	34.4	40.6	26.6	20.6	33.4	9.7	16.6	26.5	-17.0	8.2
	傾向値	-1.1		6.5		14.3		23.3		31.2		35.2		36.4		33.5			
	仕入価格	57.0	44.3	58.7	50.6	77.7	68.0	80.3	76.3	69.3	77.3	67.5	53.4	69.3	55.0	52.5	62.1		53.2
	修正値	53.8	39.6	57.9	49.8	68.7	60.9	72.8	72.9	68.0	70.7	68.7	55.0	64.4	50.8	48.3	60.0	-16.0	49.9
	傾向値	33.0		43.0		53.1		63.3		69.9		72.6		72.6		68.1			
在庫・資金繰り	在庫数量	5.1	3.8	8.2	6.4	9.6	5.4	9.2	4.3	5.4	9.3	6.3	8.3	6.8	1.3	16.3	5.7		11.4
	修正値	8.7	4.7	6.1	5.6	8.3	6.6	8.5	3.4	9.6	8.7	5.7	8.0	5.9	4.1	15.0	4.7	9.0	10.0
	資金繰り	-30.4	-37.5	-40.0	-29.1	-20.2	-26.7	-13.3	-17.0	-20.0	-20.0	-5.0	-10.8	-20.5	-15.0	-20.0	-20.7		-12.7
修正値	-32.3	-33.9	-37.8	-32.1	-17.5	-26.1	-11.4	-13.9	-23.4	-15.8	-4.4	-17.0	-16.2	-14.5	-19.3	-15.6	-3.0	-9.9	
前年同期比	売上額	-27.8		-44.0		-8.7		-18.7		0.0		-16.9		4.8		0.0			
	収益	-38.0		-48.0		-25.8		-36.0		-25.7		-18.1		-20.5		-24.3			
	販売価格	7.6		22.7		53.3		43.4		50.0		55.6		53.0		35.7			
雇用	残業時間	-5.1	-2.5	-2.7	-3.8	-21.3	0.0	-6.8	-10.6	6.8	0.0	-7.1	1.4	7.2	-14.3	1.4	3.7		-5.8
	人手	-16.5	-12.5	-13.5	-16.5	-19.1	-13.5	-15.8	-17.0	-32.0	-21.1	-26.4	-27.0	-20.5	-27.8	-31.0	-23.2		-28.6
	借入金	借入難易度	-10.3		-10.8		-2.2		3.9		-5.6		-8.6		-8.5		-4.2		
借入をした(%)	34.2	15.8	31.1	18.4	30.9	24.3	33.3	26.6	31.9	17.3	27.5	24.7	31.7	17.9	21.7	24.7		17.4	
借入をしな(%)	65.8	84.2	68.9	81.6	69.1	75.7	66.7	73.4	68.1	82.7	72.5	75.3	68.3	82.1	78.3	75.3		82.6	
有効回答事業数	80		76		94		76		75		80		88		80				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対 前期比	R5 10～12月期	
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	-9.3	-3.9	-4.1	-12.0	-8.6	-2.8	-8.5	-10.8	-14.7	-4.2	-10.1	-14.9	-10.1	-13.0	-10.0	-10.1		-11.6
	実施した	29.3	27.5	35.2	34.2	30.1	25.0	27.4	27.5	29.2	27.8	38.0	37.5	33.3	35.8	38.6	35.1		37.9
	事業用地・建物	2.7	3.8	1.4	4.1	0.0	0.0	5.5	1.1	2.8	4.2	2.8	2.8	2.5	1.5	1.4	1.3		4.5
	機械・設備の新・増設	4.0	1.3	2.8	4.1	4.3	2.8	0.0	6.6	6.9	4.2	9.9	8.3	7.4	4.5	8.6	7.8		7.6
	機械・設備の更改	6.7	1.3	7.0	11.0	3.2	4.2	6.8	6.6	6.9	4.2	4.2	8.3	3.7	6.0	4.3	3.9		4.5
	事務機器	13.3	13.8	21.1	16.4	20.4	19.4	17.8	14.3	15.3	9.7	22.5	19.4	14.8	26.9	27.1	18.2		16.7
	車両	10.7	7.5	11.3	9.6	11.8	8.3	5.5	7.7	6.9	9.7	9.9	9.7	7.4	4.5	10.0	11.7		12.1
	その他	1.3	2.5	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	4.4	2.8	1.4	0.0	5.6	3.7	4.5	1.4	1.3		3.0
	実施しない	70.7	72.5	64.8	65.8	69.9	75.0	72.6	72.5	70.8	72.2	62.0	62.5	66.7	64.2	61.4	64.9		62.1
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	65.3		67.6		59.3		62.9		42.3		59.2		48.1		47.8		
人手不足		14.7		8.1		11.6		11.4		18.3		16.9		21.0		19.4			
同業者間の競争の激化		9.3		23.0		15.1		8.6		15.5		11.3		13.6		14.9			
輸入製品との競争の激化		1.3		0.0		3.5		7.1		2.8		4.2		3.7		1.5			
流通経路の変化による競争の激化		5.3		2.7		3.5		5.7		7.0		1.4		0.0		3.0			
合理化の不足		2.7		2.7		1.2		2.9		1.4		2.8		1.2		6.0			
小口注文・多頻度配送の増加		6.7		8.1		2.3		2.9		8.5		8.5		9.9		6.0			
利幅の縮小		36.0		29.7		26.7		30.0		33.8		28.2		24.7		26.9			
取扱商品の陳腐化		5.3		6.8		5.8		5.7		2.8		7.0		8.6		6.0			
販売商品の不足		5.3		4.1		9.3		11.4		8.5		7.0		8.6		4.5			
販売納入先からの値下げ要請		6.7		1.4		3.5		1.4		2.8		2.8		1.2		0.0			
仕入先からの値上げ要請		30.7		36.5		39.5		42.9		33.8		29.6		34.6		35.8			
人件費の増加		2.7		8.1		5.8		2.9		7.0		12.7		14.8		9.0			
人件費以外の経費の増加		6.7		9.5		4.7		4.3		5.6		9.9		11.1		10.4			
取引先の減少		22.7		18.9		11.6		11.4		14.1		19.7		13.6		11.9			
店舗の狭小・老朽化		0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		1.4		2.5		4.5			
代金回収の悪化		5.3		4.1		1.2		0.0		4.2		2.8		2.5		3.0			
地価の高騰		2.7		1.4		1.2		1.4		1.4		1.4		2.5		3.0			
駐車場の確保難		0.0		1.4		2.3		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0			
天候の不順		1.3		0.0		1.2		2.9		0.0		1.4		2.5		3.0			
地場産業の衰退		1.3		1.4		1.2		2.9		1.4		1.4		0.0		0.0			
為替レートの変動		25.3		18.9		32.6		31.4		26.8		18.3		28.4		40.3			
大手企業・工場の縮小・撤退		1.3		4.1		5.8		4.3		4.2		2.8		2.5		4.5			
その他		4.0		6.8		2.3		1.4		4.2		2.8		6.2		4.5			
問題なし		1.3		4.1		3.5		2.9		4.2		1.4		0.0		1.5			
重点経営施策（％）	販路を広げる	64.9		64.9		63.4		66.7		57.5		72.5		59.5		57.1			
	経費を削減する	37.7		40.5		44.1		50.0		34.2		42.0		39.2		42.9			
	品揃えを充実する	13.0		20.3		15.1		16.7		15.1		20.3		11.4		8.6			
	情報力を強化する	29.9		27.0		33.3		31.9		26.0		29.0		31.6		35.7			
	新しい事業を始める	14.3		17.6		16.1		12.5		17.8		14.5		19.0		17.1			
	提携先を見つける	10.4		14.9		10.8		5.6		12.3		10.1		10.1		8.6			
	機械化を推進する	1.3		2.7		2.2		0.0		0.0		0.0		3.8		5.7			
	人材を確保する	23.4		17.6		14.0		19.4		30.1		18.8		26.6		24.3			
	パート化を図る	1.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	教育訓練を強化する	7.8		9.5		7.5		6.9		8.2		7.2		5.1		12.9			
	流通経路の見直しをする	3.9		6.8		4.3		4.2		2.7		4.3		3.8		7.1			
	取引先を支援する	0.0		5.4		1.1		0.0		4.1		1.4		5.1		2.9			
	輸入品の取扱いを増やす	1.3		4.1		1.1		1.4		2.7		2.9		1.3		1.4			
	労働条件を改善する	1.3		2.7		2.2		1.4		4.1		8.7		8.9		4.3			
	不動産の有効活用を図る	3.9		2.7		2.2		1.4		1.4		4.3		3.8		4.3			
その他	2.6		1.4		3.2		4.2		4.1		2.9		0.0		0.0				
特になし	7.8		5.4		7.5		5.6		8.2		4.3		6.3		4.3				
有効回答事業数		80		76		94		76		75		80		88		80			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対 前期比	R5 10～12月期	
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期					
業況	良い	23.9	19.0	1.5	13.6	17.6	19.1	5.7	18.8	36.4	13.0	29.2	27.3	46.4	34.7	32.5	31.3		40.3
	普通	17.9	15.9	22.1	24.2	29.4	20.6	27.1	29.4	20.8	30.4	22.2	24.7	28.6	29.2	35.1	45.8		39.0
	悪い	58.2	65.1	76.5	62.1	52.9	60.3	67.1	51.8	42.9	56.5	48.6	48.1	25.0	36.1	32.5	22.9		20.8
	D・I	-34.3	-46.0	-75.0	-48.5	-35.3	-41.2	-61.4	-32.9	-6.5	-43.5	-19.4	-20.8	21.4	-1.4	0.0	8.4		19.5
	<b>修正値</b>	<b>-43.7</b>	<b>-51.4</b>	<b>-71.8</b>	<b>-48.3</b>	<b>-32.3</b>	<b>-37.2</b>	<b>-55.6</b>	<b>-29.5</b>	<b>-28.6</b>	<b>-45.6</b>	<b>-9.8</b>	<b>-23.0</b>	<b>9.3</b>	<b>0.5</b>	<b>7.0</b>	<b>2.5</b>	<b>-2.0</b>	<b>8.5</b>
	傾向値	-62.8		-61.0		-57.9		-52.4		-48.0		-37.6		-23.6		-8.8			
売上額	増加	35.8	23.8	8.8	6.1	41.7	35.3	22.9	33.3	57.1	37.1	38.9	27.3	56.0	51.4	40.3	38.6		58.4
	変らず	20.9	30.2	17.6	36.4	26.2	26.5	31.4	28.6	19.5	35.7	18.1	28.6	27.4	20.8	24.7	36.1		26.0
	減少	43.3	46.0	73.5	57.6	32.1	38.2	45.7	38.1	23.4	27.1	43.1	44.2	16.7	27.8	35.1	25.3		15.6
	D・I	-7.5	-22.2	-64.7	-51.5	9.5	-2.9	-22.9	-4.8	33.8	10.0	-4.2	-16.9	39.3	23.6	5.2	13.3		42.9
	<b>修正値</b>	<b>-27.0</b>	<b>-37.9</b>	<b>-50.0</b>	<b>-41.5</b>	<b>4.3</b>	<b>-4.0</b>	<b>-23.9</b>	<b>-3.2</b>	<b>-2.2</b>	<b>-9.6</b>	<b>30.1</b>	<b>0.9</b>	<b>27.2</b>	<b>24.1</b>	<b>6.4</b>	<b>10.4</b>	<b>-21.0</b>	<b>12.2</b>
	傾向値	-52.9		-50.0		-41.0		-26.7		-16.2		-3.5		7.8		15.0			
収益	増加	29.9	22.6	1.5	1.5	31.8	17.9	17.1	28.2	50.6	25.7	27.8	23.4	45.2	40.3	27.3	34.9		46.8
	変らず	29.9	33.9	25.0	39.4	37.6	35.8	40.0	29.4	24.7	41.4	29.2	28.6	34.5	27.8	31.2	37.3		31.2
	減少	40.3	43.5	73.5	59.1	30.6	46.3	42.9	42.4	24.7	32.9	43.1	48.1	20.2	31.9	41.6	27.7		22.1
	D・I	-10.4	-21.0	-72.1	-57.6	1.2	-28.4	-25.7	-14.1	26.0	-7.1	-15.3	-24.7	25.0	8.3	-14.3	7.2		24.7
	<b>修正値</b>	<b>-27.9</b>	<b>-35.5</b>	<b>-56.7</b>	<b>-48.0</b>	<b>-5.7</b>	<b>-26.8</b>	<b>-30.3</b>	<b>-14.0</b>	<b>-8.0</b>	<b>-23.0</b>	<b>27.5</b>	<b>-9.4</b>	<b>12.3</b>	<b>11.5</b>	<b>-16.4</b>	<b>2.8</b>	<b>-29.0</b>	<b>-1.1</b>
	傾向値	-55.1		-50.8		-42.6		-30.7		-22.2		-10.6		-0.5		3.9			
価格動向	販売価格	4.5	-8.1	7.4	0.0	31.8	13.4	31.4	34.1	57.1	42.9	36.1	28.6	45.2	40.3	48.1	24.1		37.7
	〃 <b>修正値</b>	<b>-1.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>8.7</b>	<b>0.4</b>	<b>27.8</b>	<b>6.6</b>	<b>26.0</b>	<b>34.0</b>	<b>43.7</b>	<b>32.7</b>	<b>40.2</b>	<b>30.5</b>	<b>40.2</b>	<b>35.3</b>	<b>43.0</b>	<b>24.9</b>	<b>3.0</b>	<b>27.1</b>
	〃 傾向値	-11.9		-7.4		0.9		12.4		25.3		35.5		40.8		44.6			
	仕入価格	58.2	24.2	64.7	43.9	82.4	59.7	74.3	80.0	83.1	71.4	77.8	51.3	89.3	73.6	84.4	77.1		76.6
	〃 <b>修正値</b>	<b>50.6</b>	<b>19.1</b>	<b>65.3</b>	<b>41.9</b>	<b>72.4</b>	<b>61.5</b>	<b>72.9</b>	<b>70.7</b>	<b>76.0</b>	<b>62.9</b>	<b>78.9</b>	<b>54.7</b>	<b>78.9</b>	<b>74.0</b>	<b>81.8</b>	<b>65.8</b>	<b>3.0</b>	<b>66.9</b>
	〃 傾向値	20.5		34.3		49.1		62.8		73.0		77.7		80.2		82.4			
在庫・資金繰り	在庫数量	23.9	1.6	1.5	9.1	10.6	0.0	12.9	4.7	18.7	4.3	11.1	13.3	10.7	9.7	7.8	3.6		7.8
	〃 <b>修正値</b>	<b>21.6</b>	<b>3.4</b>	<b>3.9</b>	<b>7.8</b>	<b>8.7</b>	<b>0.4</b>	<b>14.7</b>	<b>4.5</b>	<b>14.3</b>	<b>6.2</b>	<b>14.1</b>	<b>10.2</b>	<b>9.6</b>	<b>10.1</b>	<b>10.8</b>	<b>3.5</b>	<b>1.0</b>	<b>9.1</b>
	資金繰り	-27.9	-31.7	-32.4	-35.8	-14.1	-29.4	-14.3	-20.0	-11.7	-15.7	-11.1	-10.4	-11.9	-5.6	-14.3	-14.5		-9.1
〃 <b>修正値</b>	<b>-30.0</b>	<b>-34.5</b>	<b>-25.1</b>	<b>-34.7</b>	<b>-16.8</b>	<b>-25.5</b>	<b>-16.4</b>	<b>-21.0</b>	<b>-15.1</b>	<b>-19.6</b>	<b>-1.3</b>	<b>-10.3</b>	<b>-14.2</b>	<b>0.4</b>	<b>-18.4</b>	<b>-14.9</b>	<b>-4.0</b>	<b>-15.1</b>	
前年同期比	売上額	-5.1		-63.2		15.2		-2.3		20.9		17.5		42.0		36.4			
	収益	-23.7		-62.2		0.0		-31.8		0.0		10.0		18.0		2.3			
	販売価格	7.9		-8.1		41.3		50.0		53.7		45.0		58.0		61.4			
雇用	残業時間	-5.3	-11.9	-24.3	-13.2	4.3	-8.1	-2.3	0.0	9.8	9.3	2.5	0.0	8.2	5.0	-2.3	6.3		2.3
	人手	-33.3	-7.0	-24.3	-30.8	-39.6	-27.0	-35.6	-41.7	-42.9	-34.1	-37.5	-36.6	-50.0	-37.5	-54.5	-46.9		-54.5
借入金	借入難易度	-8.1		-16.2		-8.9		-13.3		-10.3		-7.7		-22.4		-17.5			
	借入をした(%)	54.1	15.0	21.6	24.3	17.0	9.1	18.6	15.6	41.9	18.2	42.5	13.5	34.7	15.8	18.2	15.2		12.2
	借入をしな(%)	45.9	85.0	78.4	75.7	83.0	90.9	81.4	84.4	58.1	81.8	57.5	86.5	65.3	84.2	81.8	84.8		87.8
有効回答事業所数	68		68		85		70		77		72		84		77				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対前期比	R5 10～12月期
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期				
設備投資動向（％）	現在の設備	-16.2	-12.2	-13.5	-13.5	-12.8	-13.5	-6.8	-4.3	-4.8	-4.7	-12.8	-9.5	-14.3	-10.3	-11.4	-16.7	-11.4
	実施した	24.3	25.6	27.8	29.7	42.6	28.6	40.5	43.2	35.9	48.7	43.6	30.8	41.7	36.8	39.5	40.4	30.8
	事業用地・建物	2.7	5.1	0.0	8.1	4.3	5.7	2.4	6.8	2.6	7.7	2.6	2.6	6.3	2.6	4.7	4.3	2.6
	機械・設備の新・増設	13.5	10.3	11.1	10.8	31.9	2.9	23.8	31.8	23.1	28.2	23.1	17.9	22.9	18.4	23.3	27.7	20.5
	機械・設備の更改	13.5	5.1	13.9	13.5	23.4	17.1	21.4	18.2	12.8	10.3	17.9	10.3	31.3	10.5	23.3	21.3	25.6
	事務機器	5.4	7.7	2.8	13.5	2.1	5.7	7.1	0.0	5.1	7.7	7.7	2.6	10.4	13.2	7.0	10.6	5.1
	車両	2.7	10.3	13.9	10.8	6.4	8.6	7.1	9.1	7.7	7.7	7.7	5.1	2.1	5.3	2.3	6.4	2.6
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	4.5	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0
実施しない	75.7	74.4	72.2	70.3	57.4	71.4	59.5	56.8	64.1	51.3	56.4	69.2	58.3	63.2	60.5	59.6	69.2	
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	70.3		86.1		57.4		69.8		56.1		39.5		29.2		37.2		
	人手不足	18.9		27.8		40.4		32.6		36.6		44.7		56.3		46.5		
	同業者間の競争の激化	10.8		5.6		6.4		7.0		12.2		2.6		2.1		2.3		
	大型店との競争の激化	8.1		0.0		2.1		2.3		0.0		0.0		2.1		2.3		
	輸入製品との競争の激化	0.0		0.0		2.1		2.3		2.4		0.0		0.0		2.3		
	利幅の縮小	10.8		16.7		14.9		20.9		17.1		28.9		12.5		20.9		
	取扱商品の陳腐化	13.5		5.6		4.3		2.3		2.4		2.6		8.3		2.3		
	販売商品の不足	8.1		2.8		4.3		2.3		0.0		7.9		2.1		4.7		
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		2.8		0.0		0.0		0.0		2.6		0.0		0.0		
	仕入先からの値上げ要請	21.6		38.9		48.9		51.2		36.6		42.1		43.8		37.2		
	人件費の増加	24.3		11.1		25.5		16.3		26.8		21.1		47.9		46.5		
	人件費以外の経費の増加	8.1		11.1		17.0		16.3		14.6		23.7		27.1		11.6		
	取引先の減少	10.8		5.6		6.4		4.7		4.9		13.2		4.2		11.6		
	商圏人口の減少	2.7		5.6		4.3		2.3		4.9		2.6		0.0		4.7		
	商店街の集客力の低下	16.2		11.1		6.4		7.0		7.3		13.2		6.3		7.0		
	店舗の狭小・老朽化	8.1		8.3		2.1		7.0		7.3		0.0		8.3		4.7		
	代金回収の悪化	2.7		5.6		2.1		0.0		0.0		2.6		2.1		0.0		
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		4.2		4.7		
	駐車場の確保難	0.0		0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0		0.0		
	天候の不順	10.8		2.8		10.6		18.6		12.2		10.5		12.5		27.9		
地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0		0.0			
大手企業・工場の縮小・撤退	2.7		0.0		0.0		0.0		2.4		0.0		0.0		0.0			
その他	5.4		2.8		4.3		2.3		12.2		5.3		6.3		2.3			
問題なし	0.0		0.0		2.1		2.3		0.0		0.0		0.0		2.3			
重点経営施策（％）	品揃えを改善する	26.3		37.8		26.7		22.0		21.4		31.6		27.1		18.2		
	経費を削減する	60.5		64.9		55.6		68.3		59.5		42.1		47.9		59.1		
	宣伝・広報を強化する	23.7		16.2		24.4		34.1		31.0		26.3		27.1		20.5		
	新しい事業を始める	15.8		18.9		24.4		14.6		11.9		13.2		20.8		9.1		
	店舗・設備を改装する	15.8		10.8		8.9		14.6		4.8		18.4		18.8		15.9		
	仕入先を開拓・選別する	28.9		13.5		15.6		14.6		16.7		21.1		16.7		15.9		
	営業時間を延長する	5.3		10.8		4.4		0.0		4.8		5.3		2.1		2.3		
	売れ筋商品を取扱う	15.8		18.9		8.9		17.1		4.8		10.5		4.2		15.9		
	商店街事業を活性化させる	2.6		2.7		6.7		0.0		9.5		10.5		4.2		4.5		
	機械化を推進する	5.3		0.0		8.9		14.6		14.3		5.3		2.1		15.9		
	人材を確保する	26.3		29.7		33.3		24.4		38.1		44.7		50.0		50.0		
	パート化を図る	2.6		5.4		4.4		2.4		4.8		2.6		8.3		4.5		
	教育訓練を強化する	2.6		0.0		4.4		14.6		11.9		10.5		12.5		4.5		
	輸入品の取扱いを増やす	2.6		0.0		0.0		0.0		2.4		0.0		0.0		0.0		
	不動産の有効活用を図る	5.3		2.7		0.0		2.4		4.8		5.3		0.0		6.8		
	その他	0.0		5.4		4.4		2.4		0.0		2.6		6.3		6.8		
特になし	5.3		2.7		4.4		4.9		4.8		0.0		4.2		2.3			
有効回答事業所数		68		68		85		70		77		72		84		77		

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対 前期比	R5 10～12月期		
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期						
業況	良い	18.9	14.7	22.4	12.3	18.3	14.7	17.6	19.5	24.1	14.1	20.0	24.7	29.9	13.5	33.3	25.0		28.4	
	普通	29.7	26.5	31.6	41.1	31.7	38.7	47.1	40.2	41.8	50.6	49.3	48.1	40.2	56.8	37.3	51.1		39.2	
	悪い	51.4	58.8	46.1	46.6	50.0	46.7	35.3	40.2	34.2	35.3	30.7	27.3	29.9	29.7	29.3	23.9		32.4	
	D・I	-32.4	-44.1	-23.7	-34.2	-31.7	-32.0	-17.6	-20.7	-10.1	-21.2	-10.7	-2.6	0.0	-16.2	4.0	1.1		-4.1	
	<b>修正値</b>	<b>-35.4</b>	<b>-44.2</b>	<b>-21.8</b>	<b>-38.2</b>	<b>-25.7</b>	<b>-26.4</b>	<b>-18.1</b>	<b>-18.8</b>	<b>-16.4</b>	<b>-19.4</b>	<b>-9.0</b>	<b>-11.4</b>	<b>3.7</b>	<b>-9.0</b>	<b>-0.5</b>	<b>-4.7</b>	<b>-4.0</b>		<b>-2.8</b>
	傾向値	-54.5		-45.4		-37.4		-30.1		-23.6		-19.2		-13.6		-6.9				
売上額	増加	31.1	14.7	27.3	16.2	29.3	25.0	22.4	28.4	30.4	22.4	21.3	28.2	34.1	25.7	34.7	27.3		31.1	
	変らず	28.4	36.8	29.9	43.2	30.5	35.5	51.8	39.5	44.3	52.9	45.3	42.3	30.7	44.6	45.3	47.7		41.9	
	減少	40.5	48.5	42.9	40.5	40.2	39.5	25.9	32.1	25.3	24.7	33.3	29.5	35.2	29.7	20.0	25.0		27.0	
	D・I	-9.5	-33.8	-15.6	-24.3	-11.0	-14.5	-3.5	-3.7	5.1	-2.4	-12.0	-1.3	-1.1	-4.1	14.7	2.3		4.1	
	<b>修正値</b>	<b>-20.7</b>	<b>-35.2</b>	<b>-9.3</b>	<b>-20.6</b>	<b>-8.4</b>	<b>-10.2</b>	<b>-0.2</b>	<b>-9.4</b>	<b>-9.8</b>	<b>-6.5</b>	<b>-3.2</b>	<b>1.6</b>	<b>1.0</b>	<b>0.9</b>	<b>12.7</b>	<b>-8.6</b>	<b>12.0</b>		<b>-0.5</b>
	傾向値	-38.9		-30.8		-23.2		-14.7		-8.1		-5.8		-4.1		-0.6				
収益	増加	25.7	11.8	28.6	13.5	27.2	23.7	21.2	24.4	26.6	20.0	18.9	23.1	26.1	18.9	28.0	19.3		24.3	
	変らず	32.4	39.7	28.6	44.6	29.6	42.1	49.4	40.2	39.2	51.8	45.9	41.0	39.8	52.7	46.7	55.7		45.9	
	減少	41.9	48.5	42.9	41.9	43.2	34.2	29.4	35.4	34.2	28.2	35.1	35.9	34.1	28.4	25.3	25.0		29.7	
	D・I	-16.2	-36.8	-14.3	-28.4	-16.0	-10.5	-8.2	-11.0	-7.6	-8.2	-16.2	-12.8	-8.0	-9.5	2.7	-5.7		-5.4	
	<b>修正値</b>	<b>-26.3</b>	<b>-37.5</b>	<b>-12.3</b>	<b>-28.3</b>	<b>-9.3</b>	<b>-4.5</b>	<b>-5.7</b>	<b>-14.8</b>	<b>-19.0</b>	<b>-10.7</b>	<b>-12.1</b>	<b>-13.1</b>	<b>-2.7</b>	<b>-5.8</b>	<b>1.0</b>	<b>-12.6</b>	<b>4.0</b>		<b>-8.8</b>
	傾向値	-42.0		-34.0		-25.6		-17.7		-12.6		-11.8		-11.0		-8.6				
価格動向	料金価格	-2.7	3.0	6.6	-1.4	15.9	9.3	12.9	7.3	27.8	16.5	14.7	19.2	11.4	14.7	17.3	6.9		18.9	
	〃 <b>修正値</b>	<b>-4.3</b>	<b>0.5</b>	<b>4.2</b>	<b>-1.2</b>	<b>14.8</b>	<b>7.0</b>	<b>12.4</b>	<b>8.2</b>	<b>24.2</b>	<b>12.3</b>	<b>13.7</b>	<b>17.8</b>	<b>11.4</b>	<b>12.7</b>	<b>15.6</b>	<b>8.7</b>	<b>4.0</b>		<b>13.9</b>
	〃 傾向値	-9.6		-5.3		0.4		6.0		12.0		16.8		17.3		17.3				
	材料価格	25.0	17.9	41.9	22.2	53.1	39.2	32.1	48.1	54.4	34.5	46.7	44.9	51.2	45.3	52.1	44.2		55.6	
	〃 <b>修正値</b>	<b>24.3</b>	<b>19.3</b>	<b>35.5</b>	<b>20.4</b>	<b>47.0</b>	<b>33.4</b>	<b>36.2</b>	<b>45.1</b>	<b>53.2</b>	<b>36.5</b>	<b>41.6</b>	<b>44.4</b>	<b>45.6</b>	<b>40.3</b>	<b>55.6</b>	<b>41.9</b>	<b>10.0</b>		<b>54.9</b>
	〃 傾向値	14.4		20.7		29.2		36.0		41.7		46.0		46.3		48.6				
在庫・資金繰り	資金繰り	-12.2	-20.6	-13.0	-20.3	-11.0	-18.4	-10.6	-17.1	-15.2	-10.6	-6.7	-14.1	-2.3	-5.3	1.3	-9.1		0.0	
	〃 <b>修正値</b>	<b>-16.1</b>	<b>-20.8</b>	<b>-9.4</b>	<b>-23.9</b>	<b>-6.4</b>	<b>-14.2</b>	<b>-12.3</b>	<b>-14.3</b>	<b>-19.3</b>	<b>-11.0</b>	<b>-4.5</b>	<b>-18.2</b>	<b>0.8</b>	<b>-3.4</b>	<b>-1.6</b>	<b>-8.3</b>	<b>-2.0</b>		<b>-2.1</b>
前年同期比	売上額	-11.6		-12.9		3.7		3.1		1.5		-1.8		14.7		25.4				
	収益	-13.0		-16.1		-7.2		-4.6		-13.8		-12.3		4.0		20.3				
雇用	残業時間	-17.4	-17.4	-12.9	-10.1	-8.4	-11.5	-12.3	-4.8	7.7	-12.3	-17.5	4.7	-13.3	-17.5	1.7	-8.0		6.9	
	人手	-49.3	-36.2	-41.9	-49.3	-43.9	-32.8	-41.5	-46.3	-49.2	-49.2	-45.6	-56.3	-45.3	-49.1	-52.5	-44.0		-60.3	
借入金	借入難易度	9.1		5.0		0.0		3.1		-1.6		1.8		2.7		12.3				
	借入をした(%)	22.1	10.8	35.0	7.7	22.5	20.7	16.9	17.9	13.8	8.3	12.7	12.5	18.7	10.7	19.6	12.2		7.1	
	借入をしない(%)	77.9	89.2	65.0	92.3	77.5	79.3	83.1	82.1	86.2	91.7	87.3	87.5	81.3	89.3	80.4	87.8		92.9	
有効回答事業所数		75		77		83		85		79		75		88		75				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対前期比	R5 10～12月期	
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	-16.2	-1.5	-19.7	-16.2	-15.7	-13.3	-6.2	-18.3	-10.8	-7.7	-3.5	-12.3	-5.3	-1.8	-11.9	-5.3		-8.6
	実施した	27.9	25.8	36.1	31.3	33.8	33.9	33.3	32.5	32.8	33.9	32.7	32.3	33.3	30.9	30.5	27.8		34.5
	事業用地・建物	1.5	1.5	4.9	6.0	3.8	6.8	6.3	2.5	4.7	8.1	7.3	3.1	5.3	5.5	3.4	5.6		0.0
	機械・設備の新・増設	4.4	1.5	9.8	10.4	6.3	13.6	15.9	6.3	12.5	12.9	10.9	9.2	9.3	9.1	5.1	8.3		1.8
	機械・設備の更改	11.8	15.2	9.8	13.4	16.3	11.9	7.9	13.8	6.3	8.1	10.9	7.7	9.3	7.3	6.8	11.1		12.7
	事務機器	10.3	7.6	21.3	9.0	15.0	15.3	14.3	12.5	12.5	16.1	14.5	10.8	17.3	12.7	16.9	6.9		20.0
	車両	14.7	12.1	14.8	11.9	16.3	10.2	12.7	18.8	10.9	9.7	14.5	15.4	17.3	20.0	16.9	13.9		16.4
	その他	1.5	0.0	1.6	1.5	2.5	3.4	1.6	1.3	1.6	1.6	3.6	3.1	2.7	3.6	6.8	2.8		9.1
	実施しない	72.1	74.2	63.9	68.7	66.3	66.1	66.7	67.5	67.2	66.1	67.3	67.7	66.7	69.1	69.5	72.2		65.5
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	51.5		63.8		45.7		53.1		45.3		36.8		38.4		27.6		
人手不足		42.6		37.9		43.2		32.8		48.4		43.9		50.7		55.2			
同業者間の競争の激化		22.1		17.2		19.8		23.4		17.2		21.1		19.2		17.2			
大手企業との競争の激化		4.4		3.4		1.2		3.1		0.0		5.3		5.5		1.7			
合理化の不足		2.9		6.9		3.7		9.4		4.7		7.0		4.1		5.2			
利幅の縮小		16.2		19.0		18.5		17.2		14.1		22.8		17.8		10.3			
取扱事務の陳腐化		0.0		1.7		0.0		0.0		3.1		1.8		2.7		0.0			
材料価格の上昇		11.8		22.4		22.2		17.2		28.1		31.6		26.0		36.2			
料金の値下げ要請		2.9		3.4		3.7		1.6		1.6		3.5		0.0		1.7			
人件費の増加		29.4		22.4		19.8		28.1		26.6		33.3		38.4		32.8			
人件費以外の経費の増加		2.9		1.7		11.1		9.4		6.3		12.3		13.7		25.9			
技術力の不足		19.1		10.3		7.4		7.8		7.8		1.8		11.0		5.2			
取引先の減少		14.7		15.5		12.3		10.9		10.9		10.5		6.8		8.6			
商圏人口の減少		2.9		0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		1.4		1.7			
地価の高騰		1.5		0.0		0.0		1.6		1.6		0.0		0.0		1.7			
駐車場の確保難		0.0		0.0		1.2		1.6		3.1		5.3		1.4		6.9			
店舗・設備の狭小・老朽化		5.9		0.0		4.9		3.1		3.1		0.0		2.7		0.0			
代金回収の悪化		2.9		0.0		1.2		1.6		0.0		0.0		1.4		0.0			
天候の不順		2.9		3.4		4.9		3.1		6.3		0.0		2.7		1.7			
地場産業の衰退		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
大手企業・工場の縮小・撤退	2.9		1.7		0.0		0.0		1.6		0.0		1.4		1.7				
その他	4.4		10.3		2.5		6.3		4.7		3.5		5.5		3.4				
問題なし	2.9		5.2		7.4		6.3		3.1		3.5		2.7		5.2				
重点経営施策（％）	販路を広げる	39.7		34.4		41.0		47.7		39.7		47.4		43.1		44.1			
	経費を削減する	36.8		41.0		48.2		49.2		47.6		35.1		37.5		33.9			
	宣伝・広告を強化する	16.2		8.2		13.3		13.8		17.5		14.0		15.3		13.6			
	新しい事業を始める	23.5		21.3		13.3		15.4		9.5		12.3		16.7		10.2			
	店舗・設備を改装する	5.9		3.3		8.4		3.1		1.6		1.8		2.8		1.7			
	提携先を見つける	8.8		11.5		9.6		4.6		6.3		15.8		20.8		6.8			
	技術力を強化する	20.6		19.7		15.7		13.8		22.2		12.3		13.9		18.6			
	機械化を促進する	4.4		8.2		8.4		4.6		7.9		8.8		5.6		10.2			
	人材を確保する	41.2		39.3		44.6		44.6		54.0		47.4		44.4		55.9			
	パート化を図る	2.9		3.3		0.0		0.0		1.6		3.5		0.0		1.7			
	教育訓練を強化する	14.7		14.8		20.5		16.9		15.9		26.3		15.3		22.0			
	労働条件を改善する	13.2		11.5		13.3		15.4		11.1		14.0		20.8		22.0			
	不動産の有効活用を図る	4.4		3.3		2.4		0.0		3.2		0.0		0.0		1.7			
	その他	2.9		1.6		1.2		0.0		0.0		3.5		1.4		3.4			
特になし	1.5		6.6		2.4		4.6		4.8		7.0		2.8		5.1				
有効回答事業所数		75		77		83		85		79		75		88		75			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対前期比	R5	
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期			
業況	良い	18.9	10.1	18.4	14.9	10.8	10.7	12.7	19.6	11.4	12.7	16.0	11.7	16.9	13.2	22.7	15.7		22.4
	普通	33.8	35.4	32.9	40.5	29.4	34.7	34.2	31.4	36.7	45.6	38.7	40.3	33.7	31.6	40.0	42.7		34.2
	悪い	47.3	54.4	48.7	44.6	59.8	54.7	53.2	49.0	51.9	41.8	45.3	48.1	49.4	55.3	37.3	41.6		43.4
	D・I	-28.4	-44.3	-30.3	-29.7	-49.0	-44.0	-40.5	-29.4	-40.5	-29.1	-29.3	-36.4	-32.6	-42.1	-14.7	-25.8		-21.1
	修正値	-35.6	-47.5	-38.4	-37.0	-35.6	-38.3	-32.6	-17.9	-43.9	-32.2	-36.7	-40.1	-19.5	-36.2	-11.9	-17.4	8.0	-26.0
	傾向値	-47.8		-42.6		-40.2		-38.3		-38.6		-40.0		-37.8		-32.5			
売上額	増加	28.4	17.7	18.2	20.3	9.8	14.7	19.0	23.5	15.2	19.0	18.4	9.0	19.1	21.1	25.3	23.6		17.3
	変わらず	25.7	30.4	36.4	31.1	28.4	36.0	30.4	29.4	39.2	30.4	38.2	46.2	18.0	26.3	37.3	30.3		42.7
	減少	45.9	51.9	45.5	48.6	61.8	49.3	50.6	47.1	45.6	50.6	43.4	44.9	62.9	52.6	37.3	46.1		40.0
	D・I	-17.6	-34.2	-27.3	-28.4	-52.0	-34.7	-31.6	-23.5	-30.4	-31.6	-25.0	-35.9	-43.8	-31.6	-12.0	-22.5		-22.7
	修正値	-29.8	-43.9	-36.4	-33.7	-32.5	-12.9	-26.2	-20.6	-38.6	-39.1	-33.6	-39.6	-23.8	-13.9	-12.2	-19.4	12.0	-29.0
	傾向値	-37.4		-35.0		-34.8		-33.5		-33.7		-35.0		-33.7		-30.3			
受注残	増加	24.7	15.6	10.5	13.7	9.9	10.7	7.6	19.8	10.1	13.9	7.9	10.3	15.9	15.8	20.0	20.5		25.3
	変わらず	37.0	44.2	48.7	43.8	36.6	40.0	38.0	33.7	55.7	40.5	51.3	57.7	34.1	34.2	42.7	38.6		37.3
	減少	38.4	40.3	40.8	42.5	53.5	49.3	54.4	46.5	34.2	45.6	40.8	32.1	50.0	50.0	37.3	40.9		37.3
	D・I	-13.7	-24.7	-30.3	-28.8	-43.6	-38.7	-46.8	-26.7	-24.1	-31.6	-32.9	-21.8	-34.1	-34.2	-17.3	-20.5		-12.0
	修正値	-26.4	-32.9	-32.0	-31.8	-29.7	-25.6	-41.4	-24.5	-34.6	-38.2	-35.4	-24.9	-21.1	-21.4	-14.4	-17.6	7.0	-21.0
	傾向値	-32.4		-29.9		-29.5		-31.5		-34.9		-36.5		-35.7		-30.8			
施工高	増加	23.3	21.8	18.2	19.2	11.0	10.5	20.3	25.0	19.2	16.5	19.7	10.4	15.7	17.1	24.0	25.8		24.0
	変わらず	35.6	28.2	35.1	32.9	26.0	34.2	31.6	31.0	42.3	39.2	39.5	51.9	25.8	28.9	46.7	30.3		41.3
	減少	41.1	50.0	46.8	47.9	63.0	55.3	48.1	44.0	38.5	44.3	40.8	37.7	58.4	53.9	29.3	43.8		34.7
	D・I	-17.8	-28.2	-28.6	-28.8	-52.0	-44.7	-27.8	-19.0	-19.2	-27.8	-21.1	-27.3	-42.7	-36.8	-5.3	-18.0		-10.7
	修正値	-30.7	-37.5	-39.2	-32.7	-30.9	-26.5	-20.6	-19.0	-30.4	-35.5	-32.4	-29.8	-18.0	-17.9	-4.1	-19.7	14.0	-20.7
	傾向値	-35.6		-34.8		-35.4		-33.4		-31.7		-31.0		-28.9		-24.9			
収益	増加	23.0	15.4	23.4	16.2	12.7	13.2	15.2	20.6	12.7	11.4	11.8	10.3	16.9	10.5	20.0	21.3		14.9
	変わらず	33.8	34.6	27.3	33.8	26.5	25.0	36.7	33.3	32.9	43.0	39.5	37.2	21.3	32.9	34.7	28.1		39.2
	減少	43.2	50.0	49.4	50.0	60.8	61.8	48.1	46.1	54.4	45.6	48.7	52.6	61.8	56.6	45.3	50.6		45.9
	D・I	-20.3	-34.6	-26.0	-33.8	-48.0	-48.7	-32.9	-25.5	-41.8	-34.2	-36.8	-42.3	-44.9	-46.1	-25.3	-29.2		-31.1
	修正値	-34.2	-43.5	-34.5	-37.9	-29.9	-33.2	-25.9	-23.3	-48.7	-41.5	-42.8	-43.6	-27.8	-32.3	-24.8	-27.8	3.0	-38.0
	傾向値	-39.2		-36.0		-34.5		-32.7		-34.5		-38.5		-39.5		-38.2			
価格動向	請負価格	-28.4	-29.9	-23.4	-24.3	-34.7	-27.6	-22.8	-23.8	-12.8	-21.5	-10.5	-22.1	-20.2	-21.1	-13.3	-12.4		-5.3
	修正値	-32.7	-32.7	-28.2	-28.0	-29.0	-21.1	-18.2	-20.3	-17.2	-23.8	-15.3	-25.5	-13.8	-15.7	-11.3	-10.0	2.0	-9.1
	傾向値	-27.0		-26.4		-27.3		-28.0		-25.4		-21.8		-18.4		-15.4			
	材料価格	58.3	38.7	61.6	58.3	80.6	68.5	82.1	81.6	83.1	80.8	71.1	67.5	61.4	68.4	69.9	58.6		60.3
	修正値	54.6	35.6	57.6	53.8	75.3	62.8	75.7	76.9	77.8	76.3	70.0	65.0	60.0	65.2	66.5	56.5	6.0	57.9
	傾向値	32.3		42.8		53.7		65.1		73.8		78.0		76.8		72.9			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	-7.0	1.3	-2.8	-7.0	-18.3	-5.6	-1.3	-18.3	1.3	-9.3	-8.0	1.3	-1.2	-5.3	-2.7	-4.8		-2.7
	修正値	-7.1	-0.1	1.1	-7.1	-15.9	-3.6	-4.3	-15.0	-0.6	-10.8	-4.0	-1.1	1.9	-2.9	-5.2	-1.2	-7.0	-3.6
	資金繰り	-29.7	-34.2	-30.3	-28.4	-27.0	-30.7	-25.0	-27.0	-32.9	-32.5	-26.3	-25.3	-16.9	-26.3	-12.0	-15.7		-20.0
修正値	-28.5	-36.8	-30.0	-29.1	-23.9	-27.1	-26.9	-24.8	-31.2	-34.0	-25.7	-28.1	-15.9	-23.4	-16.2	-15.0	0.0	-20.0	
前年同期比	売上額	-29.7		-22.4		-34.3		-35.0		-31.9		-27.9		-31.7		-10.8			
	収益	-37.8		-29.7		-39.0		-46.3		-35.7		-36.8		-35.7		-26.2			
雇用	残業時間	-13.5	-19.0	-14.7	-21.6	-28.7	-27.0	-21.3	-15.8	-9.7	-13.8	-11.8	-12.5	-20.2	-23.5	-10.9	-4.8		-7.8
	人手	-36.5	-32.9	-35.5	-37.8	-29.4	-28.0	-32.5	-40.2	-56.9	-43.8	-45.6	-48.6	-41.7	-51.5	-64.6	-46.4		-64.6
借入金	借入難易度	-8.2		-2.8		2.0		-3.8		-2.9		-6.1		-1.2		4.8			
	借入をした(%)	35.6	21.9	33.3	22.9	31.3	12.7	35.1	25.3	38.9	17.8	31.7	17.2	28.9	18.0	30.6	17.5		24.2
	借入をしな(%)	64.4	78.1	66.7	77.1	68.7	87.3	64.9	74.7	61.1	82.2	68.3	82.8	71.1	82.0	69.4	82.5		75.8
有効回答事業所数		74		77		102		80		80		76		89		76			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3		R4		R4		R4		R5		R5		R5		対前期比	R5 10～12月期	
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期			
設備投資動向（％）	現在の設備	-11.3	-13.2	-10.8	-14.1	-17.3	-8.0	-5.4	-12.4	-10.1	-8.2	-9.0	-8.7	-17.1	-10.4	-11.3	-17.1		-11.3
	実施した	31.4	26.8	25.0	28.4	39.0	25.4	35.9	29.8	33.8	20.0	30.9	26.1	33.3	24.6	33.8	30.9		27.0
	事業用地・建物	4.3	4.2	5.6	3.0	4.0	4.2	1.3	3.2	4.2	0.0	2.9	1.4	3.6	4.6	6.2	6.2		3.2
	機械・設備の新・増設	5.7	1.4	5.6	4.5	9.0	4.2	11.5	6.4	9.9	4.0	8.8	4.3	11.9	4.6	4.6	6.2		6.3
	機械・設備の更改	5.7	7.0	2.8	6.0	7.0	2.8	10.3	6.4	8.5	6.7	10.3	10.1	3.6	6.2	7.7	6.2		1.6
	事務機器	15.7	11.3	12.5	14.9	13.0	12.7	15.4	11.7	12.7	10.7	10.3	8.7	13.1	10.8	10.8	9.9		9.5
	車両	11.4	14.1	11.1	11.9	23.0	9.9	19.2	18.1	12.7	9.3	10.3	11.6	13.1	9.2	18.5	13.6		12.7
	その他	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3	0.0	2.8	1.3	1.5	2.9	2.4	0.0	1.5	2.5		1.6
実施しない	68.6	73.2	75.0	71.6	61.0	74.6	64.1	70.2	66.2	80.0	69.1	73.9	66.7	75.4	66.2	69.1		73.0	
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	45.9		45.3		53.6		53.2		46.4		41.2		42.2		41.5			
	人手不足	35.1		38.7		34.0		35.4		44.9		44.1		45.8		63.1			
	大手企業との競争の激化	1.4		1.3		0.0		3.8		0.0		1.5		1.2		0.0			
	同業者間の競争の激化	14.9		18.7		13.4		12.7		10.1		10.3		13.3		13.8			
	親企業による選別の強化	1.4		5.3		4.1		1.3		2.9		2.9		1.2		1.5			
	合理化の不足	4.1		0.0		1.0		0.0		4.3		4.4		3.6		4.6			
	利幅の縮小	24.3		33.3		35.1		30.4		27.5		23.5		25.3		29.2			
	材料価格の上昇	47.3		54.7		56.7		63.3		53.6		60.3		44.6		41.5			
	下請の確保難	25.7		16.0		16.5		11.4		23.2		22.1		26.5		23.1			
	駐車場・資材置場の確保難	5.4		2.7		2.1		3.8		2.9		2.9		4.8		3.1			
	人件費の増加	12.2		6.7		4.1		8.9		20.3		19.1		15.7		16.9			
	人件費以外の経費の増加	9.5		9.3		8.2		10.1		8.7		8.8		14.5		6.2			
	技術力の不足	16.2		4.0		8.2		12.7		5.8		2.9		4.8		10.8			
	代金回収の悪化	0.0		1.3		0.0		2.5		0.0		1.5		2.4		0.0			
	天候の不順	1.4		1.3		4.1		3.8		1.4		0.0		7.2		3.1			
	地場産業の衰退	1.4		1.3		2.1		1.3		2.9		1.5		1.2		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		2.7		2.1		1.3		0.0		0.0		1.2		1.5			
その他	4.1		1.3		2.1		3.8		0.0		4.4		2.4		3.1				
問題なし	1.4		2.7		1.0		1.3		2.9		1.5		2.4		1.5				
重点経営施策（％）	販路を広げる	33.8		35.5		27.3		27.8		38.9		31.3		29.3		32.3			
	経費を節減する	40.5		38.2		41.4		40.5		50.0		40.3		36.6		30.8			
	情報力を強化する	20.3		25.0		20.2		25.3		13.9		17.9		20.7		20.0			
	新しい工法を導入する	6.8		3.9		4.0		7.6		5.6		3.0		2.4		6.2			
	新しい事業を始める	5.4		6.6		7.1		3.8		6.9		4.5		11.0		10.8			
	技術力を高める	39.2		25.0		31.3		29.1		18.1		25.4		28.0		35.4			
	人材を確保する	47.3		50.0		46.5		40.5		47.2		50.7		45.1		53.8			
	パート化を図る	0.0		0.0		2.0		0.0		1.4		1.5		1.2		1.5			
	教育訓練を強化する	9.5		14.5		12.1		15.2		13.9		11.9		11.0		6.2			
	労働条件を改善する	16.2		7.9		9.1		5.1		9.7		11.9		20.7		20.0			
	不動産の有効活用を図る	1.4		1.3		2.0		2.5		5.6		6.0		4.9		1.5			
その他	0.0		2.6		0.0		0.0		0.0		1.5		1.2		1.5				
特になし	8.1		7.9		10.1		7.6		8.3		7.5		6.1		7.7				
有効回答事業所数		74		77		102		80		80		76		89		76			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R3	R4	R4	R4	R4	R5	R5	R5	対		R5				
項目		10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	前期比		10～12月期				
業況	良い			30.0	23.7	24.3	18.0	20.3	21.9	24.6	23.1	23.4	12.1	22.1		10.3
	普通			48.6	49.2	54.3	62.3	54.2	54.7	57.4	53.8	62.5	65.5	53.2		63.8
	悪い			21.4	27.1	21.4	19.7	25.4	23.4	18.0	23.1	14.1	22.4	24.7		25.9
	D-I			8.6	-3.4	2.9	-1.6	-5.1	-1.6	6.6	0.0	9.4	-10.3	-2.6		-15.5
	<b>修正値</b>			<b>8.6</b>	<b>-3.4</b>	<b>2.9</b>	<b>-1.6</b>	<b>-5.1</b>	<b>-1.6</b>	<b>6.6</b>	<b>0.0</b>	<b>9.4</b>	<b>-10.3</b>	<b>-2.6</b>	<b>-10.0</b>	<b>-15.5</b>
	傾向値															
売上額	増加			30.4	30.5	36.8	24.6	25.4	21.5	31.1	23.1	18.8	19.0	28.6		13.8
	変らず			40.6	42.4	36.8	54.1	49.2	56.9	55.7	46.2	60.9	62.1	46.8		65.5
	減少			29.0	27.1	26.5	21.3	25.4	21.5	13.1	30.8	20.3	19.0	24.7		20.7
	D-I			1.4	3.4	10.3	3.3	0.0	0.0	18.0	-7.7	-1.6	0.0	3.9		-6.9
	<b>修正値</b>			<b>1.4</b>	<b>3.4</b>	<b>10.3</b>	<b>3.3</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>18.0</b>	<b>-7.7</b>	<b>-1.6</b>	<b>0.0</b>	<b>3.9</b>	<b>8.0</b>	<b>-6.9</b>
	傾向値															
収益	増加			31.4	25.4	32.4	18.0	23.7	23.4	18.0	16.9	18.5	17.2	22.1		8.6
	変らず			40.0	40.7	39.7	59.0	44.1	54.7	65.6	46.8	63.1	65.5	49.4		70.7
	減少			28.6	33.9	27.9	23.0	32.2	21.9	16.4	36.4	18.5	17.2	28.6		20.7
	D-I			2.9	-8.5	4.4	-4.9	-8.5	1.6	1.6	-19.5	0.0	0.0	-6.5		-12.1
	<b>修正値</b>			<b>2.9</b>	<b>-8.5</b>	<b>4.4</b>	<b>-4.9</b>	<b>-8.5</b>	<b>1.6</b>	<b>1.6</b>	<b>-19.5</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>-6.5</b>	<b>19.0</b>	<b>-12.1</b>
	傾向値															
価格動向	システム提供価格			7.4	0.0	0.0	15.5	7.0	15.9	13.8	10.4	19.0	6.9	9.2		0.0
	<b>修正値</b>			<b>7.4</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>15.5</b>	<b>7.0</b>	<b>15.9</b>	<b>13.8</b>	<b>10.4</b>	<b>19.0</b>	<b>6.9</b>	<b>9.2</b>	<b>-3.0</b>	<b>0.0</b>
	傾向値															
	人件費			32.9	27.1	23.5	23.0	30.5	18.5	27.9	35.9	33.8	32.8	29.9		32.8
	<b>修正値</b>			<b>32.9</b>	<b>27.1</b>	<b>23.5</b>	<b>23.0</b>	<b>30.5</b>	<b>18.5</b>	<b>27.9</b>	<b>35.9</b>	<b>33.8</b>	<b>32.8</b>	<b>29.9</b>	<b>-3.0</b>	<b>32.8</b>
	傾向値															
在庫・資金繰り	資金繰り			-5.7	-3.4	-8.8	-4.9	-6.8	-1.5	-8.2	-6.4	0.0	-13.8	-6.5		-17.2
	<b>修正値</b>			<b>-5.7</b>	<b>-3.4</b>	<b>-8.8</b>	<b>-4.9</b>	<b>-6.8</b>	<b>-1.5</b>	<b>-8.2</b>	<b>-6.4</b>	<b>0.0</b>	<b>-13.8</b>	<b>-6.5</b>	<b>-7.0</b>	<b>-17.2</b>
前年同期比	売上額			16.7	3.1	5.9	12.5	11.5	-2.4							
	収益			12.5	-15.6	-20.6	12.5	-5.0	-14.3							
雇用	残業時間			-2.1	-6.5	0.0	0.0	3.2	7.5	5.7	1.6	10.0	0.0	0.0		-7.1
	人手			-40.4	-34.4	-44.7	-57.1	-37.5	-67.5	-62.9	-52.5	-57.5	-66.7	-54.1		-69.0
借入金	借入難易度			-13.0	0.0	-11.8	-2.6	3.3	-4.8							
	借入をした(%)			33.3	28.1	16.7	14.3	16.1	22.5	12.1	32.8	15.0	27.5	18.6		12.5
	借入をしない(%)			66.7	71.9	83.3	85.7	83.9	77.5	87.9	67.2	85.0	72.5	81.4		87.5
有効回答事業所数				71	59	61	65	78	58							

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R3	R4	R4	R4	R4	R5	R5	R5	対 前期比	R5					
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期					
設備投資動向（％）	現在の設備				-14.9	-9.4	-17.0	-17.1	-9.4	-22.5	-20.0	-1.7	-22.5	-9.8	-5.0		-7.3
	実施した				42.2	43.8	43.5	32.4	46.7	50.0	31.4	33.3	52.5	29.3	38.3		25.6
	事業用地・建物				8.9	0.0	13.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	5.0	0.0	3.3		2.6
	機械・設備の新・増設				8.9	9.4	17.4	11.8	10.0	12.5	14.3	6.7	12.5	4.9	6.7		2.6
	機械・設備の更改				13.3	18.8	13.0	11.8	23.3	7.5	17.1	3.3	17.5	9.8	5.0		12.8
	事務機器				26.7	18.8	26.1	17.6	20.0	35.0	8.6	28.3	40.0	22.0	28.3		15.4
	車両				4.4	0.0	2.2	2.9	0.0	10.0	0.0	1.7	0.0	2.4	1.7		0.0
	その他				4.4	6.3	2.2	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	3.3		0.0
	実施しない				57.8	56.3	56.5	67.6	53.3	50.0	68.6	66.7	47.5	70.7	61.7		74.4
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少				33.3	35.5		32.3		28.2		47.5		42.9		
人手不足					40.0	48.4		58.1		59.0		55.9		57.1			
同業者間の競争の激化					20.0	16.1		16.1		7.7		10.2		4.8			
大手企業との競争の激化					2.2	0.0		3.2		7.7		3.4		2.4			
利幅の縮小					17.8	19.4		6.5		12.8		13.6		23.8			
取扱サービスの陳腐化					15.6	3.2		3.2		12.8		6.8		4.8			
合理化の不足					0.0	3.2		0.0		5.1		1.7		4.8			
料金の値下げ要請					0.0	0.0		0.0		2.6		3.4		0.0			
人件費の増加					24.4	41.9		19.4		43.6		35.6		28.6			
通信価格の上昇					0.0	0.0		0.0		2.6		1.7		7.1			
技術力の不足					26.7	38.7		12.9		15.4		13.6		14.3			
取引先の減少					8.9	9.7		6.5		12.8		10.2		16.7			
人件費以外の経費の増加					20.0	9.7		16.1		20.5		18.6		26.2			
地価の高騰					0.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
駐車場の確保難					2.2	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
代金回収の悪化					2.2	0.0		3.2		0.0		1.7		0.0			
設備の狭小・老朽化					4.4	0.0		9.7		2.6		3.4		4.8			
大手企業の縮小・撤退					6.7	0.0		3.2		2.6		6.8		2.4			
為替レートの変動					8.9	6.5		6.5		5.1		5.1		9.5			
その他					0.0	0.0		6.5		0.0		6.8		9.5			
問題なし				4.4	3.2		6.5		0.0		0.0		2.4				
重点経営施策（％）	販路を広げる				50.0	58.6		50.0		38.5		45.0		41.5			
	経費を節減する				15.2	20.7		9.4		10.3		15.0		17.1			
	宣伝・広告を強化する				15.2	20.7		6.3		5.1		8.3		7.3			
	新しい事業を始める				23.9	27.6		15.6		25.6		30.0		22.0			
	設備を改装する				4.3	3.4		3.1		7.7		1.7		0.0			
	提携先を見つける				15.2	10.3		12.5		17.9		16.7		12.2			
	技術力を強化する				50.0	44.8		25.0		51.3		51.7		46.3			
	人材を確保する				54.3	51.7		62.5		66.7		60.0		56.1			
	パート化を図る				0.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	教育訓練を強化する				21.7	24.1		28.1		15.4		20.0		14.6			
	労働条件を改善する				6.5	3.4		12.5		7.7		8.3		12.2			
	不動産の有効活用を図る				0.0	0.0		0.0		0.0		1.7		0.0			
	その他				0.0	3.4		0.0		0.0		0.0		0.0			
特になし				2.2	0.0		6.3		2.6		1.7		4.9				
有効回答事業所数					71		59		61		65		78			58	

## 調査の概要

1. 調査時期 令和5年7～9月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	67
卸売業	102	80
小売業	102	77
サービス業	102	75
建設業	102	76
情報通信業	102	58
合計	612	433